

令和7年度 第2回牧之原市地域公共交通会議 次第

日時 令和7年12月17日(水)

午後1時30分～

会場 牧之原市役所相良庁舎3階第1第2会議室

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 令和8年度の運行に関する事項

① 地域間幹線系統に係る単独継続困難の申出路線の運行について

・運行状況(資料1)

・地域間幹線系統事業評価(資料2)・・・承認

② 生活交通確保計画案(資料3)・・・承認

ア 自主運行バスの運行について・・・承認

・運行状況(資料4)

イ デマンド乗合タクシーの運行について・・・承認

・利用状況(資料5)

(2) 令和8年度の実施に関する事項

① 令和7年度の実施及び令和8年度の計画について(資料6)

② 牧之原市地域公共交通計画の策定及び富士山型交通ネットワークシミュレーション調査(資料7)

③ (仮称)高台バスターミナル環境整備事業(資料8)

④ デマンド乗合タクシーの令和8年度以降の運行計画(資料9)

4 報告

(1) 牧之原市地域公共交通計画について(評価改善部会開催報告)

・令和6年度の評価について(資料10)

(2) その他の交通の運行について

・空港・道の駅定額タクシーの利用状況(資料11)

・矢崎アローラインの利用状況(資料12)

5 その他

6 閉会

委員名簿

職 名	氏 名	備考/部会	
		評価	運賃
牧之原市 副市長	大石 勝彦		
地区長会	大崎 信博	○	○
牧之原市消費者協会 会長	竹内 桂子	○	○
牧之原市商工会 副会長	水野 悦裕		
(一社)まきのはら活性化センター 事務局長	加藤 智		
牧之原市社会福祉協議会 地域福祉課課長	加藤 孝通		
公募市民	増田 知志	○	○
公募市民	赤堀 康彦	○	○
中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官	八木 雅子		○
静岡県 交通基盤部都市局 地域交通課 課長	片山 広文		
しずてつジャストライン(株) 運行企画部長兼輸送計画室室長	藁科 孝佳	○	○
東海タクシー (株) 代表取締役	大塚 弘子	○	○
御前崎タクシー(株) (梅田交通グループ) 代表取締役	古知 愛一郎	○	○
一般社団法人静岡県バス協会 専務理事	中山 國光		
ジャストライン労働組合 書記長	都築 康彰		
静岡県 島田土木事務所 工事第3課 課長	安田 剛		
牧之原市 建設部長	池田 武		
静岡県警察本部 牧之原警察署 交通課長	馬渡 智子		
豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系准教授	松尾 幸二郎	○	オブザーバー
牧之原市 企画政策部長	大石 佳伸	○	○
牧之原市 教育文化部長	竹内 英人		
牧之原市 福祉こども部長	河原 瑞穂		
牧之原市 産業経済部長	山本 英広		
牧之原市 健康推進部長	櫻井 康章		

事務局

地域振興課 課長	原口 克也
地域振興課 空港交通係 係長	増田 隆助
主査	中山 成菜

議 事

(1) 令和8年度の運行に関する事項

- ① 地域間幹線系統に係る単独継続困難の申出
路線の運行について

運行状況

路線図

【乗合バス路線】

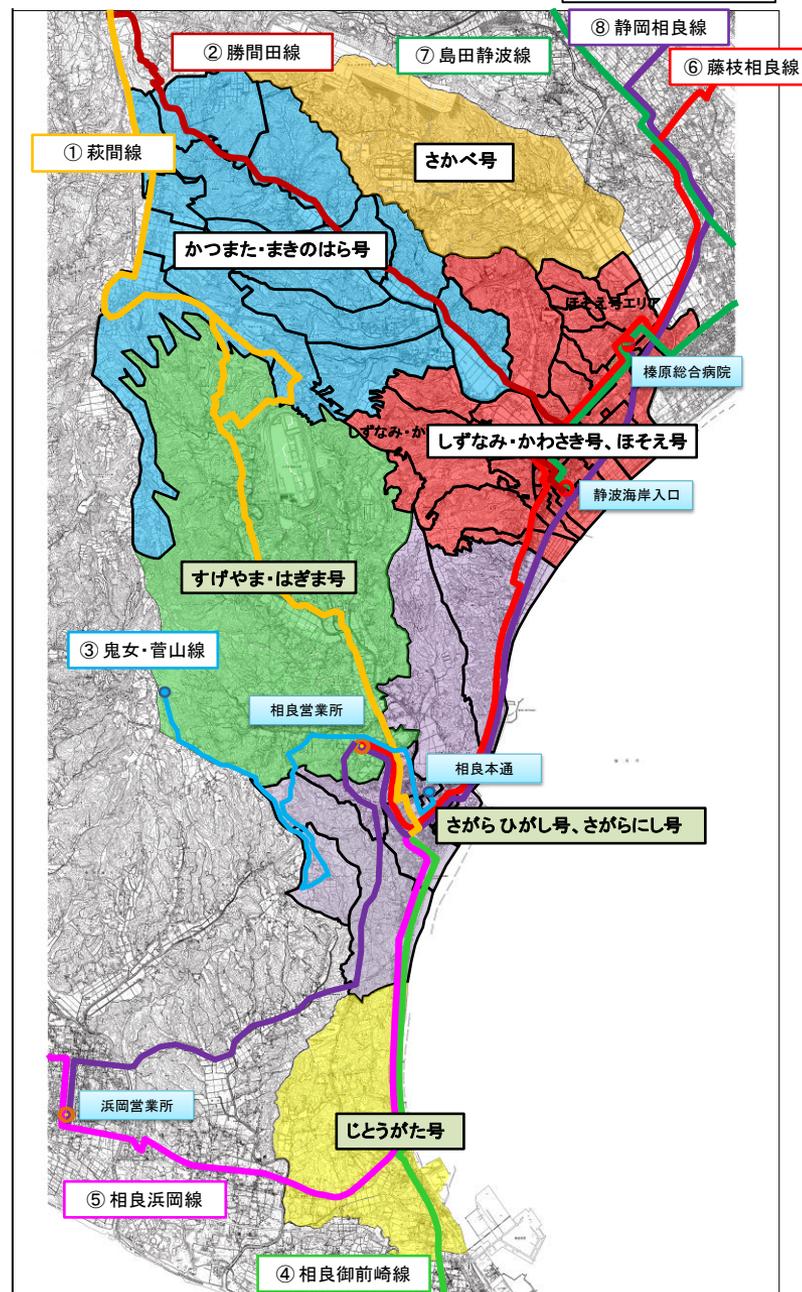
- (特急) 静岡相良線 (紫)
- 藤枝相良線 (赤)
- 島田静波線 (緑)

【自主運行バス路線】

- 萩間線 (黄)
- 勝間田線 (茶)
- 鬼女・菅山線 (青)
- 相良御前崎線 (黄緑)
- 相良浜岡線 (紫)

【デマンド乗合タクシー】

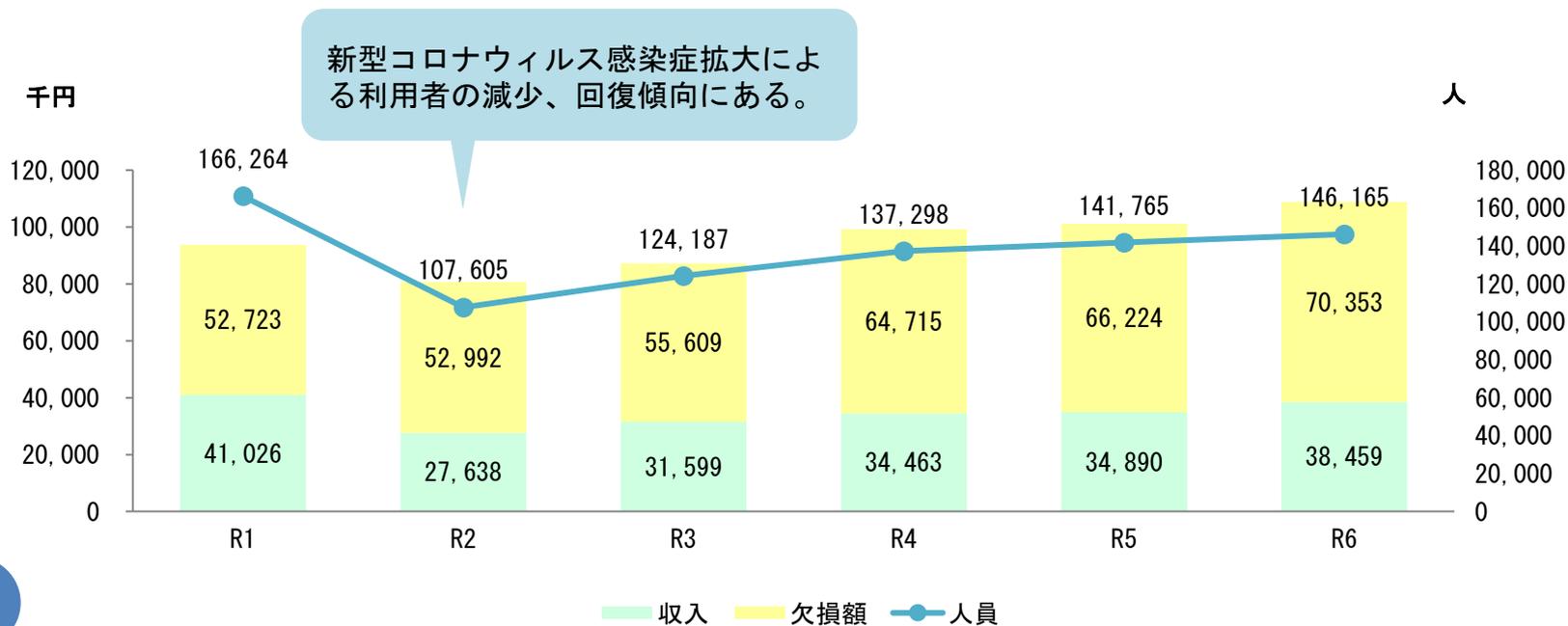
- さかべ号 (令和2年4月から本運行)
- かつまた・まきのほら号 (令和6年4月から統合)
- すげやま・はぎま号 (令和4年4月から本運行)
- じとうがた号 (令和6年4月から本運行)
- しずなみ・かわさき号、ほそえ号 (令和7年4月から本運行)
- さがらひがし号、さがらにし号 (令和7年4月から本運行)



島田静波線

起点	終点	日便数	乗車人数／日 (R7OD調査)	経路市町(距離比率)	主な乗換拠点・バス停
島田駅 (島田市立総合医療センター)	静波海岸入口	33便:平日 14便:土日祝日	392人	島田市(44.8%) 吉田町(33.4%) 牧之原市(21.8%)	【拠点】 島田駅、静波海岸入口、榛原総合病院、吉田IC入口、井口塚 【バス停】 色尾、本通3丁目、保健福祉センター、島田市立総合医療センター

運行経費と乗車人員

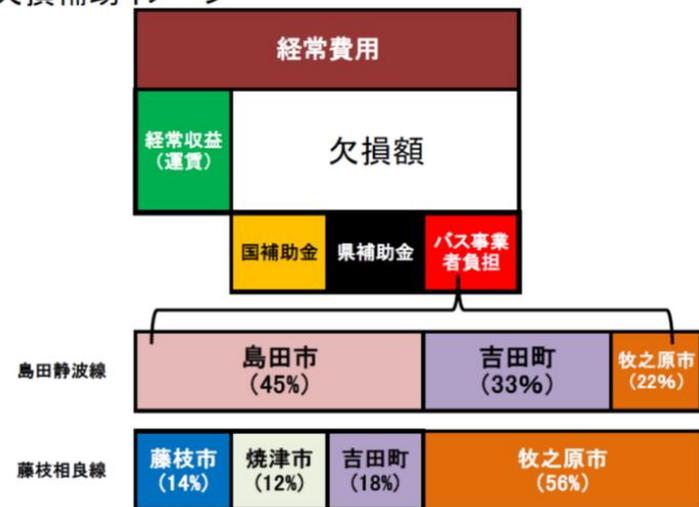


		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
年間利用者数（人）		166,264	107,605	124,187	137,298	141,765	146,165
平均乗車密度（人）	島田駅系統	4.4	4.6	4.7	4.6	4.7	3.6
	医療総合センター系統	4.0	2.6	3.5	2.6	3.5	4.3
輸送量（人）	島田駅系統	29.0	30.8	30.5	23.7	25.6	19.2
	医療総合センター系統	28.4	13.7	25.2	30.9	23.8	20.4
収支率（%）		43.8	34.3	36.2	34.7	34.5	35.3
市補助額（円）		1,387,908	1,882,333	3,316,058	4,899,840	3,487,837	4,030,847

※上記データ及び牧之原市公共交通計画等に用いる数値
⇒自主運行バスと同じ4月から翌年3月、収入は会計上の数値

※地域間幹線系統の事業評価（資料2）に用いる数値
⇒補助算定上の数値であるため、時期は10月から翌年9月、収入は0D調査の数値

欠損補助イメージ



路線の特性

令和6年度は146,165人の利用があり、コロナ禍であった令和2年から徐々に回復を見せており、令和元年度の約88%まで回復しているが、欠損額は年々増加している。

【今年度実施のOD調査における傾向】

① 静波海岸入口→島田駅前

- ・ 島田駅前降車が多く、朝の便に乗車が集中している。
- ・ 夕方（18:20、19:24）の乗車は少ない。

② 静波海岸入口→島田総合医療センター

- ・ 静波海岸入口6:56発の便への乗車が圧倒的に多く（50人）、島田駅前や島田七丁目での降車が多い。通学定期の利用が多いため、学生の利用が主であると考えられる。

③ 島田駅前→静波海岸入口

- ・ 島田駅前から乗車し、榛原高校入口、片岡北吉田特別支援学校で降車する利用者が多い。
- ・ 早朝（6:59、7:50）の利用が多い。

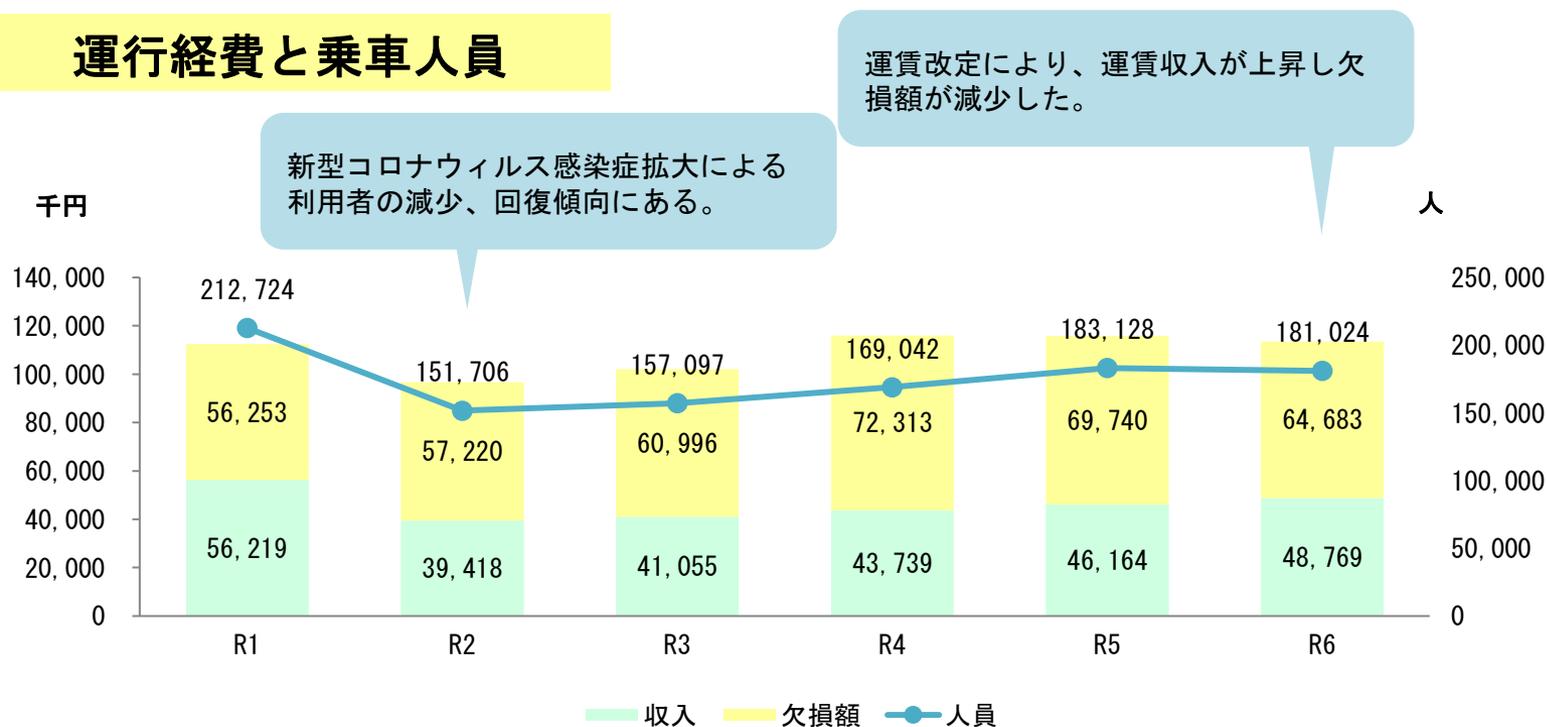
④ 島田総合医療センター→静波海岸入口

- ・ 医療センター乗車→島田駅前降車、島田七丁目乗車の利用者が多い。
- ・ 午後から夕方（15:42、16:32、17:09）の利用者が多い。

藤枝相良線

起点	終点	日便数	乗車人数／日 (R7OD調査)	経路市町(距離比率)	主な乗換拠点・バス停
藤枝駅 南口	相良営業所	平日:24便 土日祝日:20便	390人	藤枝(13.56%) 焼津(11.68%) 吉田(18.08%) 牧之原市(56.68%)	【拠点】 藤枝駅、静波海岸入口、榛原総合病院、相良営業所 【バス停】 富士見橋、宗高新町、東名大井川

運行経費と乗車人員

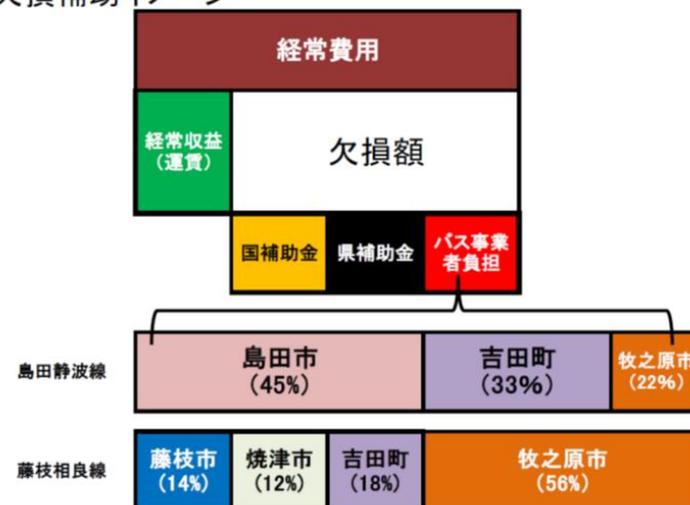


	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
年間利用者数 (人)	212,724	151,706	157,097	169,042	183,128	181,024
平均乗車密度 (人)	5.1	4.1	3.5	4.2	3.5	3.5
輸送量 (人)	71.9	51.6	45.8	46.2	59.6	49.9
収支率 (%)	50.0	40.8	40.2	37.7	39.8	43.0
市補助額 (円)	0	3,499,111	3,812,268	6,224,877	14,677,170	16,687,451

※上記データ及び牧之原市公共交通計画等に用いる数値
⇒自主運行バスと同じ4月から翌年3月、収入は会計上の数値

※地域間幹線系統の事業評価（資料2）に用いる数値
⇒補助算定上の数値であるため、時期は10月から翌年9月、収入はOD調査の数値

欠損補助イメージ



路線の特性

令和6年度は181,024人の利用があり、コロナ禍であった令和2年から徐々に回復を見せており、令和元年度の約85%まで回復している。

【今年度実施のOD調査における傾向】

①相良営業所→藤枝駅南口

- ・藤枝駅南口、清流館高校入口で降車する利用者が多く、通学定期を利用している割合が高いため、高校生等の通学の足として使われている。
- ・相良営業所6:04発、6:54発の利用者が多い（6:04発35人、6:54発45人）。
- ・午前から午後にかけては10人前後の利用となり、現金支払をしている利用者（大人）が多い。

②藤枝駅南口→相良営業所

- ・藤枝駅7:34発の利用者が多く、その大部分は藤枝駅での乗車である。降車場所としては、清流館高校入口、上新田南、片岡北吉田特別支援学校が多い。
- ・昼間の便は、5~15人の利用であるが、藤枝駅16時発から利用者が増加する。
- ・夕方の便では、藤枝駅、清流館高校入口での乗車が多い。
- ・最終便である藤枝駅19時発の便においても、19人が利用しており、通勤・通学の帰路として利用されている。

協調補助について(見込)

※令和8年度運行分 (R7.10~R8.9)

(千円)

	藤枝相良線	島田静波線		計
		病院系統	島田駅系統	
藤枝市	2,987 (13.56%)	-	-	2,987
焼津市	2,573 (11.68%)	-	-	2,573
島田市	-	9,818 (47.81%)	5,797 (41.67%)	15,615
吉田町	3,982 (18.08%)	6,485 (31.58%)	4,910 (35.29%)	15,377
牧之原市	12,485 (56.68%)	4,232 (20.61%)	3,205 (23.04%)	19,922
計	22,027 (100%)	20,535 (100%)	13,912 (100%)	56,474

国や県の補助金交付を受けてもなお欠損が生じている路線については、関係する市町で補助しなければ路線を維持することが難しい状況にある。

⇒令和元年度運行分から補助

バス路線運行に関する市の考え

- JR駅がない本市にとって、市内を走るバス路線は重要な移動手段であり、路線を維持させていくことが重要である。
- 特に、島田静波線・藤枝相良線は複数市町に跨る路線であるとともに、JR駅に接続する路線となるため、関係市町と協調して路線維持に努める。
- コロナ禍の前は少しずつ利用者が増加していたが、令和2年度に大幅な利用者減となった。
- 両路線とも利用者数は徐々に回復傾向にあり、令和元年度の85%以上にまで利用者数は戻りつつある。
- 令和6年度に運賃改定を実施しているため、収支率の上昇については来年度以降傾向を注視する。

議 事

(1) 令和8年度の運行に関する事項

- ① 地域間幹線系統に係る単独継続困難の申出
路線の運行について

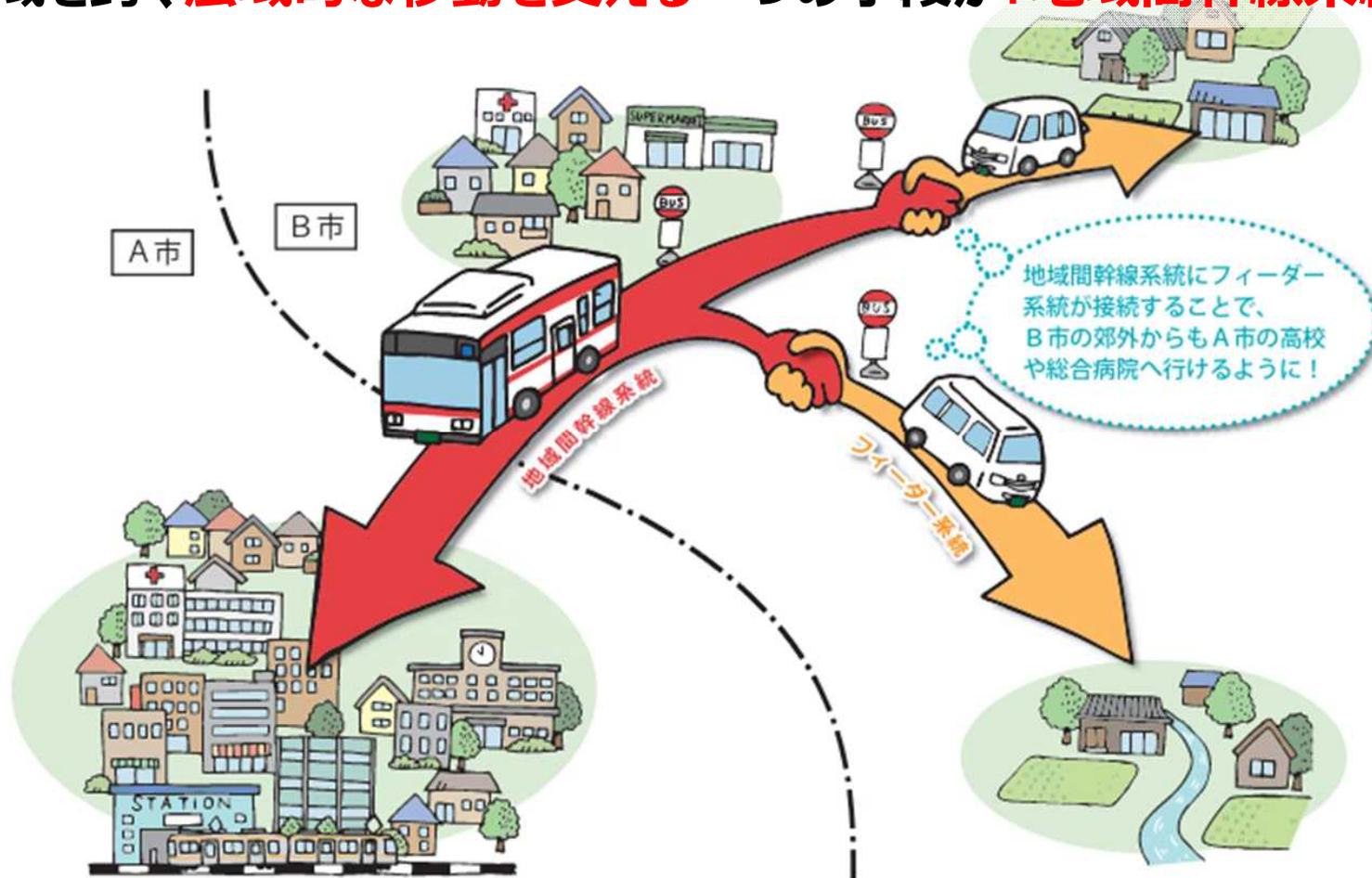
地域間幹線系統事業評価関係
(承認)

令和7年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

地域間幹線系統とは

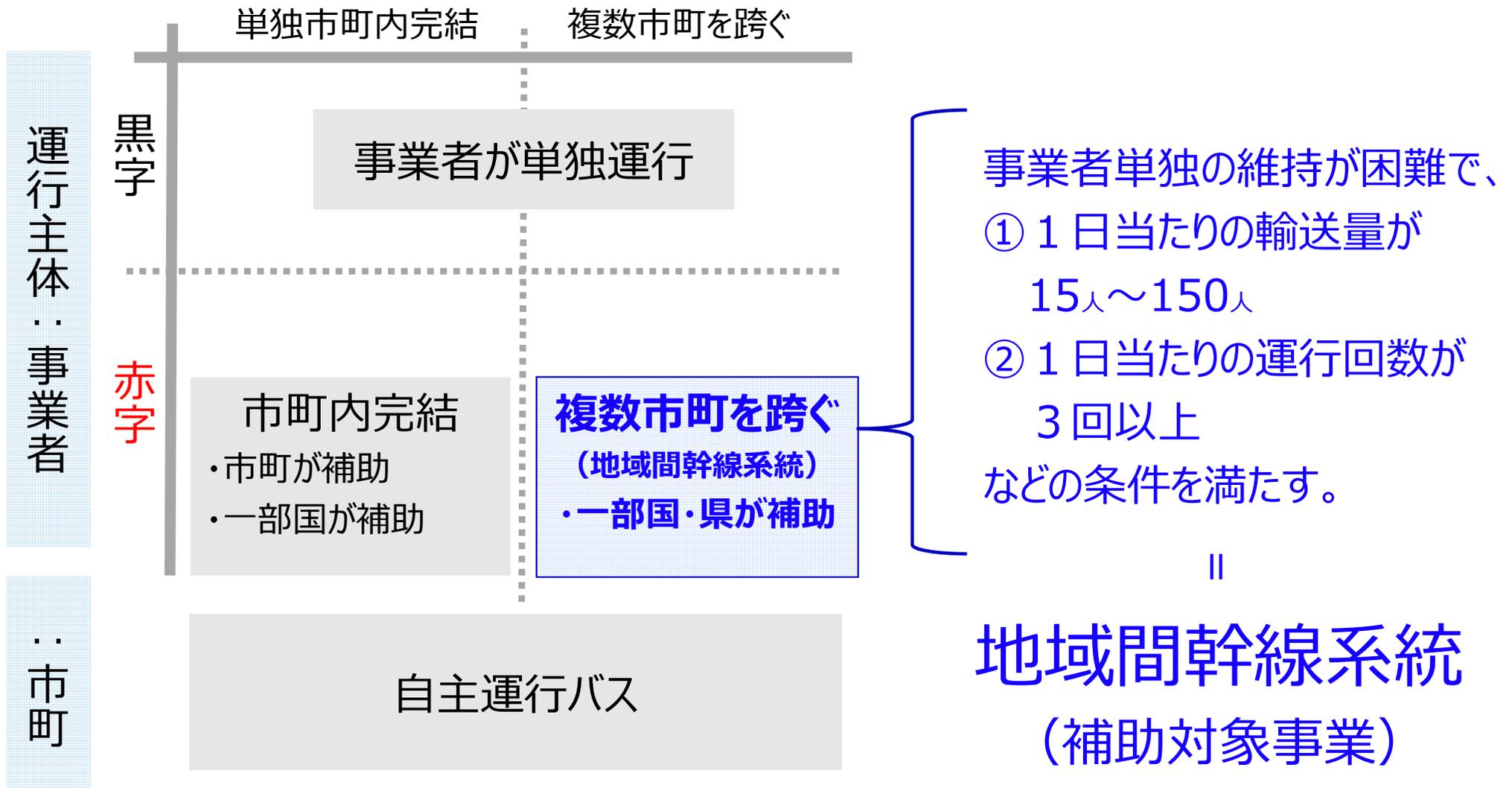
日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。(出典：中部運輸局「中部の交通圏」)
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える**一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。



出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために(監修：中部運輸局)

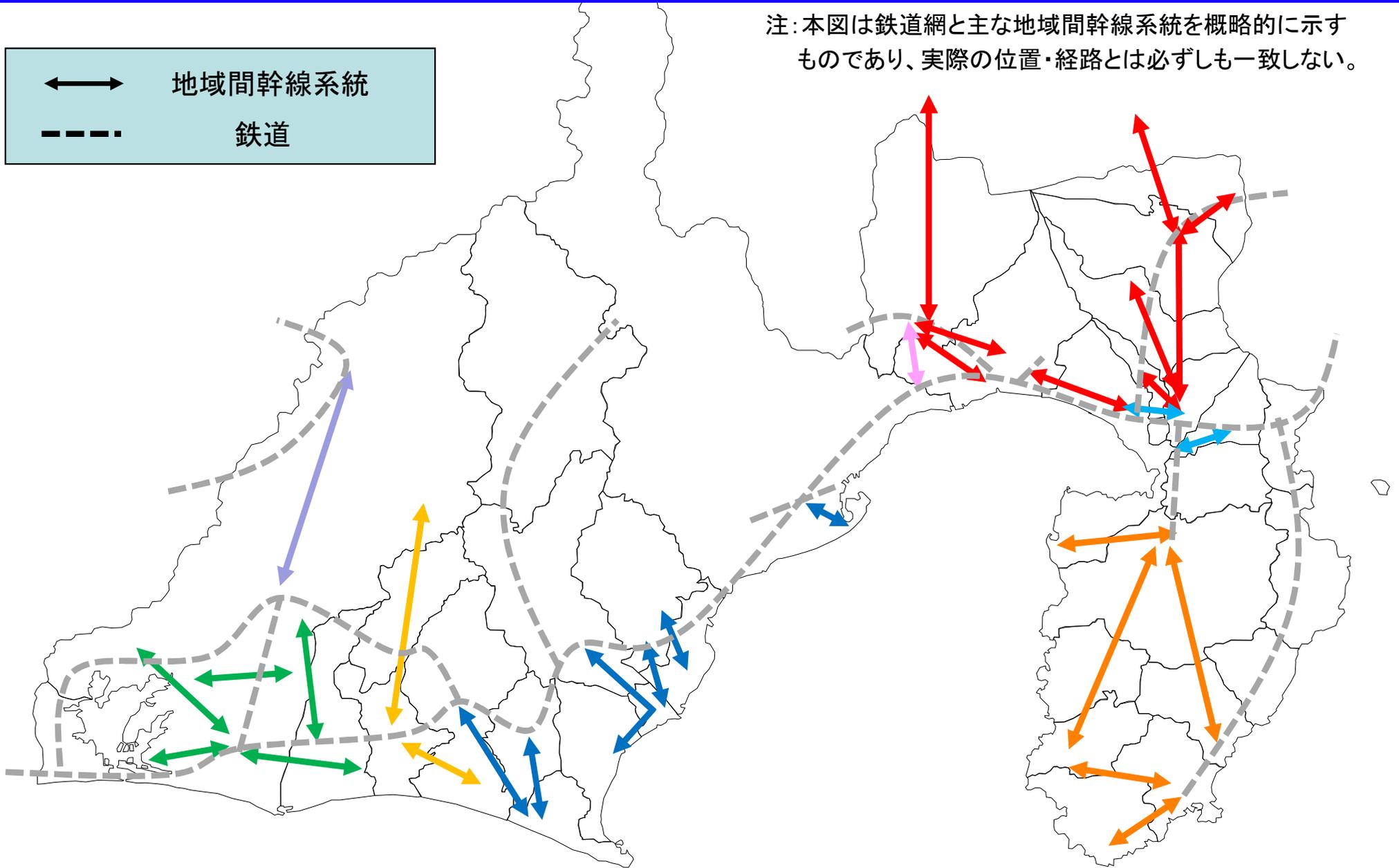
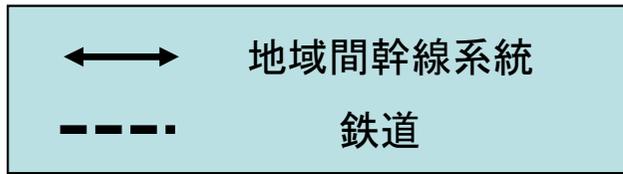
地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



県内の地域間幹線系統(概略図)

注:本図は鉄道網と主な地域間幹線系統を概略的に示すものであり、実際の位置・経路とは必ずしも一致しない。



地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

○補助対象事業が適切に行われているか確認する

○評価結果を分析し、事業改善に繋げる

→補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため

(参考)事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局長に報告しなければならない。

※本県においては県地域公共交通活性化協議会バス専門部会を指す。

静岡県地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・C・Dで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	実績値（補助要件を満たしているか）	3回/日以上：10点 3回/日未満：0点
②輸送量	実績値（補助要件を満たしているか）	20人/日以上：30点 15人/日以上20人/日未満：5点 15人/日未満：0点
③収支率	実績値	50%以上：20点（満点）、25%未満：3点 25%～50%は3～6点を加算
④乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：20点（満点）、0～5%増：15点、 0～5%減：6点、5%以上減：3点
⑤ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑥広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	50%以上：10点（満点） 5%未満：0点（5%毎に2～3点加算）
合計		A評価：86点以上 B評価：66～85点 C評価：51～65点 D評価：50点以下

令和7年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	D評価	系統数
山梨交通				1	1
秋葉バスサービス	2	1	1		4
遠州鉄道	5	9		2	16
しずてつジャストライン	4	5	1	1	11
富士急モビリティ	1	3			4
富士急バス	2				2
富士急静岡バス	1	3			4
富士急シティバス	2	4			6
伊豆箱根バス	2	1			3
東海バス	4	4			8
合計	23	30	2	4	59

評価結果内訳

○事業者ごとの系統別の評価

	事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
1	山梨交通	富士宮駅～イオン、星山台～蒲原病院	C	D	△
2	秋葉バスサービス	秋葉線	D	C	○
3		秋葉中遠線	A	A	—
4		秋葉中遠線	A	A	—
5		秋葉中遠線	B	B	—
6	遠州鉄道	浜北医大三方原聖隷線	B	B	—
7		磐田市立病院福田線	A	B	△
8		中ノ町磐田線	B	A	○
9		秋葉線	B	D	△
10		磐田天竜線	A	B	△
11		磐田天竜線	B	B	—
12		掛塚さなる台線	A	A	—
13		内野台線	A	B	△
14		内野台線	B	A	○
15		磐田市立病院福田線	D	D	—
16		引佐線	A	A	—
17		萩丘都田線	A	B	△
18		大塚ひとみヶ丘線	A	B	△
19		気賀三ヶ日線	A	B	△
20		奥山線	A	B	△
21	掛塚さなる台線	A	A	—	

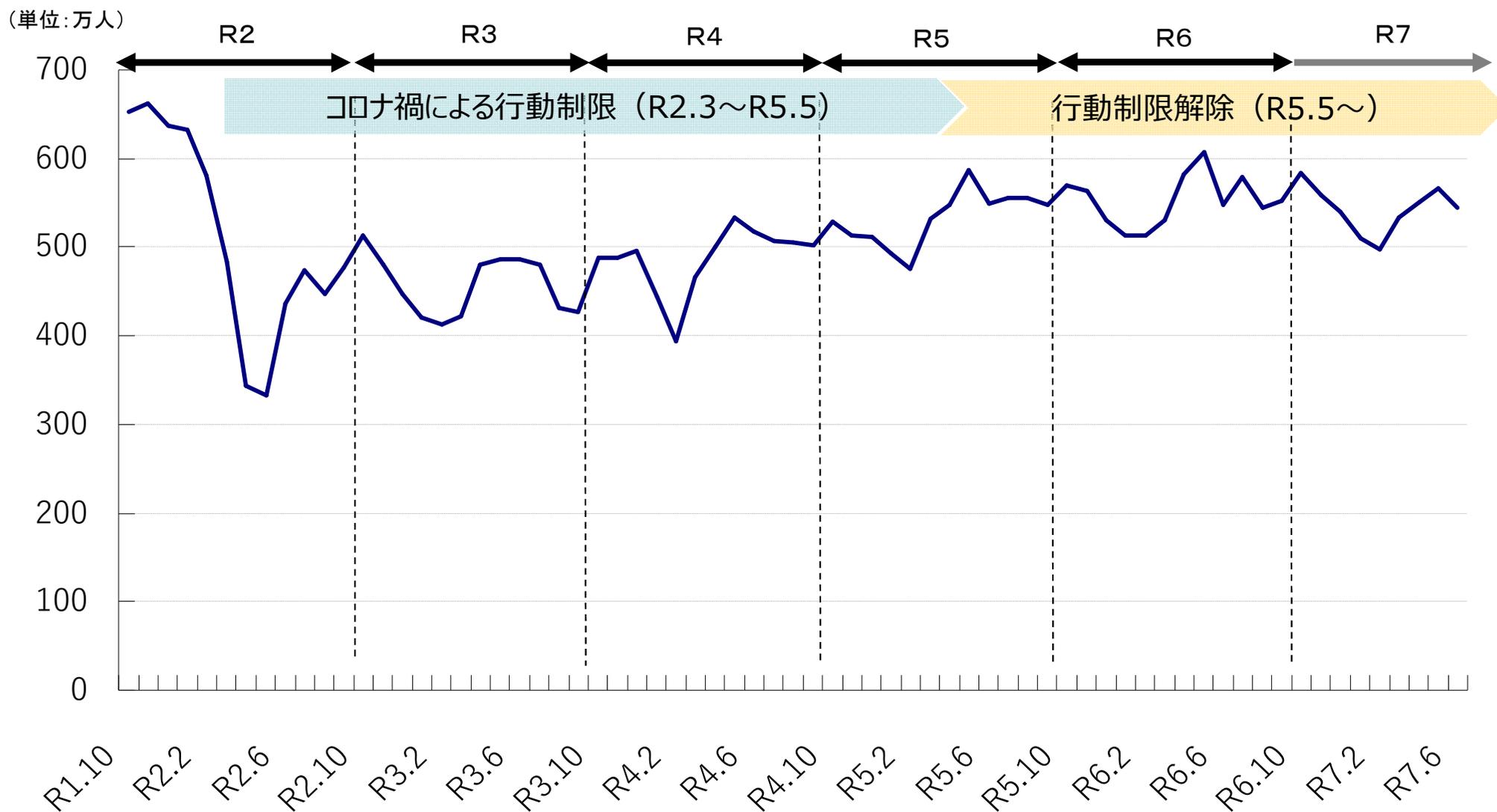
	事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
22	しずてつ ジャストライ ン	三保草薙線	B	A	○
23		五十海大住線	B	A	○
24		焼津岡部線	B	A	○
25		藤枝吉永線	A	B	△
26		島田静波線	A	D	△△
27		島田静波線	B	B	—
28		藤枝相良線	B	B	—
29		菊川浜岡線	A	B	△
30		掛川大東浜岡線	A	B	△
31		掛川大東浜岡線	B	A	○
32	掛川大東浜岡線	D	C	○	
33	富士急 モビリ ティ	御殿場線	A	B	△
34		駿河小山線	A	B	△
35		十里木線	A	B	△
36		河口湖線	A	A	—
37	富士急バス	河口湖線	A	A	—
38		新富士線	A	A	—
39	富士急 静岡バス	曾比奈線	C	B	○
40		大淵線	C	B	○
41		大月線	A	A	—
42		大月線	B	B	—

	事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
43	富士急 シティバ ス	駿河平線	B	B	—
44		須山線	B	B	○
45		原線	B	B	—
46		桜堤線	B	B	○
47		がんセンター線	B	A	○
48		がんセンター線	B	A	—
49	伊豆箱根 バス	沼津大岡三島線	A	A	—
50		長岡伊豆三津シーパラダイス線	B	A	○
51		沼津静浦長岡線	B	B	—
52	東海バス	石廊崎線	A	A	—
53		天城峠線	A	B	△
54		戸田線	A	B	△
55		西海岸線	A	A	—
56		バサラ峠線	A	B	△
57		バサラ峠線	A	B	△
58		下賀茂線	A	A	—
59		柿田線	B	A	○

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

〈参考〉県内の乗合バス利用者の推移

(R1.10~R7.6)



燃料価格など物価高騰の影響①

■ 県内の軽油小売価格の推移 (R1.10~R7.10)

(単位: 円/ℓ)



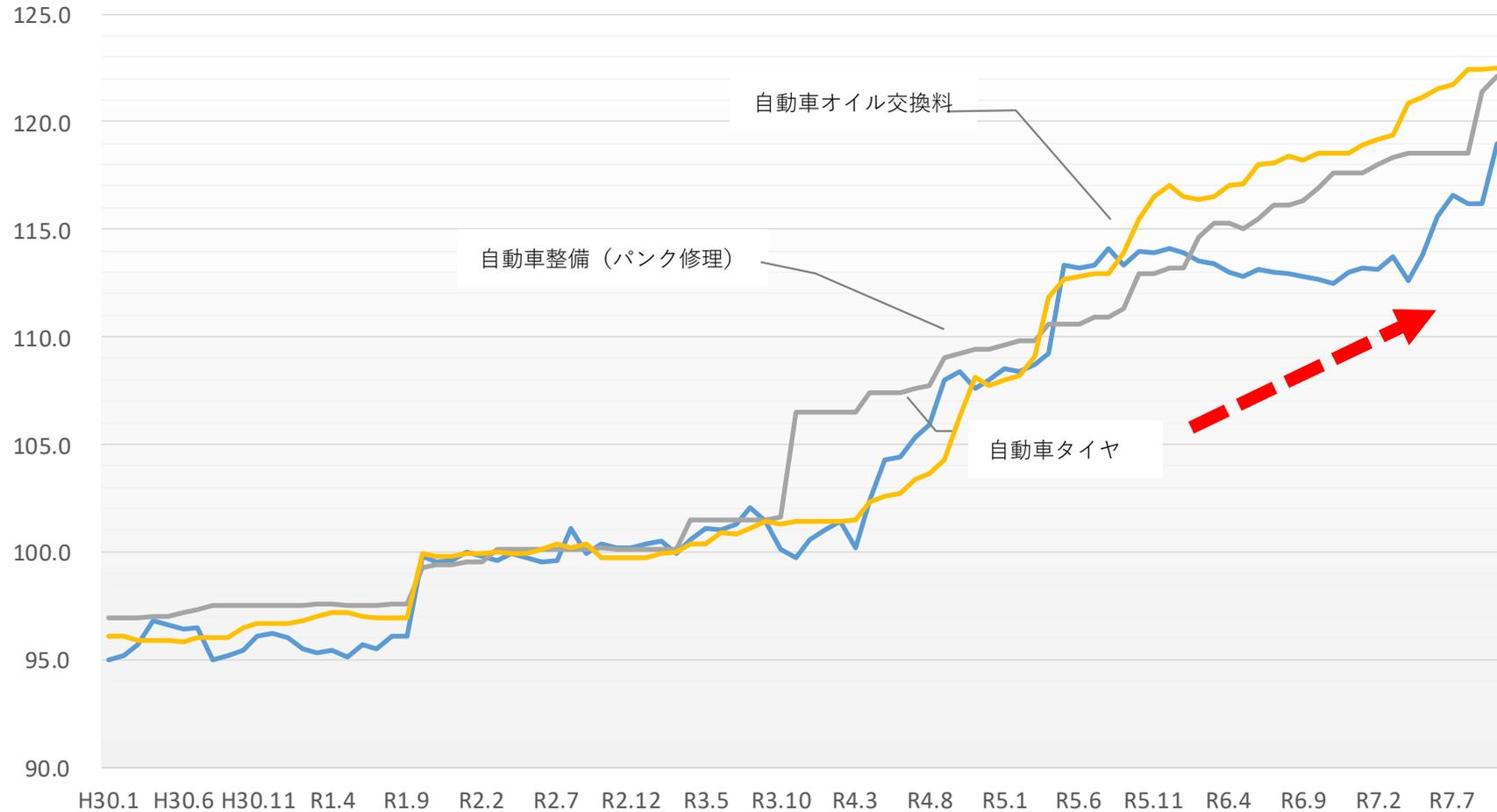
148.5円/ℓ
※11月下旬の現金価格

(資源エネルギー庁調査をもとに県地域交通課作成)

燃料価格など物価高騰の影響②

■ 車両維持費の推移 (H30.1~R7.10)

(物価指数：2020年=100)



(2020年基準消費者物価指数を元に県地域交通課作成)

事業者による取組の例

区分	事例
費用削減策	<ul style="list-style-type: none">・エコドライブ取組強化期間の設定・デジタルタコグラフを活用した指導で燃料費を抑制・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制)・EVバスの導入による動力費の削減
利用促進策	<ul style="list-style-type: none">・バスロケーションシステムの導入・スマホ定期券の販売を開始・キャッシュレス決済機器の導入・市町と連携したバスの乗り方教室の実施・HPの多言語化によるインバウンド客の利用促進

県内自治体による支援の事例

区分	事例
利用促進策	<ul style="list-style-type: none">・ 公共交通利用券の配布・ バスの日イベントの実施・ バスロケーションシステム導入費用の補助・ キャッシュレス決済機器導入費用の補助・ 小学生を対象にしたバス無料デーの実施
物価高騰 対 策	<ul style="list-style-type: none">・ 車両維持費への補助・ 燃料費高騰分の補助

令和7年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価(収支率 50%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+5%以上満点)
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価(10点満点)
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(50%以上満点)

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評価	内容
A (86点以上)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (66～85点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (51～65点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D (0～50点)	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考：R6：B）

- ・評価対象系統全59系統中、A評価：23系統、B評価：30系統、C評価：2系統、D評価：4系統
- ・平均点数が80.9点であることから、全体評価を『B』とした。
- ・各系統の評価結果は別添「令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	補助基準(40点)		実施状況(40点)		幹線性・広域性(20点)		点数	評価					事業者平均	全体評価		
		運行回数 (10点)	実績輸送量 (30点)	収支率 (15点)	乗車人員 (15点)	ネットワーク (10点)	広域トリップ (10点)		A	B	C	D	計				
									86~100	66~85	51~65	0~50					
山梨交通	1 富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	10	5	15	12	3	15	6	5	11	41				○	1	41.0
秋葉バスサービス	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	10	5	15	3	20	23	10	5	15	53			○		4	77.7
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	12	20	32	10	5	15	87	○					
	4 秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	6	8	14	86	○					
	5 秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	10	30	40	12	20	32	5	8	13	85		○				
	6 浜北医大三方原聖隷	10	30	40	12	15	27	10	8	18	85		○				
遠州鉄道	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	15	6	21	7	5	12	73		○			16	78.7
	8 中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	10	30	40	20	15	35	9	5	14	89	○					
	9 秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	10	5	15	6	3	9	7	8	15	39				○		
	10 磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	10	30	40	20	6	26	8	10	18	84		○				
	11 磐田天竜線(ららぽーと経由)	10	30	40	15	6	21	8	8	16	77		○				
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	15	35	9	8	17	92	○					
	13 内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○				
	14 内野台線(サンストリート浜北)	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98	○					
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	10	5	15	12	6	18	5	8	13	46				○		
	16 引佐線	10	30	40	20	15	35	10	5	15	90	○					
	17 萩丘都田線	10	30	40	20	3	23	10	5	15	78		○				
	18 大塚ひとみヶ丘線	10	30	40	20	3	23	10	0	10	73		○				
	19 気賀三ヶ日線	10	30	40	20	6	26	10	5	15	81		○				
	20 奥山線	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○				
	21 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	20	40	8	5	13	93	○					
しずてつジャストライン	22 三保草薙線	10	30	40	20	15	35	10	2	12	87	○				11	77.8
	23 五十海大住線	10	30	40	15	20	35	10	8	18	93	○					
	24 焼津岡部線	10	30	40	15	20	35	6	10	16	91	○					
	25 藤枝吉永線	10	30	40	15	3	18	10	8	18	76		○				
	26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	10	5	15	12	3	15	10	10	20	50				○		
	27 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15	10	10	20	75		○				
	28 藤枝相良線	10	30	40	15	3	18	10	10	20	78		○				
	29 菊川浜岡線	10	30	40	20	3	23	5	8	13	76		○				
	30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	10	30	40	12	3	15	9	10	19	74		○				
	31 掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○					
	32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	10	0	10	12	20	32	4	10	14	56			○			
	富士急モビリティ	33 御殿場線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70		○			
34 駿河小山線		10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		○				
35 十里木線		10	30	40	15	3	18	8	10	18	76		○				
36 河口湖線		10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○					
富士急バス	37 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○				2	100
	38 新富士線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○					
富士急静岡バス	39 曾比奈線	10	5	15	20	20	40	8	10	18	73		○			4	78.2
	40 大淵線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70		○				
	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○					
	42 大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75		○				
富士急シティバス	43 駿河平線	10	30	40	20	3	23	8	8	16	79		○			6	82.5
	44 須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		○				
	45 原線	10	30	40	12	6	18	10	2	12	70		○				
	46 桜堤線	10	30	40	20	6	26	7	10	17	83		○				
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	10	30	40	20	20	40	6	5	11	91	○					
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	15	35	8	8	16	91	○					
伊豆箱根バス	49 沼津大岡三島線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○				3	89.3
	50 長岡伊豆三津シーパラダイス線	10	30	40	20	15	35	7	8	15	90	○					
	51 沼津静浦長岡線	10	30	40	20	6	26	7	5	12	78		○				
東海バス	52 石廊崎線	10	30	40	20	20	40	7	10	17	97	○				8	87.3
	53 天城峠線	10	30	40	20	6	26	10	8	18	84		○				
	54 戸田線	10	30	40	20	3	23	7	8	15	78		○				
	55 西海岸線	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95	○					
	56 バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		○				
	57 バサラ峠線(下田駅～宇久須)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75		○				
	58 下賀茂線	10	30	40	12	20	32	7	8	15	87	○					
	59 柿田線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100	○					
計											80.9	23	30	2	4	59	

[全体評価の理由]
・平均評価点数が80.9点である。

B

地域間幹線系統 事業評価基準

資料 2-3

項目	評価のポイント	満点	配点
補助基準	国庫補助基準を満たしたか	40	
運行回数	運行回数 3 回/日以上を確保したか	10	3 回/日以上 : 10 点 3 回/日未満 : 0 点
輸送量	実績輸送量 15 人/日以上を達成したか	30	20 人/日以上 : 30 点 15 人/日以上 20 人/日未満 : 5 点 15 人/日未満 : 0 点
実施状況	効果的に実施されたか	40	
収支率	収入を確保できているか	20	50%以上 : 20 点 40%以上 50%未満 : 15 点 30%以上 40%未満 : 12 点 25%以上 30%未満 : 6 点 25%未満 : 3 点
乗車人員	乗車人員の実績は計画を上回ったか	20	5%以上増 : 20 点 0%~5%未満増 : 15 点 5%未満減 : 6 点 5%以上減 : 3 点
幹線性・広域性	幹線としての役割を果たしたか	20	
ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点 (バス停数) はあるか	10	拠点 (駅・B T) : 2 点/箇所 乗換可能バス停 : 1 点/箇所
広域トリップ状況	市町 (H13. 3. 31 現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	10	50%以上 : 10 点 30%以上 50%未満 : 8 点 10%以上 30%未満 : 5 点 5%以上 10%未満 : 2 点 5%未満 : 0 点
合計		100	86 点以上 : A 評価 66~85 点 : B 評価 51~65 点 : C 評価 50 点以下 : D 評価

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しずてつジャストライン株式会社	島田静波線	島田駅前		静波海岸入口
系統キロ程	関係市町			
20.4 km	島田市	吉田町	牧之原市	

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	6.2 回/日	10	6.4 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	19.2 人/日	5	25.6 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	33.2 %	12	39.3 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	50,944 人	3	61,467 人
		計画	61,467 人		50,814 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点	3 箇所	10	3 箇所
		乗継バス停	7 箇所		7 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移 動はされているか	59.3 %	10	60.4 %	

補助基準	15 /40
実施状況	15 /40
幹線性・広域性	20 /20
合計	50 /100

評価指標

D

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市、吉田町及び牧之原市住民の島田駅までの通勤、通学 ・榛原総合病院までの通院 ・島田商業高校、榛原高校への通学
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 島田駅前、榛原総合病院、静波海岸入口
	(乗継ぎバス停) 道悦島、色尾、井口塚、吉田IC入口、片岡北吉田特別支援学校、牧之原警察署前、静波二丁目
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 島田駅、島田商業高校、アピタ島田店、島田第五小学校、初倉南小学校、初倉小学校、倉橋学園キラリ高校、自彊小学校、吉田特別支援学校、吉田町役場、吉田中学校、中央小学校、住吉小学校、牧之原警察署、榛原総合病院、細江小学校、榛原高校、川崎小学校、牧之原市役所榛原庁舎

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学生へのバスの乗り方教室の実施 ・バスの乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載（2016年11月より） ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・運賃改定の実施 ・しずてつバスフェスタの開催
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる燃費改善のための指導） ・燃料使用料の削減（車両搭載燃料の抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕費の削減

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しずてつジャストライン株式会社	島田静波線	島田市立総合医療センター	島田駅前	静波海岸入口
系統キロ程	関係市町			
22.8 km	島田市	吉田町	牧之原市	

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数 3 回/日以上を確保したか	6.8 回/日	10	6.8 回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	20.4 人/日	30	23.8 人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	31.7 %	12	33.8 %	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績	61,184 人	3	65,175 人
		計画	65,175 人		78,650 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点	4 箇所	10	4 箇所
		乗継バス停	8 箇所		8 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	50.6 %	10	52.4 %	

補助基準	40 /40
実施状況	15 /40
幹線性・広域性	20 /20
合計	75 /100

評価指標

B

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市、吉田町及び牧之原市住民の島田駅までの通勤、通学 ・榛原総合病院、島田市立総合医療センターまでの通院 ・島田商業高校、榛原高校への通学
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 静波海岸入口、榛原総合病院、島田駅前、島田市立総合医療センター
	(乗継ぎバス停) 島田郵便局前、道悦島、色尾、井口塚、吉田IC入口、片岡北吉田特別支援学校、牧之原警察署前、静波二丁目
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 島田市立総合医療センター、島田市立看護専門学校、島田第四小学校、島田第二中学校、附属島田中学校、島田第二小学校、静岡家裁出張所、島田年金事務所、島田駅、島田商業高校、アピタ島田店、島田第五小学校、初倉南小学校、初倉小学校、倉橋学園キラリ高校、自彊小学校、吉田特別支援学校、吉田町役場、吉田中学校、中央小学校、住吉小学校、牧之原警察署、榛原総合病院、細江小学校、榛原高校、川崎小学校、牧之原市役所榛原庁舎

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学生へのバスの乗り方教室の実施 ・バスの乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載（2016年11月より） ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・運賃改定の実施 ・しずてつバスフェスタの開催
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる燃費改善のための指導） ・燃料使用料の削減（車両搭載燃料の抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕費の削減

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しずてつジャストライン株式会社	藤枝相良線	藤枝駅南口	静波海岸入口	相良営業所
系統キロ程	関係市町			
26.5 km	藤枝市	焼津市	吉田町	牧之原市

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績	
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—	
運行回数 (10)	運行回数3回/日以上を確保したか	11.1回/日	10	11.7回/日	
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	49.9人/日	30	59.6人/日	
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—	
収支率 (20)	収入を確保できているか	45.4%	15	45.8%	
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上 回ったか	実績	140,355人	3	163,313人
		計画	163,313人		169,492人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—	
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセ ス拠点(バス停数)はあるか (詳細別記)	拠点	3箇所	10	3箇所
		乗継バス停	8箇所		8箇所
広域トリップ状況 (10)	市町(H13.3.31現在の市町)跨ぎの移 動はされているか	75.9%	10	76.3%	

補助基準	40 /40
実施状況	18 /40
幹線性・広域性	20 /20
合計	78 /100

評価指標

B

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	<ul style="list-style-type: none"> ・藤枝市、焼津市、吉田町及び牧之原市住民の藤枝駅までの通勤 ・清流館高校、榛原高校、相良高校までの通学 ・榛原総合病院までの通院
ネットワーク構成の詳細	(拠点) 藤枝駅南口、榛原総合病院、静波海岸入口
	(乗継ぎバス停) 東名大井川、宗高町、片岡北吉田特別支援学校、吉田町役場、牧之原警察署前、静波二丁目、相良本通、相良営業所
公共施設・拠点施設とのアクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 藤枝駅、静岡県武道館、藤枝順心高校、BiVi藤枝、藤枝消防署南分署、高洲南小学校、清流館高校、倉橋学園キラリ高校、自彊小学校、吉田特別支援学校、吉田町役場、吉田中学校、牧之原警察署、榛原総合病院、細江小学校、牧之原健康福祉センター、榛原高校、川崎小学校、牧之原市役所榛原庁舎、牧之原市役所相良庁舎、相良小学校・中学校・高校

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学生へのバスの乗り方教室の実施 ・バスの乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載（2016年11月より） ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・運賃改定の実施 ・しずてつバスフェスタの開催
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる燃費改善のための指導） ・燃料使用料の削減（車両搭載燃料の抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕費の削減

2025年11月19日
しずてつジャストライン株式会社
地域交通課

島田静波線（島田駅前⇄静波海岸入口）の評価低下要因について

1. 対象期間

2025年度（2024年10月～2025年9月運行分）

2. 系統概要

(1) 起終点及びキロ程

起 点		終 点	キロ程
島田駅前	～	静波海岸入口	20.4km
静波海岸入口	～	島田駅前	20.4km

(2) 直近のダイヤ改定の有無

- ・ 2025年度 … 2025年4月1日実施：一部便の時刻変更（土日祝）
- ・ 2024年度 … 2024年1月16日実施：改善基準告示の改正を見据えた減便（平日）

運行便数	平日		土曜		日祝		年末年始	
	往	復	往	復	往	復	往	復
～2024年1月15日	7	6	7	7	7	7	4	4
2024年1月16日～	6	6	7	7	7	7	4	4

(3) 事業評価得点

	2024年度		⇒	2025年度	
	実績	点数		実績	点数
運行回数 (10)	6.4回/日	10		6.2回/日	10
輸送量 (30)	25.6人/日	30		19.2人/日	5
収支率 (15)	39.30%	12		33.20%	12
乗車人員 (15) 実績 (計画)	61,467人 (50,814人)	20		50,944人 (61,467人)	3
ネットワーク構成(10) ※拠点/乗継バス停	3/7	10		3/7	10
広域トリップ率 (10)	60.40%	10		59.30%	10
合 計	-	92/100		-	50/100
評 価	A			D	

3. 輸送量及び乗車人員の減少理由

(1) OD 調査結果比較

申請 番号	対象系統		乗車人員					合計
			一般 大人	一般 小人	通勤	通学 大人	通学 小人	
5	島田駅前～静波海岸入口	2025 年度	72 人	7 人	20 人	34 人	3 人	136 人
		2024 年度	88 人	5 人	13 人	58 人	0 人	164 人
		差 異	△16 人	+2 人	+7 人	△24 人	+3 人	△28 人

<調査日及び天候>

- ・2025 年度 … 2025 年 6 月 30 日 (月) 天候：晴
- ・2024 年度 … 2024 年 7 月 1 日 (月) 天候：曇／雨

(2) 乗降人数比較 (島田七丁目バス停乗降数比較) ※島田商業高校最寄り

	島田駅前→静波海岸入口			静波海岸入口→島田駅前			総計
	一般 大人	通学 大人	合計	一般 大人	通学 大人	合計	
2025 年度	1 人	6 人	7 人	1 人	5 人	6 人	13 人
2024 年度	1 人	3 人	4 人	6 人	5 人	11 人	15 人
差 異	±0 人	+3 人	+3 人	△5 人	±0 人	△5 人	△2 人

(3) 乗降人数比較 (榛原高校入口バス停乗降数比較)

	島田駅前→静波海岸入口			静波海岸入口→島田駅前			総計
	一般 大人	通学 大人	合計	一般 大人	通学 大人	計	
2025 年度	3 人	1 人	4 人	0 人	1 人	1 人	5 人
2024 年度	9 人	8 人	17 人	3 人	8 人	11 人	28 人
差 異	△6 人	△7 人	△13 人	△3 人	△7 人	△10 人	△23 人

- ・各校に OD 調査日の学校行事等を確認したが、いずれも通常日課であった。
- ・前年度は雨天だったため、生徒 (榛原高校生) のバス利用にも影響があったと推察される。

(4) 考察

地域間幹線系統の運送収入 (乗車人員) については、記載要領に基づき実態調査の結果により算出することとされており、OD 調査結果に大きく左右される。2025 年度の OD 調査結果から算出した乗車人員は 50,944 人で、前年より 10,523 人の減少となっており、OD 調査結果が芳しくなかったことが主たる要因である。当該系統は朝夕の通勤・通学時間帯に運行しているため、通学利用の減少や天候等が影響したものと考えられる。

4. 今後の対応方針について

当該系統については通学利用の減少傾向が見られるものの、実際の利用人員は前年より641人増加しており、現時点で即時の対応は必要ないと考えているが、引き続き利用人員の推移は注視していく。

一方、先述の通り、地域間幹線系統の運送収入（乗車人員）については、OD調査結果を元に算出していることから、調査日の状況により大きく変動し、本来の実績とは異なる結果が算出される可能性がある。そのため、少なくとも評価に用いる数値については、算出方法の見直しを検討する余地があると考えられる。

◆参考データ

①島田静波線（島田駅前⇄静波海岸入口）利用人員比較（弊社システムより）

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
2025年度	4,147	3,849	3,466	3,275	3,113	3,378	4,007	4,174	4,257	4,025	3,681	4,003	45,375
2024年度	3,993	3,665	3,664	3,554	3,459	3,232	3,857	4,239	3,961	4,002	3,195	3,913	44,734
差異	154	184	△198	△279	△346	146	150	△65	296	23	486	90	641

②榛原高校及び島田商業高校の年間利用人員

	2025年度			2024年度			差異
	乗車	降車	合計	乗車	降車	合計	
島田七丁目	2,257	1,960	4,217	2,262	2,634	4,896	△679
榛原高校入口	325	1,110	1,435	533	1,056	1,589	△154

島田商業高校

③島田商業高校及び榛原高校の生徒数比較

	2025年度	2024年度	差異
島田商業高校	459	499	△40
榛原高校	485	523	△38

以上

地域間幹線系統に対する市町取組方針報告書

市町名		牧之原市
対象系統		
評価指標	A	
	B	島田静波線（島田市立総合医療センター系統）、藤枝相良線
	C	
	D	島田静波線（島田駅系統）
市町の取組		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対するバス路線利用促進及び旅費補助 ・市役所庁舎内にて、路線図や時刻表の配架 ・関係市町とともに欠損補助を実施予定 ・市産業祭にて低床バスを展示し、運転士体験などバスの魅力向上への取組 ・バス無料デーに合わせた路線PR ・路線バス通学定期券購入費補助金の実施 		
今後の方針（市町の意向等）		
評価指標	AまたはB	当路線は、通勤者、学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者、関係市町と連携し運行を継続・維持する。継続維持に当たり、市ホームページや広報紙などを活用し乗車促進を図る。
	CまたはD	<p>当路線は、通勤者・学生等にとって欠かすことのできない路線であるため、事業者、関係市町と連携し運行を維持継続する。</p> <p>【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスを利用して通学する高校生等への通学定期券補助 ・上記制度の広報（広報紙、HP、公式LINE、イベントでのPR、各学校へのチラシ配布） ・通学方法等に係る榛原高校との意見交換及び学校による通学アンケート <p>※アンケート結果は別紙参照</p>

(記載要領)

1 「市町の取組」は、評価期間に実施した利用促進策等の取組を記載してください。

2 「今後の方針（市町の意向等）」は、当該系統をどのように維持していくか、簡潔に記載してください。なお、輸送量が20人/日未満（特に評価指標がCまたはDの系統）については、国及び県の補助要件（輸送量15人/日等）を満たさなくなり、今後補助を受けられなくなるおそれがあるため、より具体的な取組や市町の意向を記載してください（必要に応じて詳細資料（様式任意）を添付すること）。

島田静波線利用状況（榛原高校）について

（地域振興課）

1 概要

榛原高校と当課は、保護者・教員・行政の三者で定期的に通学方法等への意見交換会を開催し、学生のバス利用促進や公共交通機関のあり方等を検討している。

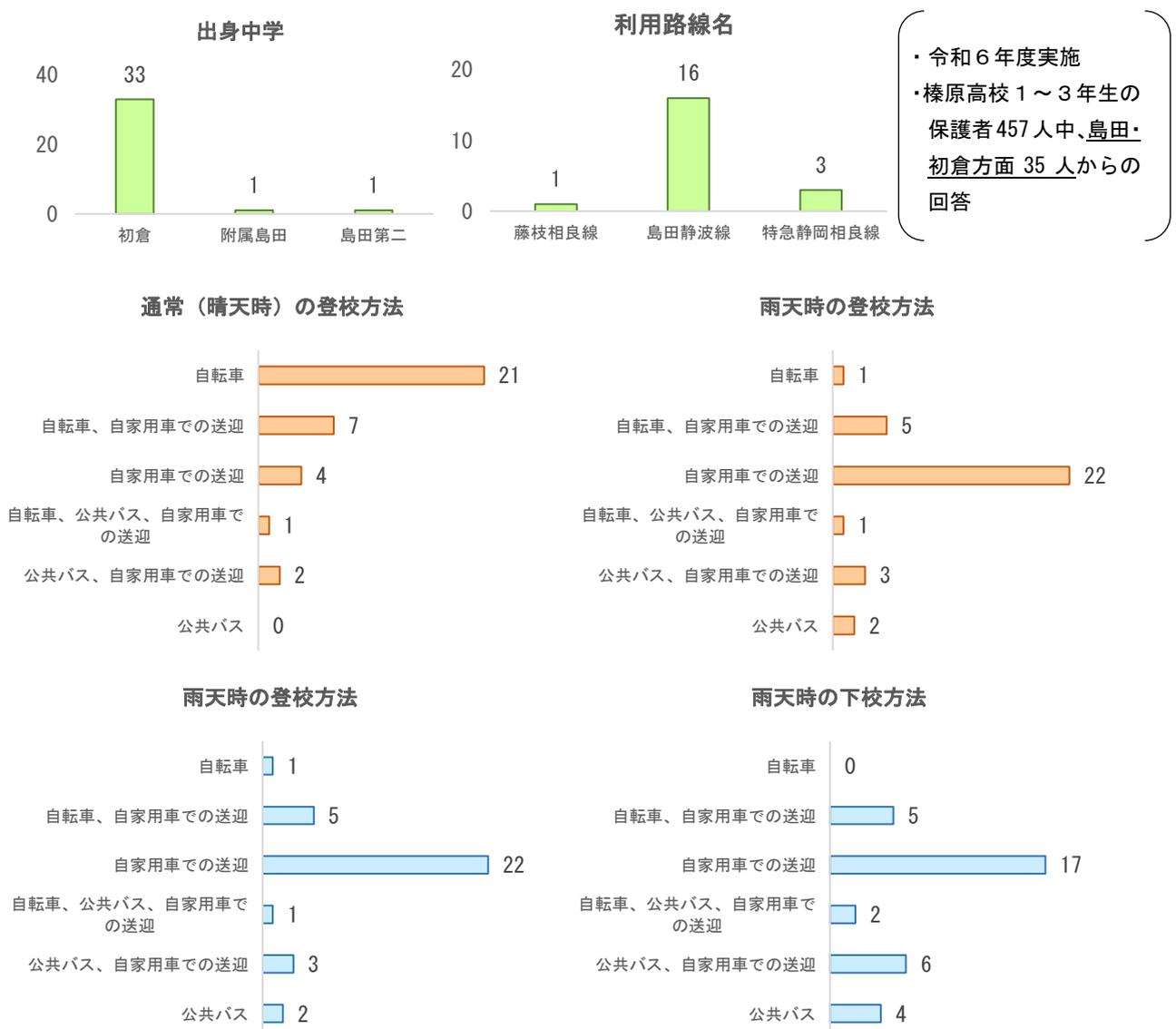
意見交換会に際し、榛原高校では保護者宛てに「通学アンケート」を実施しており、路線バスを利用して通学する学生の状況分析を行っている。

2 島田静波線を利用する生徒の状況について

通常（晴天時）の登校方法として、バスを利用する生徒はほとんどいないが、雨天時には利用する生徒が増えている。

特に下校に利用する生徒が多く、下校時間の変動や保護者の勤務時間帯であるなど、自家用車の送迎ができない世帯があると考えられる。

また、島田・初倉方面から榛原高校に通っており、路線バスを使用する生徒のうち80%が島田静波線を利用している。



3 島田静波線について

雨天時は、登校方法として18%、下校方法として35%の生徒がバスを利用しており、島田・初倉方面から榛原高校に通う生徒にとって、島田静波線は重要な路線であるとともに、保護者による送迎の負担を軽減する一因にもなっている。

また、当市で実施している通学定期券補助を利用している生徒のうち島田静波線を利用している世帯は9世帯あり、島田商業高等学校や島田実業高等専修学校に通う生徒にとって必要な路線となっている。

今後も、通学定期券補助制度の積極的な周知を行い、学生の島田静波線利用の促進を図っていくとともに、学生が登下校に利用しやすい時間帯や通学所要時間となるようダイヤや路線のルート検討を事業者と継続して実施する。

議 事

(1) 令和8年度の運行に関する事項

② 生活交通確保計画案(承認)

生活交通確保計画案(承認)

案

番 年 月 日

静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会長 様

牧之原市長 杉本 基久雄

静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会長から要請のあった路線について検討・調整を実施したので、次のとおり報告します。

事業者又は市町コード	申し出番号	系統名(路線名)	検討・調整結果	検討・調整の経緯	生活交通確保計画への記載
23	1	萩間線 (相良本通発 牧之原小経由 金谷駅前行き)	市町自主運行による 路線維持 (平成13年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 4月23日(水) 島田市意見交換 ◎ 4月23日(水) 菊川市意見交換 ◎ 6月23日(月) 関係市町連絡調整会議 (島田市、菊川市、御前崎市、牧之原市) ◎ 7月4日(金) OD調査実施 ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について 	○
23	2	萩間線 (相良本通発 牧之原小経由 金谷小学校行き)	市町自主運行による 路線維持 (平成13年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・R6における数値目標の達成状況と取組実績 ・静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業 ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○
23	3	勝間田線 (静波海岸入口 発勝間経由 金谷駅前行き)	市町自主運行による 路線維持 (平成13年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 4月23日(水) 島田市意見交換 ◎ 6月23日(月) 関係市町連絡調整会議 (島田市、菊川市、御前崎市、牧之原市) ◎ 7月11日(金) OD調査実施 ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について 	○
23	4	勝間田線 (静波海岸入口 発勝間経由 金谷小学校行き)	市町自主運行による 路線維持 (平成13年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・R6における数値目標の達成状況と取組実績 ・静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業 ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について 	○
23	5	勝間田線 (坂下発榛原総 合病院行き)	市町自主運行による 路線維持 (平成13年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○
23	6	鬼女・菅山線 (菅山原発 須々木入口 経由相良庁舎 行き)	市町自主運行による 路線維持 (令和2年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 6月30日(月) OD調査実施 ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・R6における数値目標の達成状況と取組実績 ・静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業 ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○
23	7	相良御前崎線 (相良本通発 地頭方辻経由 御前崎海洋セン ター行き)	市町自主運行による 路線維持 (平成20年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 6月23日(月) 関係市町連絡調整会議 (島田市、菊川市、御前崎市、牧之原市) ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 7月17日(木) OD調査実施 ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・R6における数値目標の達成状況と取組実績 ・静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業 ◎ 11月7日(金) 御前崎市意見交換 ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○

23	8	相良浜岡線 (相良本通発 地頭方辻經由 浜岡営業所行 き)	市町自主運行による 路線維持 (平成20年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 6月23日(月) 関係市町連絡調整会議 (島田市、菊川市、御前崎市、牧之原市) ◎ 7月14日(月) OD調査実施 ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・R6における数値目標の達成状況と取組実績 ・静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業 ◎ 11月7日(金) 御前崎市意見交換 ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○
23	9	相良浜岡線 (相良本通発 地頭方辻經由 御前崎総合病院 行き)	市町自主運行による 路線維持 (平成20年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 11月7日(金) 御前崎市意見交換 ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○
23	10	デマンド乗合タ クシーさかべ号	市町自主運行による 路線維持 (平成29年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・デマンド乗合タクシー運行事業について ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○
23	11	デマンド乗合タ クシーかつまた・ま きのはら号	市町自主運行による 路線維持 (平成30年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・R6における数値目標の達成状況と取組実績 ・静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業 ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○
23	12	デマンド乗合タ クシーすげやま・ はぎま号	市町自主運行による 路線維持 (平成30年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・デマンド乗合タクシー運行事業について ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○
23	13	デマンド乗合タ クシーじとうがた 号	市町村自主運行によ る路線維持 (令和3年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・デマンド乗合タクシー運行事業について ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○
23	14	デマンド乗合タ クシーしずなみ・ かわさき、ほそ え号	市町自主運行による 路線維持 (令和4年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・R6における数値目標の達成状況と取組実績 ・静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業 ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定 (地域公共交通会議にて承認済み) 	○

23	15	デマンド乗合タクシー さがらひがし、にし号	市町自主運行による路線維持(令和4年度～)	◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・デマンド乗合タクシー運行事業について ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定(地域公共交通会議にて承認済み)	○
106		島田静波線(島田駅～静波海岸入口)		◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・R6における数値目標の達成状況と取組実績 ・静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業 ・デマンド乗合タクシー運行事業について ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定(地域公共交通会議にて承認済み)	○
106		島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅～静波海岸入口)		◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定(地域公共交通会議にて承認済み)	○
106		藤枝相良線(藤枝駅南口～静波海岸入口～相良営業所)		◎ 6月30日(月) OD調査実施 ◎ 7月9日(水) 地域公共交通会議① ・牧之原市公共交通計画について ・各事業の方向性と課題について ◎ 10月1日(水) 地域公共交通会議評価改善部会 ・R6における数値目標の達成状況と取組実績 ・静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業 ・デマンド乗合タクシー運行事業について ◎ 12月17日(水) 地域公共交通会議② ・次年度のバス、乗合タクシーの運行 ・公共交通計画について ◎ 12月17日(水) 市町生活交通確保計画案策定(地域公共交通会議にて承認済み)	○

※検討・調整の経緯はなるべく詳細に記載すること。記載に代えて議事録等の検討・調整経緯が詳細に明記されている資料を添付してもよい。

※生活交通確保計画への記載の欄には、申し出に係る前年度の生活交通確保計画に記載のある場合には○、ない場合には×を記入すること。

責任者 職・氏名
 作成者 職・氏名

企画政策部地域振興課長 原口 克也
 企画政策部地域振興課 主査 中山 成菜

静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会長 様

案

牧之原市長 杉本 基久雄

令和8年度の生活交通確保計画案を作成したので、提出します。

事業者番号 又は 市町コード	申し出 番号	区分	系統名 (路線名)	運行系統			輸送サービスの範囲(路線沿 線の需要と特性、地域住民 数、利用者の属性など)	輸送サービスの形態		関係市町名				運行時間帯
				起点	経過地	終点		運行形態	運行事業者名					
23	1	現行	萩間線	相良本通	牧之原小	金谷駅前	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	菊川市	島田市		6:55~19:25
23	1	計画	萩間線	相良本通	牧之原小	金谷駅前	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	菊川市	島田市		6:55~19:25
23	2	現行	萩間線	相良本通	水呑	金谷 小学校	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	菊川市	島田市		6:25~16:30
23	2	計画	萩間線	相良本通	水呑	金谷 小学校	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	菊川市	島田市		6:25~16:30
23	3	現行	勝間田線	静波海岸入 口	勝間	金谷駅前	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	島田市			6:20~17:28
23	3	計画	勝間田線	静波海岸 入口	勝間	金谷駅前	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	島田市			6:20~17:28
23	4	現行	勝間田線	静波海岸 入口	勝間	金谷 小学校	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	島田市			6:42~15:45
23	4	計画	勝間田線	静波海岸 入口	勝間	金谷 小学校	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	島田市			6:42~15:45
23	5	現行	勝間田線	榛原総合 病院	勝間	坂下	通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市				7:27~
23	5	計画	勝間田線	榛原総合 病院	勝間	坂下	通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市				7:27~
23	6	現行	鬼女・菅山線	菅山原	須々木入口	相良庁舎	通学等の生活交通(多くが 小学生の通学利用者)	自主運行バス	牧之原市	牧之原市				7:00~
23	6	計画	鬼女・菅山線	菅山原	須々木入口	相良庁舎	通学等の生活交通(多くが 小学生の通学利用者)	自主運行バス	牧之原市	牧之原市				7:00~
23	7	現行	相良御前崎線	御前崎海洋 センター	地頭方辻	相良本通	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	御前崎市			6:24~20:14
23	7	計画	相良御前崎線	御前崎海洋 センター	地頭方辻	相良本通	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	御前崎市			6:24~20:14
23	8	現行	相良浜岡線	浜岡営業所	地頭方辻	相良本通	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	御前崎市			6:02~21:45
23	8	計画	相良浜岡線	浜岡営業所	地頭方辻	相良本通	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	御前崎市			6:52~20:12
23	9	現行	相良浜岡線	御前崎総合 病院	地頭方辻	相良本通	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	御前崎市			6:52~18:21
23	9	計画	相良浜岡線	御前崎総合 病院	地頭方辻	相良本通	通勤・通学・通院等の生活交通	自主運行バス	しずてつ ジャストライ ン(株)	牧之原市	御前崎市			6:52~18:21

23	10	現行	デマンド乗合タクシー さかべ号	坂部区と牧之原市内及び吉田町との区域運行	坂部区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	東海タクシー(株)	牧之原市								8:30~17:00
23	10	計画	デマンド乗合タクシー さかべ号	坂部区と牧之原市内及び吉田町との区域運行	坂部区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	東海タクシー(株)	牧之原市								8:30~17:01
23	11	現行	デマンド乗合タクシー かつまた・まきのほら号	勝間田区、牧之原区と牧之原市内との区域運行	勝間田区、牧之原区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	東海タクシー(株)	牧之原市								8:30~17:02
23	11	計画	デマンド乗合タクシー かつまた・まきのほら号	勝間田区、牧之原区と牧之原市内との区域運行	勝間田区、牧之原区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	東海タクシー(株)	牧之原市								8:30~17:03
23	12	現行	デマンド乗合タクシー すげやま・はぎま号	菅山区、萩間区と牧之原市内との区域運行	菅山区、萩間区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	御前崎タクシー(株)	牧之原市								8:15~17:04
23	12	計画	デマンド乗合タクシー すげやま・はぎま号	菅山区、萩間区と牧之原市内との区域運行	菅山区、萩間区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	御前崎タクシー(株)	牧之原市								8:15~17:05
23	13	現行	デマンド乗合タクシー じとうがた号	地頭方地区と牧之原市内及び御前崎市との区域運行	地頭方地区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	御前崎タクシー(株)	牧之原市								8:30~17:06
23	13	計画	デマンド乗合タクシー じとうがた号	地頭方地区と牧之原市内及び御前崎市との区域運行	地頭方地区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	御前崎タクシー(株)	牧之原市								8:30~17:07
23	14	現行	デマンド乗合タクシー しずなみ・かわさき、ほそえ号	静波区、川崎区及び細江区と牧之原市内との区域運行	静波区、川崎区、細江区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	東海タクシー(株)	牧之原市								8:30~17:08
23	14	計画	デマンド乗合タクシー しずなみ・かわさき、ほそえ号	静波区、川崎区及び細江区と牧之原市内との区域運行	静波区、川崎区、細江区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	東海タクシー(株)	牧之原市								8:30~17:09
23	15	現行	デマンド乗合タクシー さがらひがし、にし号	相良地区と牧之原市内との区域運行	相良地区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	御前崎タクシー(株)	牧之原市								8:30~17:10
23	15	計画	デマンド乗合タクシー さがらひがし、にし号	相良地区と牧之原市内との区域運行	相良地区に居住する75歳以上の者等の通院等の生活交通	乗合タクシー	御前崎タクシー(株)	牧之原市								8:30~17:11

事業者番号 又は 市町コード	申し出 番号	区分	キロ 程 (km)	1日 あたり 運行回数 (回)	平均 乗車 密度 (人)	輸送量 (人・回)	実車走行 キロ 程 (km)	競合区間 キロ程 (km)	経常費用 (千円)	経常収入 (千円)	欠損額 a (千円)	競合区間 の カット額 b (千円)	合計額 a-b (千円)	公的 支援 の 方法	収支改善策	継続 協議
23	1	現行	21.3	7.7	2.4	18.2	119,322.6	-	64,428	12,792	51,636		51,636	県単独		
		計画	21.3	7.7	2.4	18.2	119,322.6	-	68,380	12,792	55,588		55,588	県単独		
23	2	現行	24.1/24.3	1.7	2.7	4.3	29,766.0	-	16,073	3,191	12,882		12,882	県単独		
		計画	24.1/24.3	1.7	2.7	4.3	29,766.0	-	17,058	3,191	13,867		13,867	県単独		
23	3	現行	15.8	3.3	1.3	4.1	37,920.0	-	27,936	2,624	25,312		25,312	県単独		
		計画	15.8	3.3	1.3	4.1	37,920.0	-	29,782	2,624	27,158		27,158	県単独		
23	4	現行	16.9/17.1	0.7	1.3	0.7	8,364.0	-	6,162	578	5,584		5,584	県単独		
		計画	16.9/17.1	0.7	1.3	0.7	8,364.0	-	6,569	578	5,991		5,991	県単独		
23	5	現行	10.5	0.3	1.0	0.3	2,583.0	-	1,903	178	1,725		1,725	県単独		
		計画	10.5	0.3	1.0	0.3	2,583.0	-	2,029	178	1,851		1,851	県単独		
23	6	現行	11.9	0.6	1.3	1.0	7,497.0	-	11,500	398	11,102		11,102	県単独		
		計画	11.9	0.6	1.3	1.0	7,497.0	-	9,240	398	8,842		8,842	県単独		
23	7	現行	11.1	7.3	1.3	9.4	59,629.2	-	45,265	4,759	40,506		40,506	県単独		
		計画	11.1	7.3	1.3	9.4	59,629.2	-	48,378	4,759	43,619		43,619	県単独		
23	8	現行	12.8	2.9	1.6	4.4	26,201.6	-	15,466	2,431	13,035		13,035	県単独		
		計画	12.8	2.9	1.6	4.3	26,201.6	-	16,513	2,431	14,082		14,082	県単独		
23	9	現行	15.5	5.9	1.7	8.5	57,195.0	-	33,760	5,307	28,453		28,453	県単独		
		計画	15.5	5.9	1.7	8.5	57,195.0	-	36,046	5,307	30,739		30,739	県単独		
23	10	現行	-	8.0	1.2	9.6	1,451.1	-	520	131	390		390	県単独		
		計画	-	8.0	2.2	17.6	1,731.2	-	626	165	460		460	県単独		
23	11	現行	-	10.0	1.4	14.0	4,966.2	-	1,748	285	1,463		1,463	県単独		
		計画	-	8.0	1.4	11.2	5,291.7	-	1,860	332	1,527		1,527	県単独		
23	12	現行	-	8.0	1.5	12.0	4,383.4	-	1,596	384	1,212		1,212	県単独		
		計画	-	8.0	1.8	14.4	4,410.8	-	1,602	333	1,269		1,269	県単独		
23	13	現行	-	8.0	1.2	9.6	2,013.5	-	718	130	589		589	県単独		
		計画	-	8.0	1.6	12.8	2,108.5	-	747	163	584		584	県単独		
23	14	現行	-	8.0	1.2	9.6	5,503.5	-	2,120	413	1,707		1,707	県単独		
		計画	-	8.0	1.2	9.6	4,816.6	-	1,840	328	1,512		1,512	県単独		
23	15	現行	-	8.0	1.2	9.6	3,252.1	-	1,222	222	999		999	県単独		
		計画	-	8.0	1.2	9.6	3,541.1	-	1,321	244	1,078		1,078	県単独		

※路線名欄には、系統毎に記載すること

※現行の欄には、事業者及び市町が提出した申出書及び申し出路線の現況の最終年度の数値を記入すること。

※運行形態の欄には、乗合バス、自主運行バス、乗合タクシー、スクールバス、医療バス、無料バスなどの種別を記入すること。

※運行事業者の欄には、運行形態に関わらず、実際に運行事業を行う者の事業者名又は団体名を記入すること。

※競合区間欄には、当該系統に競合する系統数、競合する区間の競合率及び総輸送量並びにキロ程を記載すること。

※競合区間のカット額は、カットの対象となる系統について、欠損額に[競合区間キロ程÷系統キロ程]を乗じて得られた額を記載すること。

※平均乗車密度、輸送量、経常費用、経常収入、欠損額の計画はその算出根拠を別途添付すること。

※国庫補助対象となる系統については、前年10月～当年9月を1年度として算定した数値を記入すること。

※継続協議欄には、直近の申し出より以前に申し出を行った系統であって、協議結果が継続協議であったものについては、○を記載すること。

責任者 職・氏名 企画政策部地域振興課長 原口 克也
 作成者 職・氏名 企画政策部地域振興課 主査 中山 成菜

議 事

- (1) 令和8年度の運行に関する事項
 - ② 生活交通確保計画案(承認)
 - ア 自主運行バスの運行について

運行状況

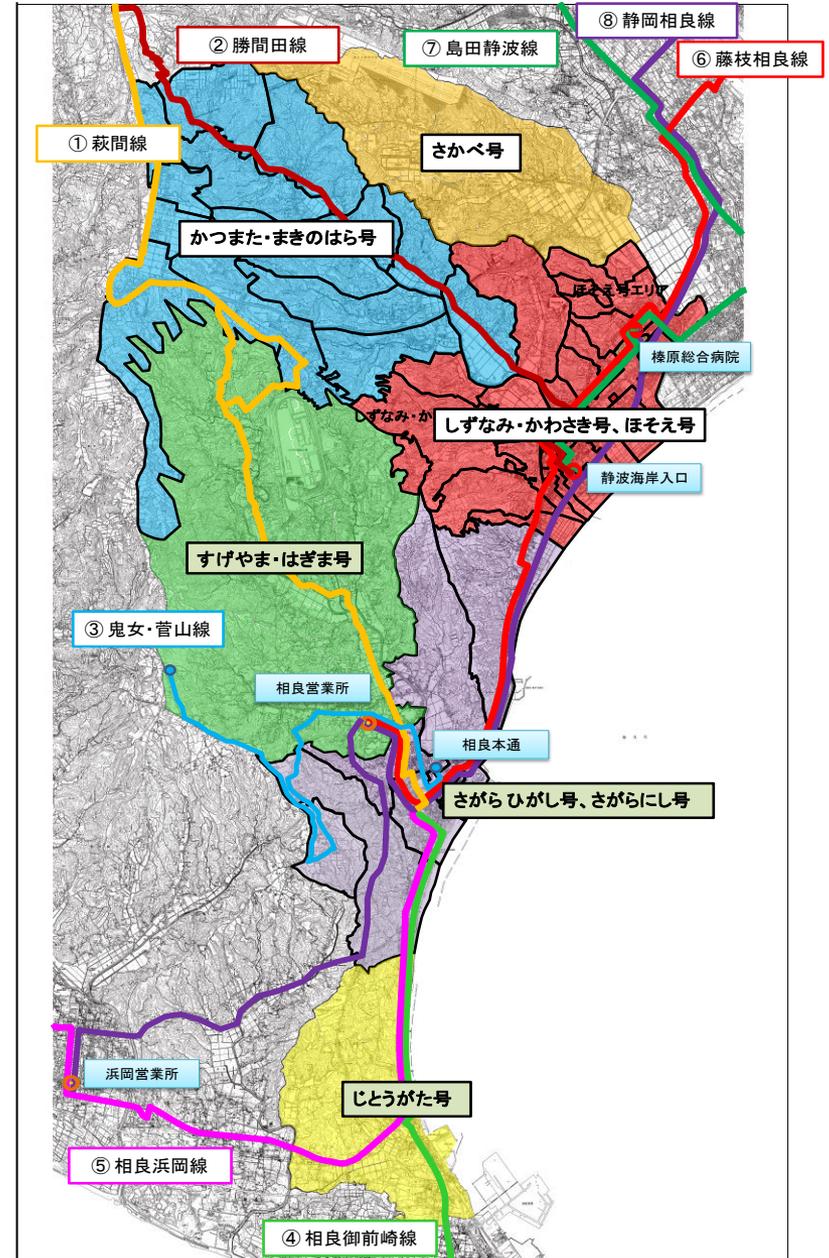
路線図

【乗合バス路線】

- (特急) 静岡相良線 (紫)
- 藤枝相良線 (赤)
- 島田静波線 (緑)

【自主運行バス路線】

- 萩間線 (黄)
- 勝間田線 (茶)
- 鬼女・菅山線 (青)
- 相良御前崎線 (黄緑)
- 相良浜岡線 (紫)



自主運行バス

路線名	起点	終点	経路市町(◎は運行主体)
萩間線	相良本通	金谷駅 (金谷小学校)	島田市・菊川市・◎牧之原市
勝間田線	静波海岸入口	金谷駅 (金谷小学校)	島田市・◎牧之原市
鬼女菅山線	菅山原	相良庁舎	牧之原市
相良御前崎線	御前崎海洋センター	相良本通	◎御前崎市・牧之原市
相良浜岡線	御前崎総合病院 (浜岡営業所)	相良本通	◎御前崎市・牧之原市

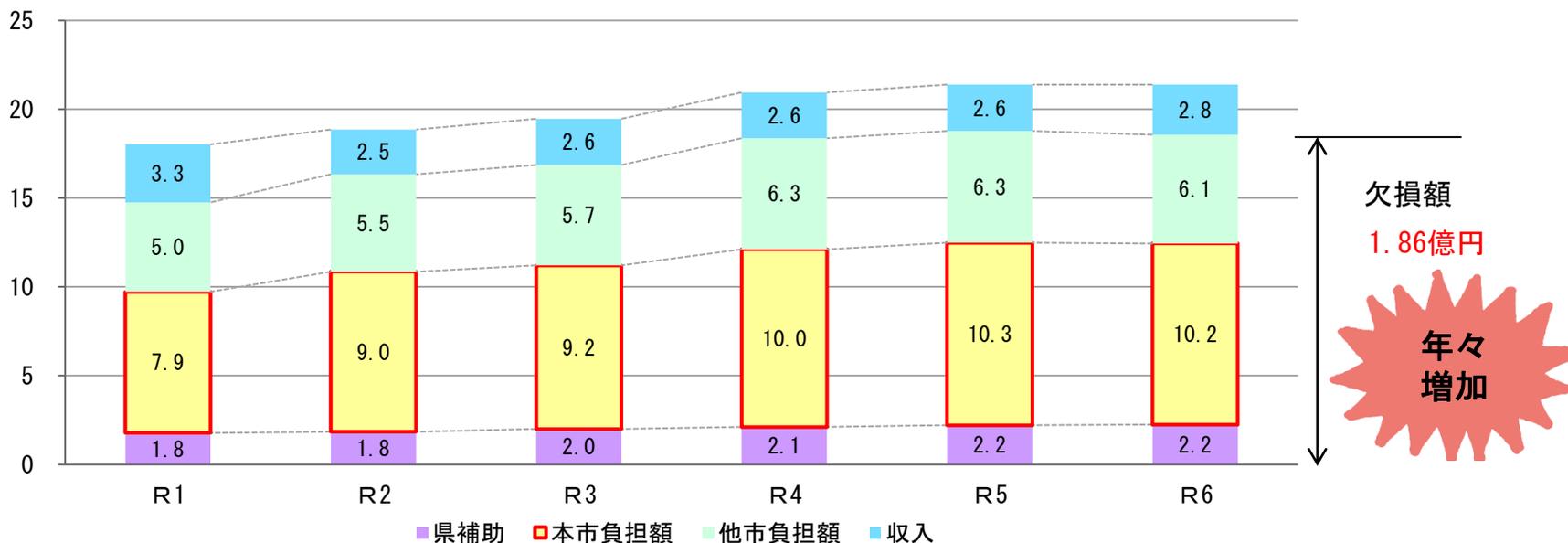
路線名	1日便数 ()は休日	乗車人数/日 (R7OD調査)	利用客中の 小学生割合	主な停留所
萩間線	21(14)	189	33.3%	金谷駅、金谷小学校、相良本通
勝間田線	10(6)	65	52.3%	金谷駅、金谷小学校、静波海岸入口
鬼女・菅山線	3(0)	23	99.8%	相良庁舎、菅山小学校
相良御前崎線	17(10)	31	9.6%	相良本通、御前崎海洋センター
相良浜岡線	18(11)	75	0%	相良本通、浜岡営業所、御前崎総合病院

※◎印は、委託等の事務を行う市。

運行に関する経費(令和6年度実績)

路線名	委託金額	運賃収入	欠損額	市実質負担額
萩間線	79,310,000	14,365,429	64,944,571	35,520,101
勝間田線	35,442,000	3,436,832	32,005,168	18,924,874
鬼女・菅山線	5,206,300	372,770	4,833,530	3,951,530
相良御前崎線	44,638,000	4,187,338	40,450,662	22,905,424
相良浜岡線	49,225,000	5,782,292	43,442,708	20,685,512
計	213,821,300	28,144,661	185,676,639	101,987,441

千万円

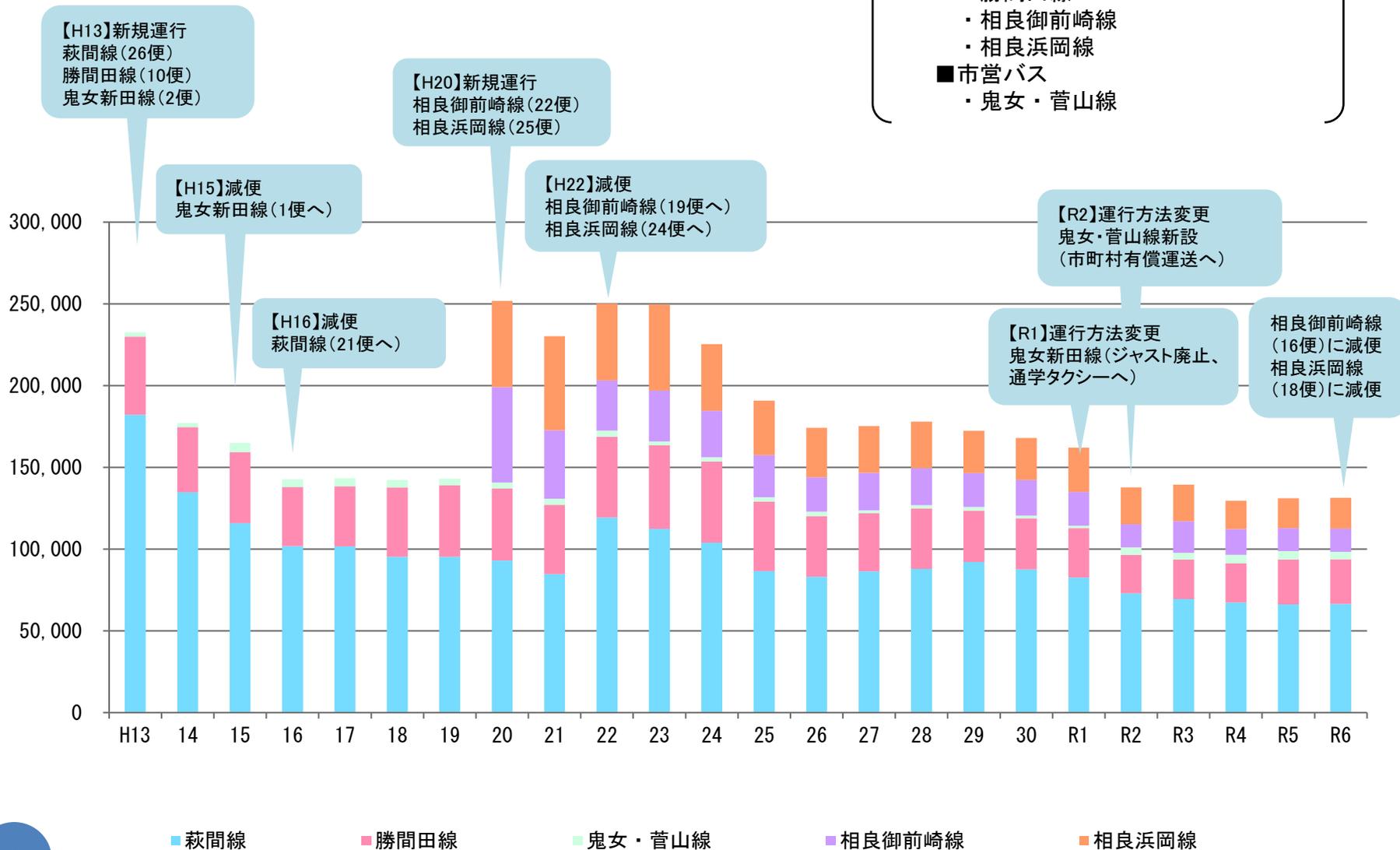


自主運行バス乗車人員の推移

令和6年現在

- しずてつジャストライン(株)委託
 - ・萩間線
 - ・勝間田線
 - ・相良御前崎線
 - ・相良浜岡線
- 市営バス
 - ・鬼女・菅山線

人

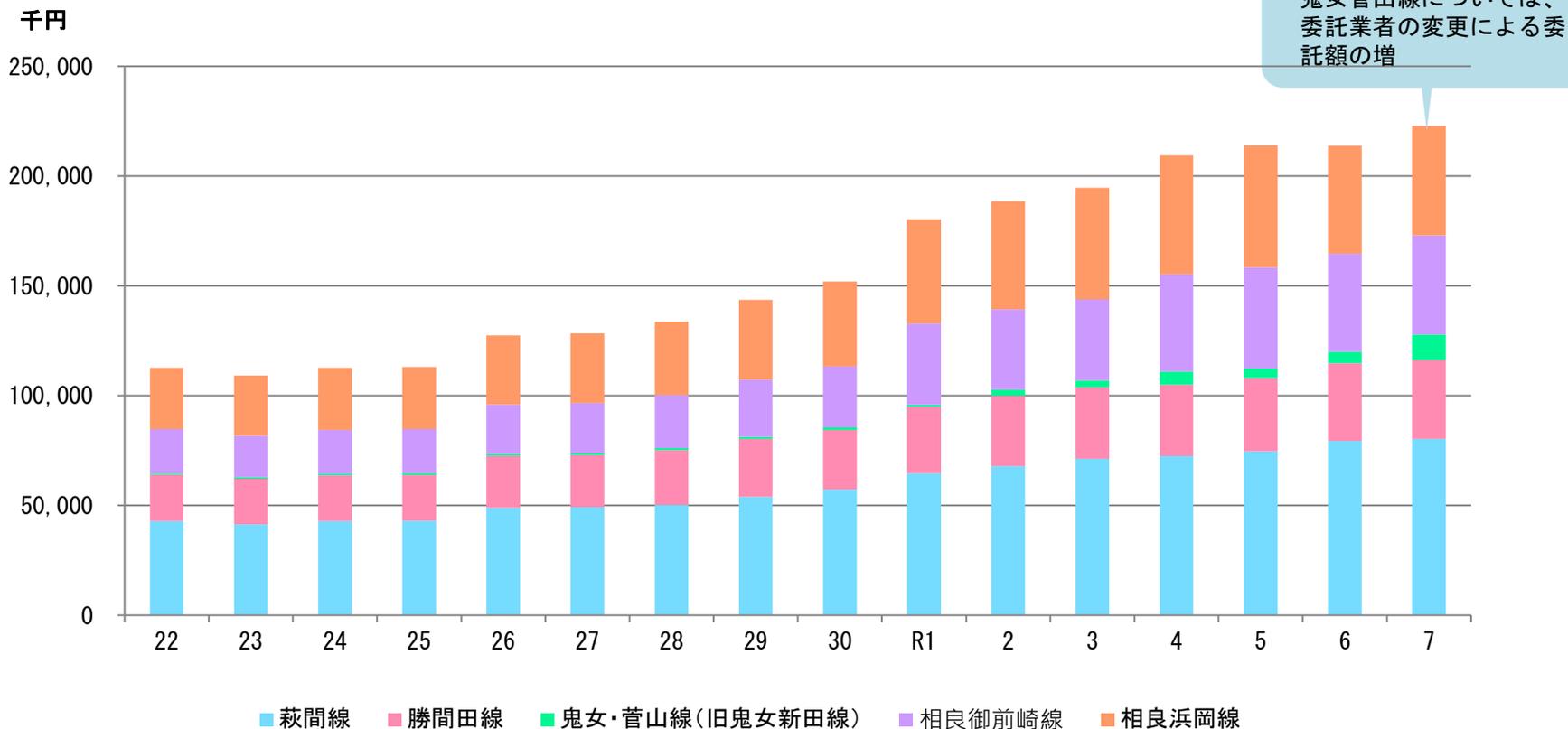


自主運行バス乗車人員の推移



コロナの影響で令和2年度に人員が減少し、未だコロナ前までの回復にいたっておらず、令和3年度以降は横ばいで推移している路線が多い。

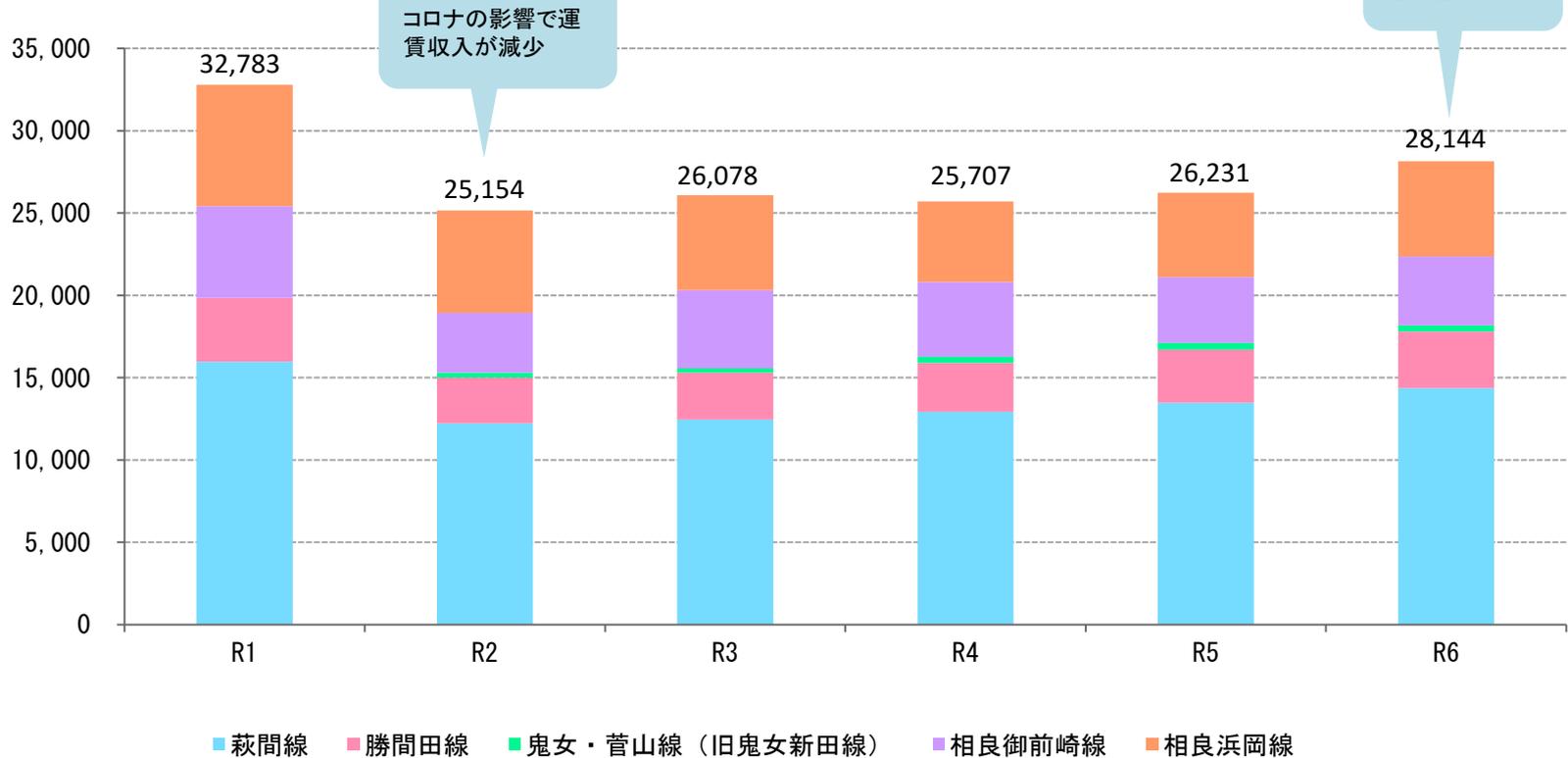
運行経費の推移



経費は年々上昇しており、H22の約2倍となっている路線もある。これは、運転手不足への待遇改善経費の増加、燃料費等の高騰が要因である。

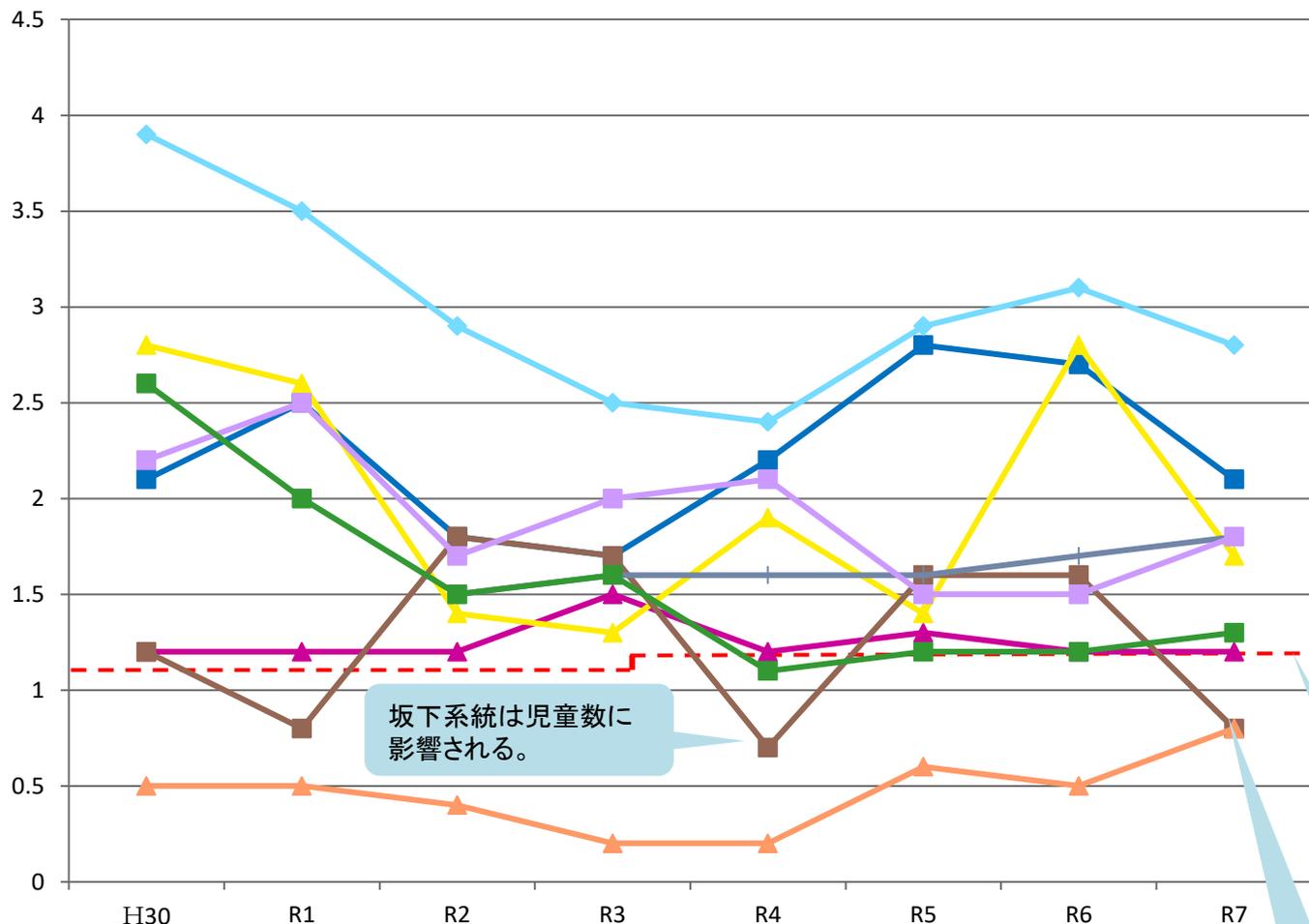
運賃収入の推移

千円



令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響によって利用者が大幅に減少し、運賃収入も減少。その後は、令和6年度に運賃改定を実施し、緩やかに回復の傾向が見られ始めたといえる。

平均乗車密度(OD調査結果)



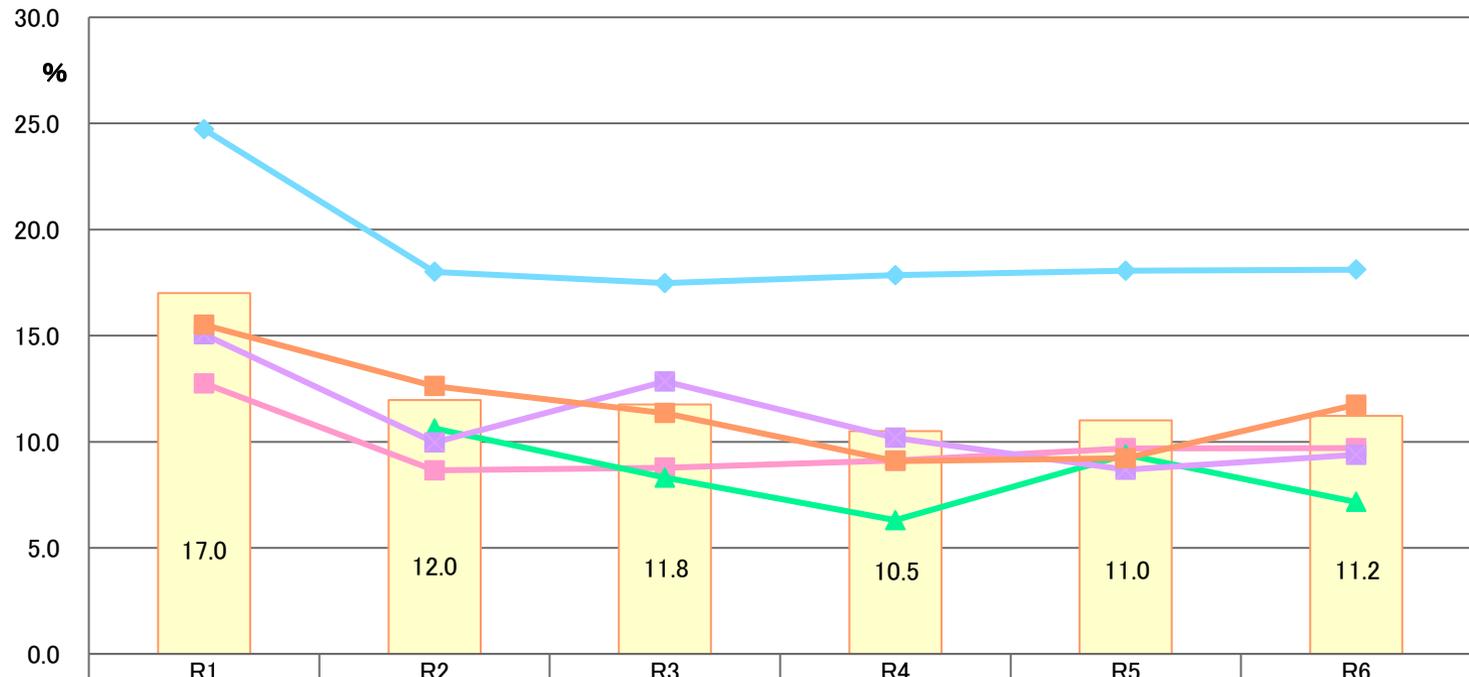
坂下系統は児童数に影響される。

平均乗車密度1.2以上が県の補助金対象となる。-----

相良浜岡線(浜岡営業所系統)は県の補助をもらえていない。

・R6に運賃改定を実施したことから、平均乗車密度(年間運賃収入/年間走行キロ×平均賃率で算出)が低下したと考えられる。
 ・相良御前崎線と相良浜岡線についてはダイヤ改定を実施したため、平均乗車密度が微増したと考えられる。

収支率



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
合計	17.0	12.0	11.8	10.5	11.0	11.2
萩間線	24.7	18.0	17.5	17.8	18.1	18.1
勝間田線	12.8	8.7	8.8	9.1	9.7	9.7
鬼女・菅山線	10.6	10.6	8.3	6.3	9.4	7.2
相良御前崎線	15.1	10.0	12.8	10.2	8.7	9.4
相良浜岡線	15.5	12.6	11.4	9.1	9.2	11.7

令和2年を境に収支率は回復しておらず、横ばいの傾向である。

バス路線の今後の方向性

- JR駅や乗り継ぎ拠点へ結ぶ重要な路線となるため、継続的な路線運行について、交通事業者や関係市町等と協議をしていく。
- 都市計画マスタープランや公共交通計画にある「富士山型ネットワーク構造」を形成するために、新たな路線の運行や効率的な路線維持に向けた検討を行う。
- 新たな路線については、萩間線の牧之原IC周辺高台開発地への乗入れを検討する。
- 移動の利便性を高めるため、矢崎アローラインのように企業等と連携した取組を推進する。
- 高校生の路線バス利用促進のため、バス路線通学定期券補助を継続する。
- 路線の新規性や柔軟性、経費抑制のため、運行形態を関係市と検討する。

議 事

(1) 令和8年度の運行に関する事項

② 生活交通確保計画案(承認)

イ デマンド乗合タクシーの運行について

利用状況

デマンド乗合タクシー

令和7年4月～市内全域で本運行実施。行先として「道の駅そらっと牧之原」等を追加。病院からスーパーへの移動など、市街地の施設間の移動が可能となった。

名称	内容
さかべ号	H29.10～試験運行 / <u>R2.4～本運行</u>
かつまた・まきのほら号	H30.10～試験運行 / <u>R3.4～本運行</u> ※R6.4月 両号を統合
すげやま・はぎま号	すげやま号 : H31.2～試験運行 はぎま号 : R2.2～試験運行 } R3.4～両号を統合 <u>R4.4～本運行</u>
さがらひがし号・にし号	R4.12～試験運行 / <u>R7.4～本運行</u>
しずなみ・かわさき号、 ほそえ号	R4.11～試験運行 / <u>R7.4～本運行</u>
じとうがた号	<u>R6.4～本運行</u>

基本的な運行内容

【利用可能者】

- 75歳以上の者
- 自動車運転免許非保有者
- 障がい者
- 要介護、要支援認定者
- 妊婦
- 市長が認めた者（一時負傷者等）

【運行頻度】

- 週2～3日、日8便

【特定施設】

- 基本的には、市内の病院、スーパー、公共施設、金融機関
※市外の特定施設も指定

（さかべ号：吉田町6病院、じとうがた号：御前崎市5病院・1商業施設）

【運賃】

- 概ねタクシー料金の1/4（バス料金を考慮）
- お試し乗車券、10回利用での割引あり

R7. 11. 20現在	登録者数
さかべ号	89人
すげやま・はぎま号	164人
かつまた・まきのはら号	221人
じとうがた号	122人
しずなみ・かわさき号、 ほそえ号	304人
さがらひがし、にし号	204人
合計	1,104人

運行状況(令和6年度)

【 利用状況 】

名称	累計						月平均	
	運行便数 (便)	稼働率 (%)	利用者数 (人)	実利用者数 (人)	登録者数 (人)	乗合率 (人/車)	運行便数 (便)	利用者数 (人)
さかべ号	191	18.4	419	16	91	2.19	16	35
かつまた号・ まきのほら号	534	28.5	644	55	212	1.21	45	54
すげやま・ はぎま号	667	43.0	930	49	162	1.39	56	78
じとうがた号	252	29.6	365	25	122	1.45	21	30
しずなみ・かわさ き号、ほそえ号	1,262	61.9	1,386	97	286	1.10	105	36
さがらひがし・ にし号	632	41.0	740	71	201	1.17	53	26
合計	3,538	37.1	4,484	313	1,074	1.27	296	259

収支状況(令和6年度)

名称	累計				月平均		
	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市負担額 (円)	収支率 (%)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市負担額 (円)
さかべ号	520,210	130,500	389,710	25.1	43,351	10,875	32,476
かつまた号・ まきのはら号	1,747,720	284,850	1,462,870	16.3	145,643	23,738	121,906
すげやま・ はぎま号	1,594,670	383,400	1,211,270	24.0	132,889	31,950	100,527
じとうがた号	718,290	129,500	588,790	18.0	59,858	10,792	49,066
しずなみ・かわさ き号、ほそえ号	2,119,720	412,900	1,706,820	19.5	176,643	34,408	142,235
さがらひがし・ にし号	1,221,540	222,300	999,240	18.2	101,795	18,525	83,270
合計	7,922,150	1,563,450	6,358,700	19.7	660,179	130,288	529,480

さかべ号(R6概要)

登録率 ※該当地区に在住で75歳以上の者のうち登録している割合

21.1% (91人/431人)

実利用者数

16人 (登録者の17.6%が利用)

1便あたり運行単価

2,723円

予約が多い時間帯

行き ①8:30 (169人)
②9:30 (32人)
③10:30 (13人)

帰り ①12:00 (158人)
②11:00 (31人)
③13:00 (8人)

行き先上位

①坂部区民センター (293回)
②榛原総合病院 (47回)
③ドン・キホーテ (26回)

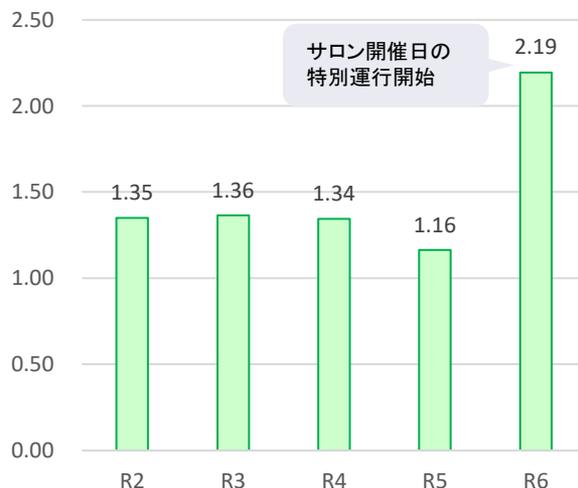
予約が多い曜日

①金曜日 (281人)
②火曜日 (75人)

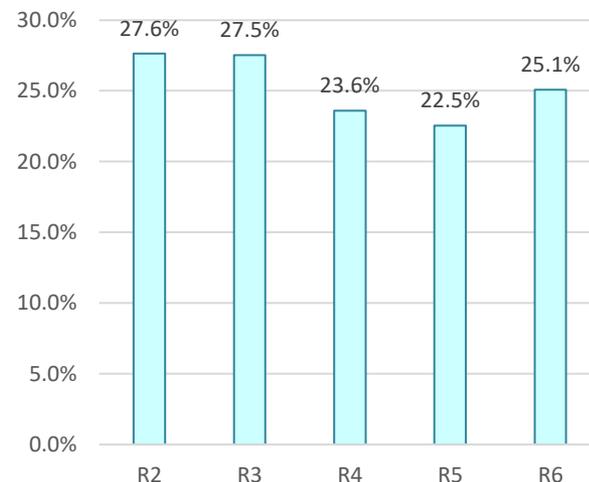
利用者数



乗合率



収支率



かつまた号・まきのはら号(R6概要)

登録率

※該当地区に在住で75歳以上の者のうち登録している割合

23.1% (212人/918人)

実利用者数

55人 (登録者の25.9%利用)

1便あたり運行単価

3,270円

予約が多い時間帯

- ①11:00 (147人)
- ②10:15 (130人)
- ③12:00 (110人)
- ④9:30 (107人)
- ⑤14:15 (63人)

※行き帰りの便の別がないため上位5位を記載

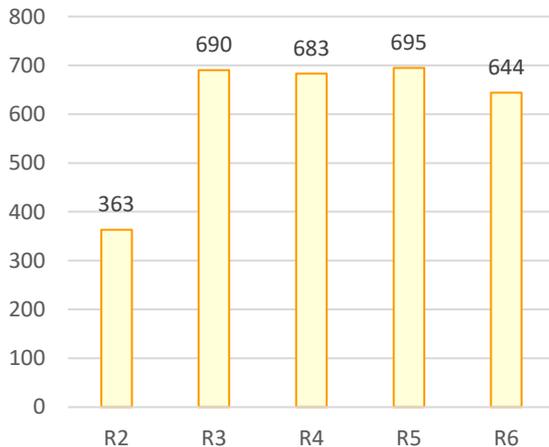
行き先上位

- ①榛原総合病院 (73回)
- ②石井内科皮膚科医院 (66回)
- ③柴田歯科医院 (63回)

予約が多い曜日

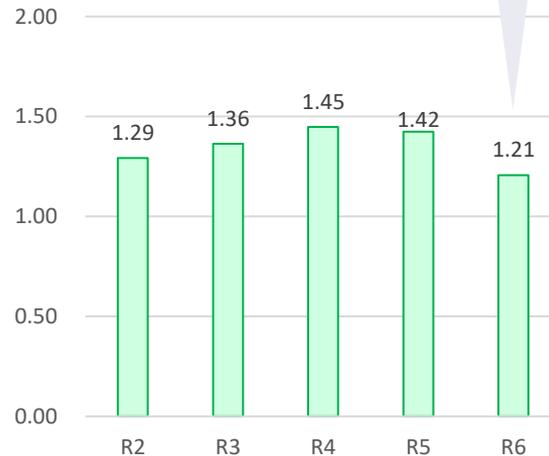
- ①金曜日 (264人)
- ②水曜日 (210人)
- ③月・木 (各84人)

利用者数

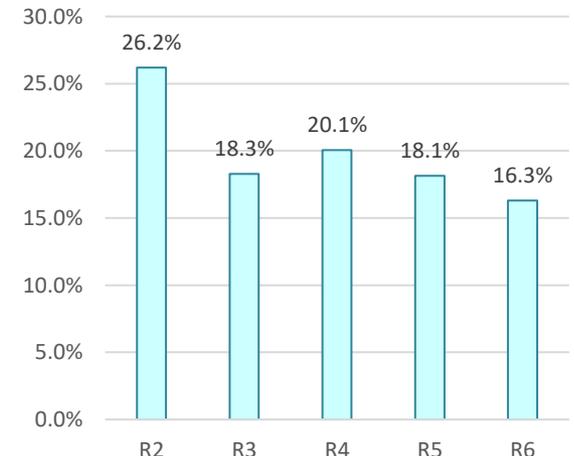


乗合率

タクシー会社への委託開始
※それ以前は市営



収支率



すげやま・はぎま号(R6概要)

登録率 ※該当地区に在住で75歳以上の者のうち登録している割合

20.1% (162人/805人)

実利用者数

49人 (利用者の30.2%が利用)

1便あたり運行単価

2,395円

予約が多い時間帯

行き ①9:15 (308人)
②10:15 (106人)
③8:15 (94人)

帰り ①11:00 (209人)
②12:00 (141人)
③13:00 (26人)

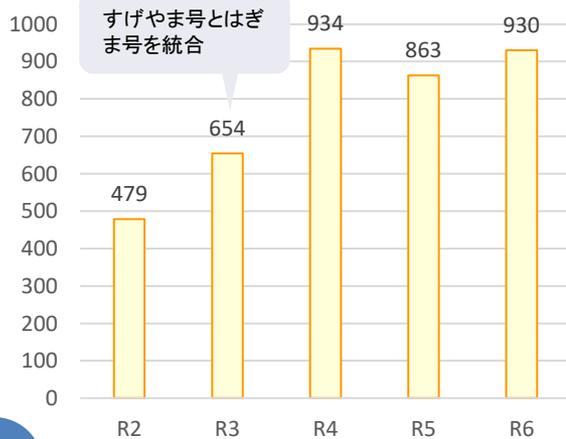
行き先上位

①堀口外科医院 (264回)
②マム相良店 (104回)
③渡辺内科医院 (91回)

予約が多い曜日

①金曜日 (404人)
②火曜日 (349人)
③水曜日 (177人) ※R6.4~追加

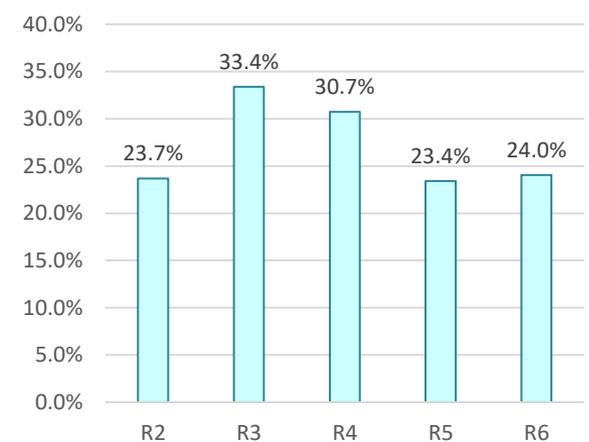
利用者数



乗合率



収支率



じとうがた号(R6概要)

登録率

※該当地区に在住で75歳以上の者のうち登録している割合

14.6% (122人/833人)

実利用者数

25人 (利用者の20.5%が利用)

1便あたり運行単価

2,839円

予約が多い時間帯

行き ①8:30 (284人)
②9:30 (276人)
③10:30 (109人)
帰り ①11:00 (245人)
②12:00 (190人)
③17:00 (56人)

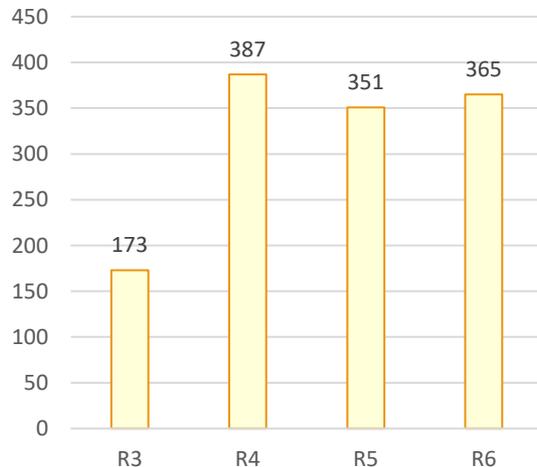
行き先上位

①地頭方原子力防災センタージーボ (340回)
②おまえざき痛みのクリニック (255回)
③榛原総合病院 (114回)

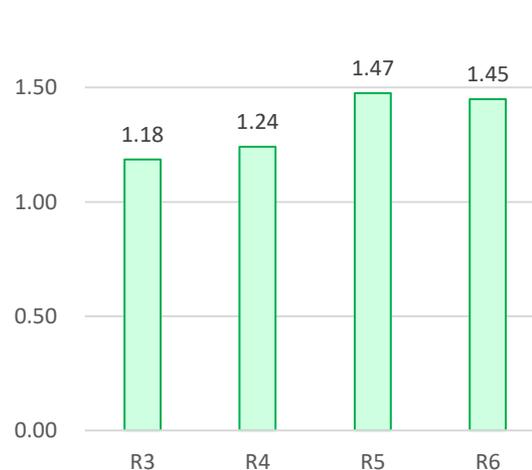
予約が多い曜日

①木曜日 (215人)
②月曜日 (150人)

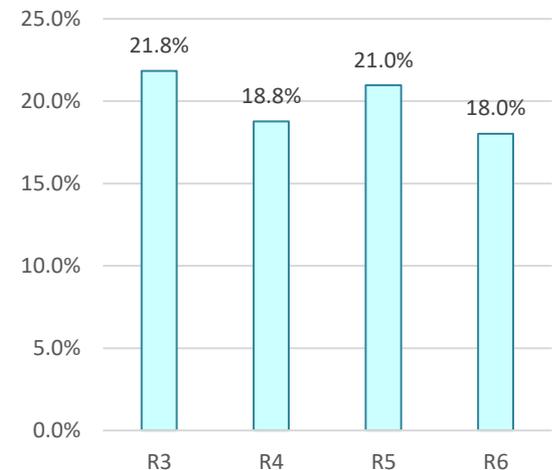
利用者数



乗合率



収支率



しずなみ・かわさき号、ほそえ号(R6概要)

登録率

※該当地区に在住で75歳以上の者のうち登録している割合

11.0% (286人/2,606人)

実利用者数

97人 (登録者の33.9%が利用)

1便あたり運行単価

1,675円

予約が多い時間帯

- ①9:30 (342人)
- ②10:30 (323人)
- ③11:30 (243人)
- ④8:30 (140人)
- ⑤14:30 (137人)

※行き帰りの便の別がないため上位5位を記載

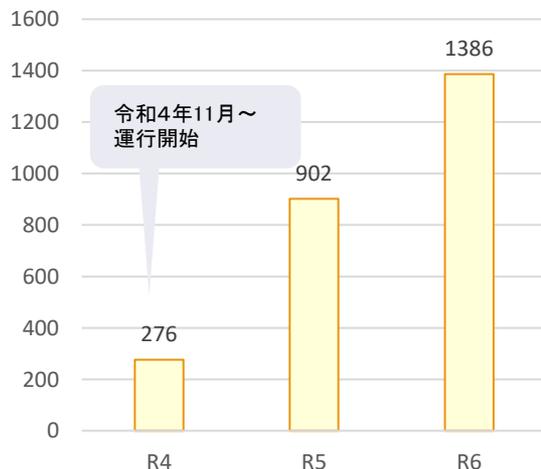
行き先上位

- ①榛原総合病院 (348回)
- ②石井内科皮膚科医院 (185回)
- ③カネハチ榛原店 (173回)

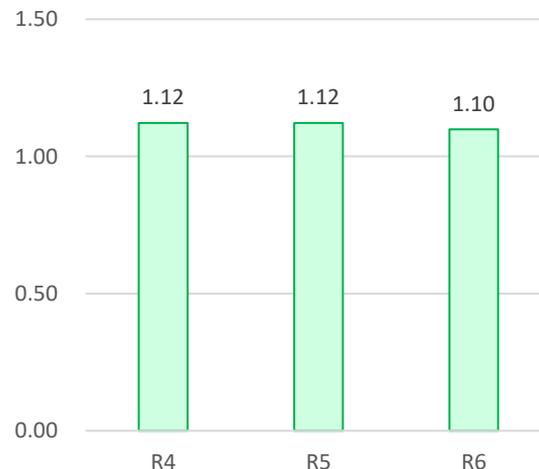
予約が多い曜日

- ①金曜日 (594人)
- ②火曜日 (465人)
- ③月曜日 (327人)

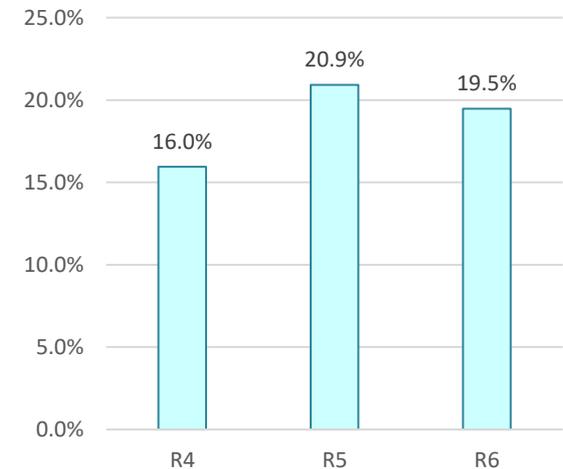
利用者数



乗合率



収支率



さがらひがし・にし号(R6概要)

登録率 ※該当地区に在住で75歳以上の者のうち登録している割合

9.9% (201人/2,022人)

実利用者数

71人 (登録者の35.3%が利用)

1便あたり運行単価

1,943円

予約が多い時間帯

- ①9:30 (193人)
- ②10:30 (187人)
- ③8:30 (100人)
- ④11:30 (95人)
- ⑤13:00 (61人)

※行き帰りの便の別がないため上位5位を記載

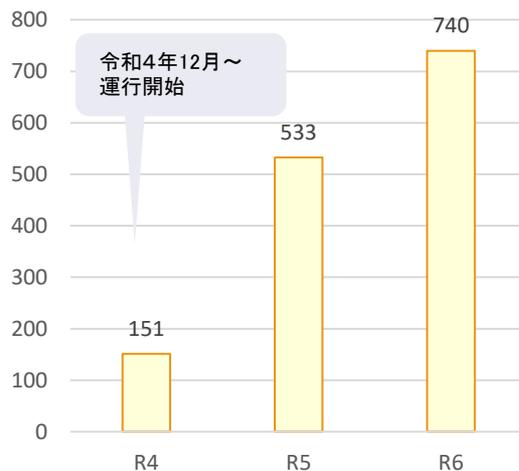
行き先上位

- ①榛原総合病院 (124回)
- ②マム相良店 (117回)
- ③堀口外科医院 (108回)

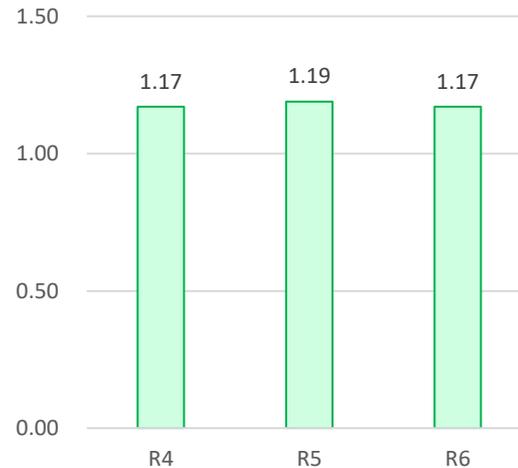
予約が多い曜日

- ①火曜日 (293人)
- ②金曜日 (263人)
- ③月曜日 (179人)

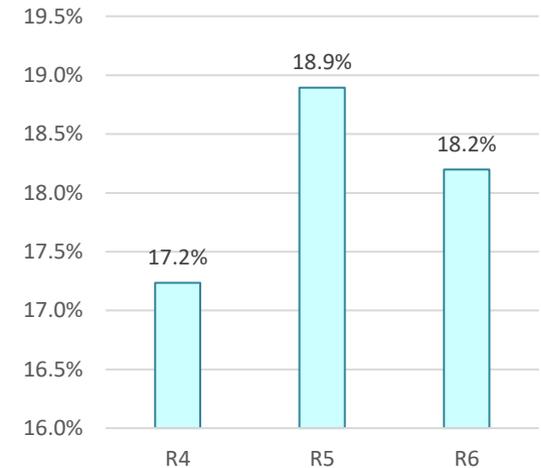
利用者数



乗合率



収支率



タクシーの運賃改定について

静岡県タクシー協会から国土交通省中部運輸局に提出された「静岡地区及び伊豆地区タクシーの運賃改定」について、令和7年10月20日付け承認された。

《新運賃の実施日》令和7年11月25日（火）～

変更内容

項目	改訂後	改訂前
距離制運賃 (初乗)	最初の1.17kmまで 700円	最初の1.2kmまで 660円
距離制運賃 (加算)	285mまでごとに 100円	279mまでごとに 90円
時間距離 併用運賃	時速10km以下の運 行時間について1分 45秒までごとに 100円	時速10km以下の運 行時間について1分 45秒までごとに 90円
迎車回送 料金	1人ごとに 200円	1人ごとに 140円

R7・R8比較

	R8実績 予定額	R7実績 予定額	差額
榛原地域	5,023千円	4,448千円	575千円増
相良地域	4,438千円	3,972千円	466千円増
全体	9,461千円	8,420千円	1,041千円増

1便当たり運行経費

	R8	R7	差額
街中	1,883円	1,719円	164円増
郊外	2,961円	2,685円	276円増

※街中：しずなみ・かわさき、ほそえ号及びさがらひがし・にし号の平均値
郊外：上記以外の号の平均値

10回無料券の現状について

現在10回乗車したら1回無料で乗ることができる「無料券」を配布しているが、タクシーの運賃改定に伴い市の支出増が見込まれることから、乗車回数を10回から20回に増やすことを検討したい。

無料券について

デマンド乗合タクシーの運行を開始するにあたり、会員登録及び登録後のデマンド利用促進を目的に導入
(令和6年度実績)

号名	R6無料券使用枚数／ 無料券発行人数	金額 ※無料になった運賃の合計
さかべ号	5枚／12人	2,500円
かつまた・まきのはら号	44枚／21人	22,100円
すげやま・はぎま号	50枚／22人	22,200円
じとうがた号	21枚／9人	9,500円
しずなみ・かわさき、ほそえ号	82枚／36人	28,150円
さがらひがし・にし号	47枚／24人	27,250円
合計	249枚／124人	111,700円

※R6年度における最高利用枚数：11枚／人

※制度開始から現在までの最高利用枚数：72枚／人

現在では、制度の周知や利用者の定着も進んだことから、登録・利用促進というよりも利用者特典という形で継続していくのはどうか。

デマンド乗合タクシー今後の方向性

- ・ 利用者の利便性向上を目指し、現在平日2日～3日（曜日指定）で運行している各便について、利用可能な時間帯の増加や土日祝の運行を検討する。
- ・ 令和7年度から施設間移動を開始したが、移動可能範囲が旧町単位（旧榛原町・旧相良町）となっている。
市内の移動がしやすいよう、移動制限の緩和について検討する。
- ・ 当該制度への利用者の定着がみられること、また、タクシーの運賃改定による市の負担増が見込まれることから、無料券を提供するデマンド利用回数を10回から20回に増やすことを検討する。

議 事

(2) 令和8年度の取組に関する事項

- ① 令和7年度の取組及び令和8年度の計画
(資料6)
- ② 牧之原市地域公共交通計画の策定及び
富士山型交通ネットワークシミュレーション
調査(資料7)
- ③ (仮称)高台バスターミナル環境整備事業
(資料8)
- ④ デマンド乗合タクシーの令和8年度以降の
運行計画(資料9)

方針	事業	R7に実施した主な取組とR8に計画する主な取組	
<p>基本方針1： 富士山型ネットワーク構造の形成に資する地域公共交通ネットワークの構築</p>	1：沿岸部の路線の維持・再編（幹線軸（裾野部））	・特急静岡相良線の改善協議	<p>R8 牧之原市地域公共交通計画の策定及び富士山型交通ネットワークシミュレーション調査（資料7）</p>
	2：市街地と高台エリアを結ぶ路線の再編（幹線軸（斜面部））	・自主運行バス菟間線、勝間田線の（仮称）高台バスターミナル接続方法の協議	
	3：富士山型山頂部からの路線の創出（広域交流拠点連携軸（山頂部））	・R7：矢崎アローライン（菊川駅行き無料バス）の運行開始（資料12）	
<p>基本方針2： 地域公共交通の利便向上、利用促進策の推進</p>	4：高齢者等の移動手手段の提供	<p>・R7：デマンド乗合タクシー目的地間移動導入など ・R8：土日祝の実証運行（資料9）</p>	
	5：拠点バス停の環境整備の推進	<p>・R7：根松下りバス停の自転車駐輪ラック増設 相良地域拠点バス停の環境整備（資料6-1） ・R8：（仮称）高台バスターミナル設計（資料8）</p>	
	6：誰もが利用しやすいサービスの提供	<p>・R7：御前崎タクシーのUDタクシー導入（東海タクシーは導入済み）</p>	
	7：モビリティマネジメントの推進	<p>・産業フェア出展（低床バス展示） ・ハッピーライド in 静岡の実施 }（資料6-2）</p>	
<p>基本方針3： 持続可能な運行を支える他分野との連携した取組と体制強化</p>	8：観光施策と連携した取組の推進	<p>・R7：田沼意次候ラッピングバス運行 空港・道の駅定額タクシーの運行開始（資料11）</p>	
	9：移住定住、子育て支援につながる取組の推進	<p>・R6～：高校生を対象としたバス定期券購入補助制度 ・R7：成人式での路線バスPRチラシ配布（予定）</p>	
	10：自動運転技術などのDX化やICTを活用した取組の推進	<p>・R7：試乗（富士市） ・R8：自動運転車両の調査研究（資料7の調査による候補地選定）</p>	
	11：市民意見を尊重する協議体制と関係者の連携強化	<p>・関係者との協議（交通事業者、企業、福祉担当課、社協など） ・R8：公共ライドシェアに関する調査・研究</p>	

案

バス利用者 駐輪場・駐車場 MAP (相良地域)

【路線】 ・特急静岡相良線 ・藤枝相良線	【路線】 萩間線	【路線】 ・相良御前崎線 ・相良浜岡線
バス停 (上り)	バス停 (下り)	駐輪場 または 駐車場
ガソリンスタンド	コンビニ	小・中・高等 学校

P1 << らしく駐輪場 >>

【場所】
らしく(就労継続支援 B 型事業所)
住所: 菅ヶ谷 219-1
【最寄りバス停まで】
徒歩 1~3 分
【注意】
通所者・従業員駐輪場横のバリケード内に停めてください。



P2 << 大沢公園駐輪場 >>

【場所】
大沢公園内
住所: 大沢一丁目
【最寄りバス停まで】
徒歩 3~4 分
【注意】
バリケード内に停めてください。



P3 << 大原団地駐車場 >>

【場所】
大原公民館西(大原会館前広場)
波津 83 付近
【最寄りバス停まで】
徒歩 5~6 分



▲ 駐車場

美容院 (VOUGE) 横の道路から駐車場に進入してください。

駐車場北側にある小さな橋から徒歩で道路へ抜けることができます。

駐車場までのルート▶



P4 << 中央駐輪場 >>

【場所】
相良本通商店街中央
駐車場
住所: 波津 730-1
【最寄りバス停まで】
徒歩 2~3 分




萩間川

国道 150 号

モビリティマネジメントの推進について

地域公共交通計画基本方針 2 「地域公共交通の利便向上、利用促進策の推進」のうち「7 モビリティマネジメントの推進」として、以下の事業を実施した。

1 産業フェアにおける低床バスの展示

低床バスの展示とともに、バス運転士の制服を着用した子ども向けドライバー体験の提供、バスに関するクイズの掲載など、子どもがバスを知る機会を設けた。

また、「小学生バス無料デー」及び「空港こどもプチツアー」の宣伝を行い、当該イベントへの積極的な参加を呼び掛けた。

(1) 日時：令和7年11月16日（日） 午前9時～午後3時

(2) 場所：相良庁舎駐車場付近



2 小学生バス無料デーに伴うタイアップイベントの実施

12月13日(土)14日(日)に静岡県が主催で実施する「小学生バス無料デー」に伴い、当市では自主運行バスに乗車して茶の都ミュージアム及び富士山静岡空港を巡るバスツアーを企画した。

- (1) 日 時：令和7年12月13日(土) 午前8時～午後2時
- (2) 場 所：茶の都ミュージアム、富士山静岡空港
- (3) 参加者：11組26人(募集：10組20人) ※キャンセル2組4人
- (4) 内 容：
 - ・自主運行バス萩間線または勝間田線を利用し、ふじのくに茶の都ミュージアムを訪問
 - ・富士山静岡空港にて空港の仕事や施設機能について学び、制限区域内から飛行機のお出迎え体験



(5) 参加者感想

- ・自分が運転しないので子供達とのんびり窓からの景色を楽しめたり話ができ嬉しかった。飛行機についても知識を深めることができ良かった。
- ・日頃バスに乗車する機会がないので貴重な機会になりました！市内でも知らなかった道を通ったりしていたので楽しかったです。また、子どもが興味あるイベントとの連携は乗車する気持ちを大変高めてくれました。
- ・静岡空港で普段は入ることのできないところに入って飛行機を見ることができとても良かったです。子供はバスに乗るのが好きなのでもっと乗る機会を作りたいと思います。

牧之原市地域公共交通計画の策定及び 富士山型交通ネットワークシミュレーション調査

（企画政策部 地域振興課）

< 1 目的 >

令和 4 年度に策定した「牧之原市地域公共交通計画（R5～R8）」が計画満了を迎えるため、次期計画（R9～R12）の策定作業を令和 8 年度に実施する。

次期計画では、令和 10 年春の高台エリアまちびらきを控え、高台エリアに整備するバスターミナルと市内及び JR 駅を結ぶ富士山型交通ネットワークを具体化していく。

計画の策定にあたり、高台エリアへの通勤や買物に対する人流分析や新規路線の検討、移動需要に対応するバスの便数などのシミュレーション調査を行う。

< 2 工程（案） >

時期	会議	内容
4 月	プロポ準備	発注内容、評価方法確定
5 月	プロポ実施、事業者決定	プロポーザル実施、事業者決定、契約
6 月	第 1 回公共交通会議	R 8 事業計画、計画スケジュール説明
8 月	第 2 回公共交通会議	計画に係るアンケート調査、計画課題協議
10 月	第 1 回評価改善部会	R 7 実績評価、計画素案協議
12 月	第 3 回公共交通会議	次年度運行承認、計画素案協議
2 月	第 4 回公共交通会議	計画最終協議、パブコメ実施

< 3 シミュレーション調査 >

富士山型交通ネットワークの具体化に向けて、計画策定に併せて以下の調査を実施する。

調査項目（案）	調査概要
① 高台エリアの人流分析	商業施設等への人流や移動方法の分析（西部、中部、空港、市内など、地域ごとの移動分析）
② 西部方面との接続シミュレーション調査	西部方面からの接続手段として、菊川駅への定時定路線のシミュレーションを実施。必要性や車両規模、便数を算出。
③ 萩間線のシミュレーション調査	自主運行バス萩間線の必要便数や系統分け（相良～金谷駅を高台～金谷駅に分割など）の必要性を調査・算出。
④ 勝間田線高台系統のシミュレーション調査	自主運行バス勝間田線の榛原市街地と高台を接続する新規系統の必要性や車両規模、便数を算出。
⑤ 自動運転及びライドシェア導入エリア可能性調査	将来の導入に向けた候補地などの選定調査。
⑥ AI オンデマンド導入シミュレーション調査	デマンド改善を目的としたシミュレーション調査。

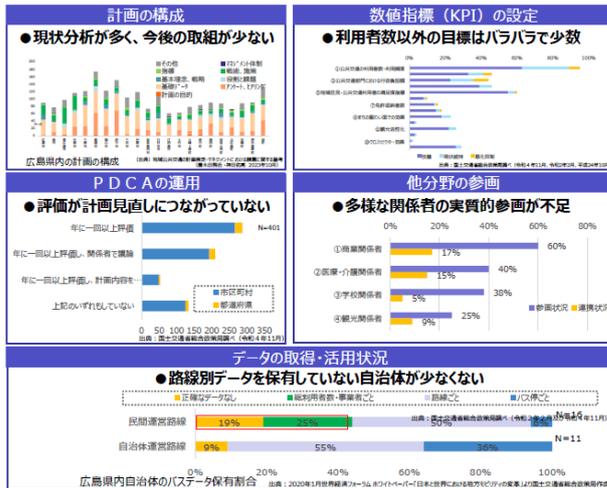
< 4 地域公共交通計画・法定協議会のアップデート化（モビリティデータ活用） >

地域公共交通計画等のアップデートに向けて

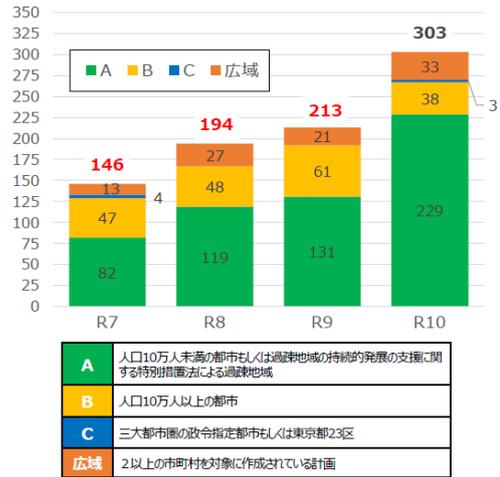


各地の厳しい現状に対応し、「交通空白」の解消に向けた取組を推進するため、地域公共交通計画には、モビリティデータを活用した、無理なく、難しくなく、実のある計画へのアップデートが求められる。 地域公共交通計画作成件数：1,125（令和7年2月末時点）

地域公共交通計画の現状

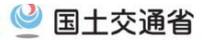


地域公共交通計画の改訂時期



モビリティデータを活用した「地域交通の現状や課題、将来の見通しを可視化する現状診断」、「施策の進捗・効果を確認することができるKPIの設定」等の手法を、「アップデートガイドンスVer1.0」で紹介します

「交通空白」解消の支援ツール：「アップデートガイドンスVer1.0」の概要



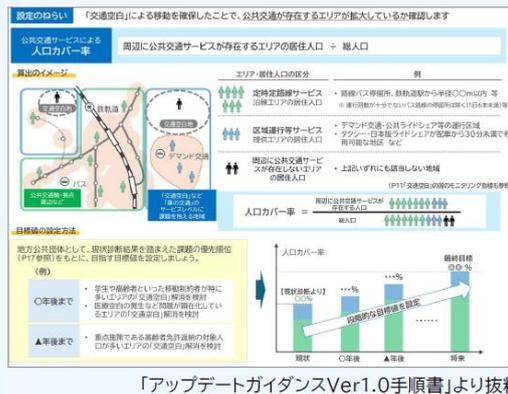
地域公共交通計画や法定協議会のアップデートに向けて、計画の作成や改訂に取り組む方々が、計画の意義や進め方を理解し、実践できるよう支援することを目的に、地域公共交通計画の「アップデートガイドンスVer1.0」を提供します。



地域交通の課題や将来の見通しを可視化し、施策の解像度を高めるためのモビリティデータを活用した現状診断の手法を解説



国が推奨するKPI指標について、算出方法や具体的なイメージ、目標値の設定方法を解説



(仮称) 高台バスターミナル環境整備事業

(企画政策部 地域振興課)

< 1 目的 >

牧之原市地域公共交通計画では、高台エリアの開業に合わせた路線再編を計画しており、富士山型斜面部の路線で、榛原、相良両市街地と高台エリアを結ぶ自主運行バス萩間線と勝間田線の高台エリアの接続を予定している。

また、高台エリアからは、西部方面や静岡空港への移動が可能な新規路線を運行し、高台エリアからあらゆる方面への移動を可能とする利便性の高い交通ネットワークを形成する予定である。

以上から、市内内陸部の玄関口であり、乗り換え拠点となる高台バス停の利便性を高める環境整備を計画する。

< 2 事業内容 > バス停位置



① **萩間線**：一部の便を黄色線に迂回し、商業施設横のバスターミナルに接続

② **勝間田線**：新たに高台への接続を開始
(スケジュール)

R8：方針決定、詳細設計

R9～R10：建設整備

R10～R11：運用開始

<整備内容> 設置は令和9年度～10年度

雨除け通路、待合所、ベンチ



ガードレール（保護柵）



バスロケーションシステム（施設内）



バスロケーションシステム（外）



デマンド乗合タクシーの令和8年度以降の運行計画について

企画政策部地域振興課

I 特定曜日の予約集中の解消

(課題)

タクシー事業者から、金曜日の午前に予約が集中して配車に苦勞している、との相談を受けている。

利用者数の増加により、利用者側の待ち時間も増えていることから、事業者の負担軽減と利用者の利便向上を図るために、予約集中時間帯の緩和策を検討する。

(実績)

号	第1位	第2位	第3位
さかべ号	金曜日 (67.1%)	火曜日 (17.9%)	木曜日 (15.0%)
かつまた・まきのはら号	金曜日 (41.0%)	水曜日 (32.6%)	月曜日、木曜日 (各13.0%)
しずなみ・かわさき、ほそえ号	金曜日 (42.9%)	火曜日 (33.5%)	月曜日 (23.6%)
じとうがた号	木曜日 (58.9%)	月曜日 (41.1%)	—
すげやま・はぎま号	金曜日 (43.4%)	火曜日 (37.5%)	水曜日 (19.0%)
さがらひがし・にし号	火曜日 (39.6%)	金曜日 (35.5%)	月曜日 (24.2%)

(方針)

- ・需要の多い金曜日を減らすことは難しいため、曜日を増やし分散させたい。
- ・8年度内に土日祝運行の実証運行を実施し、分散化に効果があるか確認する。(土曜日午前に診察のある病院も多い)

(実施方法)

- ・国の交通空白解消緊急対策事業補助金を活用し、年度内の実証運行を計画
- ・国の補助金の決定を待ち、9月頃から2月までの土日祝運行を実施
- ・現在のデマンドと同じ方法を想定

2 号を超えた乗合による配車の効率化

(課題)

同じ曜日の同じ時刻に運行していても、号が違うため乗合ができない、という事例が発生している。

(方針)

- ・将来的には「榛原、相良でそれぞれ1つの号で毎日運行」が理想であるため、タクシー事業者と調整して、号の統合が可能か協議していく。(現時点では、少し時間がかかる)

3 旧町単位の移動制限の是正

(課題)

現在のデマンドは、榛原地域の利用者は榛原地域の病院、スーパー、公共施設、金融機関が原則利用可能であり、相良地域は相良となっており、一部を除き、旧町単位の移動を原則としている。

これは、タクシー事業者の効率的な配車による負担軽減を目的としているが、利用者からは、旧町を超えた移動を希望する意見や、施設間移動においても、相良地域利用者が、榛原総合病院利用の後に榛原のスーパーに寄りたい、といった意見がある。

(方針)

- ・将来的には「旧町を超えた自由な移動」が理想であるため、タクシー事業者と調整して、移動制限の是正が可能か協議していく。(現時点では、少し時間がかかる)

報 告

(1) 牧之原市地域公共交通計画について

令和6年度の評価について

牧之原市地域公共交通計画

「住み続けたい」「働き続けたい」「訪れたい」を支える

地域公共交通の構築

～「夢に乗るまち 牧之原」の推進～



※RIDE ON～：（乗り物に）乗る

令和7年10月

牧 之 原 市

牧之原市地域公共交通計画に基づく取組

方 針	事 業
基本方針 1： 富士山型ネットワーク構造の形成に資する地域公共交通ネットワークの構築	1：沿岸部の路線の維持・再編（幹線軸（裾野部））
	2：市街地と高台エリアを結ぶ路線の再編（幹線軸（斜面部））
	3：富士山型山頂部からの路線の創出（広域交流拠点連携軸（山頂部））
基本方針 2： 地域公共交通の利便向上、利用促進策の推進	4：高齢者等の移動手段の提供
	5：拠点バス停の環境整備の推進
	6：誰もが利用しやすいサービスの提供
	7：モビリティマネジメントの推進
基本方針 3： 持続可能な運行を支える他分野との連携した取組と体制強化	8：観光施策と連携した取組の推進
	9：移住定住、子育て支援につながる取組の推進
	10：自動運転技術などのDX化やICTを活用した取組の推進
	11：市民意見を尊重する協議体制と関係者の連携強化

事業1：沿岸部の路線の維持・再編（幹線軸（裾野部））

【具体的な施策】

（特急静岡相良線）

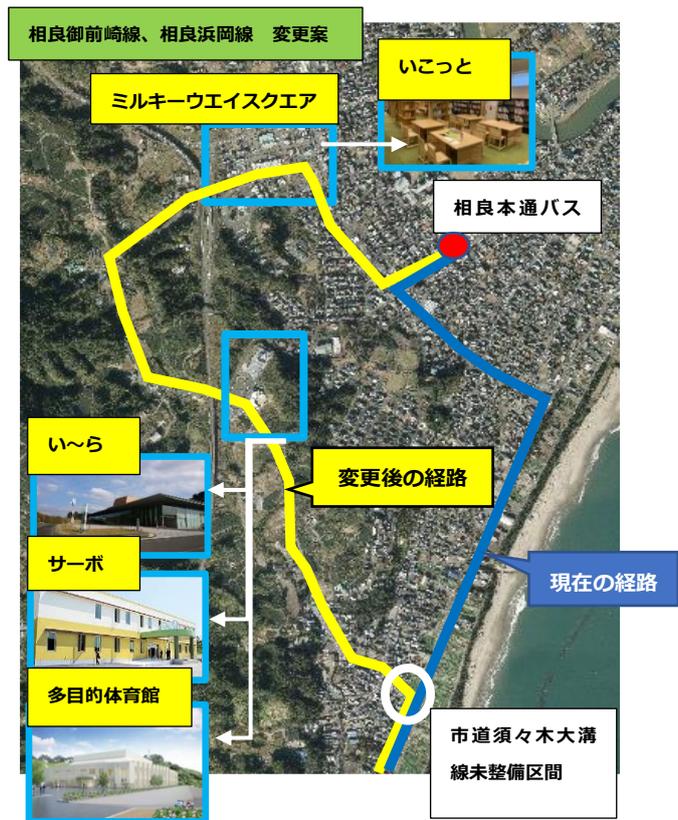
- ・ 榛原総合病院への通勤者や通院者の利便向上を目的に、病院への乗り入れ便数の増便を検討し、榛原総合病院の拠点バス停としての強化を図ります。

（藤枝相良線、島田静波線）

- ・ バス事業者や関係市町との連携による利用促進策を実施し、両路線の維持を図ります。加えて、通勤、通学の需要に対応可能な時刻設定を協議します。

（相良御前崎線、相良浜岡線）

- ・ 特急静岡相良線や藤枝相良線とのスムーズな接続や、高校生の通学利便の向上を中心とした地頭方地区の負担軽減につながる改善策を検討します。



☆相良総合センター「い〜ら」、相良原子力防災センター「サーボ」、建設中の多目的体育館、ミルキーウェイスクエアの図書交流館「いっこつ」や同地へ移転する相良児童館など、近年整備が進む相良地域の公共施設へ接続するよう経路変更を検討し、新たな役割を担う路線に位置付けます。（※市道須々木大溝線の国道150号線までの区間開通後（令和9年完成予定）を予定し、波津区に交通空白地域が生じないように、一方の路線のみの変更を検討）

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、関係市町

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

	R5	R6	R7	R8
特急静岡相良線、 藤枝相良線、島田静波線	維持	維持	維持	維持
☆相良御前崎線 ☆相良浜岡線	維持	維持	維持	経路変更準備 (R9以降変更)

事業Ⅰ R6～R7の取組状況

(特急静岡相良線)

榛原総合病院への乗り入れ便を増やした場合、距離や運行時間が伸びるといった課題があるため、継続協議中。

(藤枝相良線、島田静波線)

- ・榛原高校との通学手段に係る意見交換に参加 (R6.11.26)

藤枝相良線の相良方面行の通学時間帯の時刻改正の要望があるが、改善には至っていない。

(相良御前崎線、相良浜岡線)

- ① 高校生の通学利便の向上を中心とした地頭方地区の負担軽減

- ・相良御前崎線の最終便 19:32 発を 19:50 発に変更することで、特急静岡相良線で帰宅する高校生の部活動終了後の移動が改善した。

【19:50 発6年度平均】1.06 人/便 255 人/年

- ② 便数見直し (R6～)

- ・両路線の便数を見直し、利用状況に応じた適正な便数に変更した。
- ・減便による影響は特になく、利用者数は両路線で約800人増加した。

【相良御前崎線】		運行便数
変更前	平日	19
変更後	平日	16
変更前	土日祝	14
変更後	土日祝	10

【相良浜岡線】		運行便数
変更前	平日	24
変更後	平日	18
変更前	土日祝	13
変更後	土日祝	10

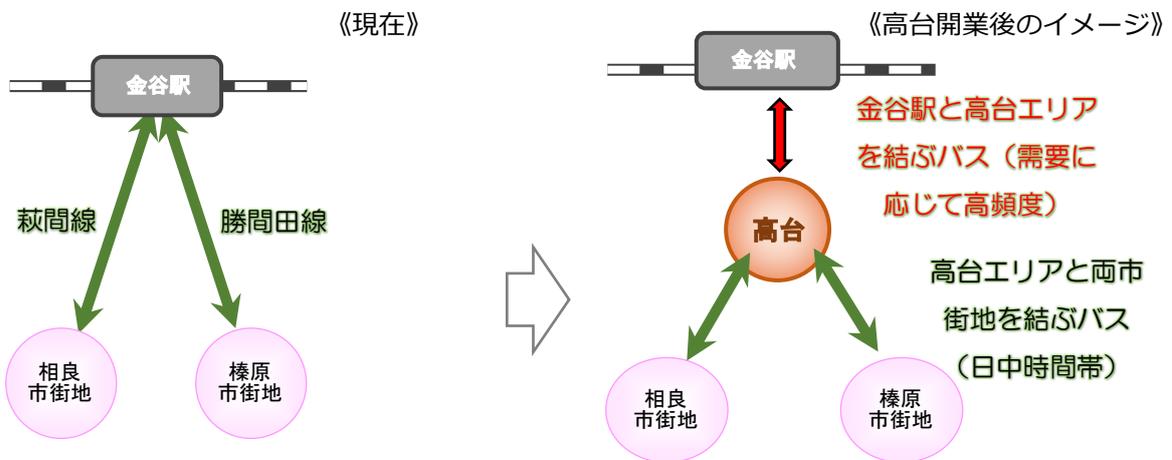
【補足】

御前崎市では、AI オンデマンド交通の実証運行を令和7年10月から開始する。これにより、両路線の利用者数や収支に影響が出る可能性がある。

吉田町のAI オンデマンド交通は、榛原総合病院へ乗り入れており、牧之原市民も利用が可能であることから、御前崎市が行う交通についても、例えば相良本通バス停への乗り入れができないか協議したい。

乗り入れ可能であれば、両路線を見直すことが可能となる。

事業2 市街地と高台エリアを結ぶ路線の再編（幹線軸（斜面部））



【具体的な施策】

☆利用者の多い萩間線を基幹路線として維持しつつ、市街地から高台エリアを経由し、近隣のJR駅へ運行することで路線の効率性を高めます。

☆萩間線、勝間田線の起点となる相良、榛原両市街地から高台エリアまでの運行経路については、小学生の登下校利用に加え、高齢者の移動、高台エリアからの来訪者利用を想定し、巡回型を含め、実態に応じた運行経路を検討します。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、関係市町

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
維持	維持	経路変更準備	高台エリア開業に合わせて変更

事業2 R6～R7の取組状況

継続協議中

高台のまちびらきは令和9年度末を予定しているため、10年度から路線変更を計画する。

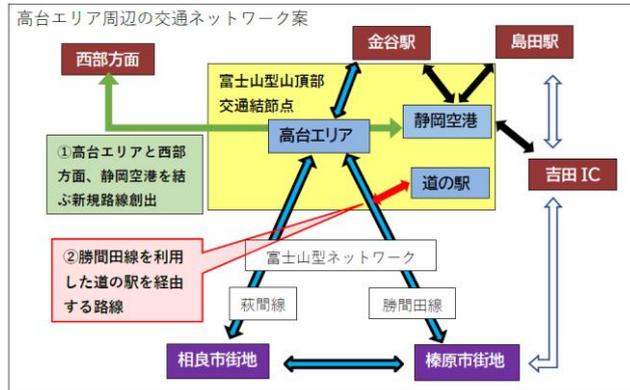
◆現在の方針（案）

- ① 萩間線：経路変更により高台バス停への接続を予定
- ② 勝間田線：バスを利用中の勝小児童（現在8人）の通学手段確保と高台への接続について、関係者と協議していく。

事業3 富士山型山頂部からの路線の創出（広域交流拠点連携軸（山頂部））

【具体的な施策】

- ① 高台エリアと西部方面を結ぶ路線や静岡空港を結ぶ路線の創出を検討し、商業施設への通勤や買い物需要と静岡空港の利用者を取り込むと同時に、市民の移手段となるような路線を検討します。
- ② 事業2の高台エリアと両市街地を結ぶバスの経路として、既存の勝間田線を延伸して「道の駅(仮)さかべ」を経由する路線を検討します。



事業の実施主体
牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、関係市町
事業の実施年度

	R5	R6	R7	R8
①	協議・調整	協議・調整	経路変更準備	高台エリア開業に合わせて運行
②	協議・調整	協議・調整	経路変更準備	高台エリア開業に合わせて変更

事業3 R6～R7の取組状況

継続協議中

◆現在の方針（案）

- ① 高台エリアと西部方面、静岡空港を結ぶ新規路線創出
 - 西部方面：菊川駅行き矢崎アローラインがR7.4から運行開始
菊川市コミュニティバスの乗り入れを計画中
その他、定時定路線の運行の必要性を検討していく
 - 静岡空港：静岡空港・道の駅定額タクシー運行開始（R7.10～）（資料3参照）
県の空港アクセスバスの道の駅停車を要望
- ② 道の駅を経由する路線
 - ・勝間田線を経路変更した接続を検討
 - ・県の空港アクセスバスの停車を要望

事業4 高齢者等の移動手手段の提供

【具体的な施策】

☆デマンド乗合タクシーの利用促進の継続や大御所パスの周知を図ります。

・運転免許証自主返納支援事業を促進し、バスやタクシーを活用して高齢者の事故を防止します。

事業の実施主体

牧之原市、タクシー事業者、福祉関係組織

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
継続実施	継続実施※全域での本格運行開始	継続実施	継続実施

事業4 R6～R7の取組状況

R6 号の統合による運行日の増

号 R7.4～	運行状況	運行会社	運行便数	特殊事情
さかべ号	本格運行	東海タクシー	週2 8便/日	吉田町の病院への運行、サロン臨時運行
かつまた号・まきのはら号	本格運行		週3 8便/日	
しずなみ・かわさき号、ほそえ号	本格運行		週3 8便/日	
すげやま・はぎま号	本格運行	御前崎タクシー	週3 8便/日	御前崎市の病院、スーパーへの運行
じとうがた号	本格運行		週2 8便/日	
さがらひがし号、さがらにし号	本格運行		週3 8便/日	

R7 利便向上策を実施（資料4参照）

- ① 運賃改定による、料金形態のわかりにくさの解消
- ② デマンド乗合タクシーの予約時間の変更
- ③ 特定施設の追加・廃止
- ④ 特定施設間移動の検討について

◆課題・今後の予定（資料5参照）

	相談者	要望・課題	詳細
①	事業者	特定曜日の予約集中の解消	金曜日の午前に予約が集中して配車に苦勞する旨の意見あり
②	事業者	号を超えた乗合による配車の効率化	号の分けが無ければ効率的な配車が可能との意見あり
③	利用者	旧町単位の移動制限の是正	相良地域住民は相良の病院、スーパーのみ、榛原も同様であるため意見あり

事業5 拠点バス停の環境整備の推進

【具体的な施策】

☆特急静岡相良線が停車する拠点バス停や、バス路線再編に伴い整備する結節バス停、今後整備予定の高台エリアのバス停について、屋根付き待合所やベンチの設置、バスロケーションシステム等を整備し、快適な待合環境の整備を推進します。

- ・拠点バス停や結節バス停の周辺に、サイクルアンドライド駐輪場の設置を検討し、結節点の機能強化を図ります。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、関係市町

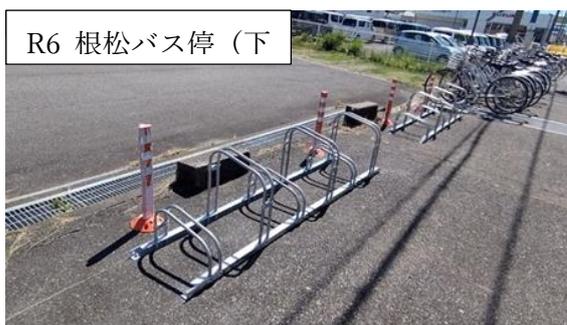
事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
推進・協議	推進・協議	推進・協議	高台エリアバス停整備

事業5 R6～R7 の取組状況

整備状況	バス停	整備内容
R3	相良本通バス停（上り）	屋根付き待合所整備
R4	相良本通バス停近く	相良中央駐車場内の駐輪場整備
R5	（自主）相良本通バス停（下り）	待合ベンチ整備
R6	根松バス停（下り）	サイクルラック整備（R7にも増設）
R7	相良本通バス停（自主）	照明灯の設置
	相良地域	パークアンドライド駐車場の検討



※相良営業所（上下）のバス
 停車帯整備及び高台バス停は
 R8 整備予定

事業6 誰もが利用しやすいサービスの提供

【具体的な施策】

- ☆進学を控えた市内の中学生や高校生向けに、バスを使った学生生活のリーフレットや、近隣の高校・大学等へのアクセスマップ、企業や地域別にカスタマイズした情報を掲載したチラシ等を作成・配布し、効果的な情報提供を図ります。
- ☆利用者の実態に合わせた時刻設定の見直し、乗り換えに係る待ち時間短縮を図るなど、使いやすい時刻への見直しを定期的に行います。
- ・国の「地域公共交通確保維持事業」による低床バスやUD タクシーの導入促進や、環境負荷の少ない車両の導入に対する調査、研究を実施し、時代に対応した車両の普及を交通事業者とともに検討します。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、関係市町、市内中学校・高校

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
情報発信実施	継続実施	継続実施	継続実施

※時刻設定の見直し等は随時行う

事業6 R6～R7の取組状況

以下の取組を準備中

- ・近隣の高校・大学等へのアクセスマップの作成、配布
- ・自主運行バスのJR 駅との接続状況の確認（改善要望あり）
- ・EV バス等の環境配慮車の調査研究

事業7:モビリティマネジメントの推進

【具体的な施策】

☆高齢者や児童、学生を対象としたバスの乗り方教室、タクシーの乗り方教室を企画し、利用者の掘り起こしを図ります。

☆しずてつジャストライン（株）が実施するバスフェスタの誘致や、産業フェア等の各種イベントにおいて、低床バスやUDタクシーを展示し、公共交通を身近に感じてもらう機会を提供します。

- ・過去に実施した「バス路線沿線の風景写真コンテスト」のように、公共交通への興味につながる取組を実施します。
- ・ゼロカーボンや温暖化対策と連携したモビリティマネジメントの実施を検討します。
 - (例)・ノーカーデー、エコ通勤の推進
 - ・COOL CHOICE（1日限定で静岡市内のバス、鉄道運賃が無料 R4 実施）



モビリティマネジメント：一人一人のモビリティ（移動）が、個人的にも社会的にも望ましい方向（すなわち、過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向）へ自発的に変化することを促す、コミュニケーション施策を中心とした交通政策

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
実施	継続実施	継続実施	継続実施

事業7 R6～R7の取組状況

取組一覧は資料2 P18 参照。

◆課題・今後の予定

- ① デマンド乗合タクシーの使い方教室：実施中
- ② 産業フェア出展 11月16日（日）相良庁舎前
 - ・しずてつジャストライン（株）協力による低床バス展示
 - ・環境フェアとの連携による公共交通利用促進(ゼロカーボン、温暖化対策)
- ③ 公共交通に親しむ機会の提供 12月13日（土）、14日（日）
 - ・ハッピーライド事業

【R6の主な取組】

広報7月号掲載

路線バスでの通学がさらに 定期券購入費を市が一部補助します

路線バスを日常的に利用する高校生などのバス利用促進を図ることで、路線バスの収支改善や乗客増加につなげるとを目的に、高校生などの通学定期券購入費用の一部を補助しました。

市内にある私立高校の前期高校や後期高校のバス通学者の補助上限額を算定することで、近年、減少傾向にある生徒の確保を通学手段の面で支援します。

詳細については、市ホームページをご覧ください。

補助対象	次に掲げる条件全てを満たしている者 (ア) 高等学校等に在学中で市内に住所を有する生徒の保護者など (イ) 前年度(前年度4月1日から翌年3月31日までの期間)を以て、かつ、年度を通じて購入金額が、生を一対し、5万円以上となる通学定期券を購入した保護者など (ウ) 日常生活の急がれが認められる理由を説明している保護者
対象路線	しずてつジャストラインが運行する路線バス 社会部同乗路線、豊橋和歌山、島田線、島田線、島田線、島田線、相良線
補助率 / 補助上限額	購入金額の25% / 右欄(イ) ●私立私立高等学校、私立後援高等学校：3万円 ●9%の高等学校など：1万5千円
申請方法	オンライン(市の二次元コード)または 紙申請(申請書)に捺印(捺印5箇所)にて交付されています。
必要書類	①高等学校等に在籍していることを証明する書類の写し(学生証など) ②使用する通学定期券の控え(捺印の写し) (※別添)

路線バスをより身近に感じてもらうために

公共交通の利用を促進し、楽しみを持ってもらうために、「ハッピーライド」の乗降プロジェクト(乗降乗車券の回収)を協賛(協賛者)として小学生対象の(スチール)乗降乗車券を、12月7日、12月8日の2日間で開催しています。

詳細は決定次第、市ホームページおよび市公式LINEでお知らせする予定です。

時刻表や路線図 [しずてつジャストラインホームページ] [市ホームページ] [市公式LINE] [公式Twitter]

乗降乗車券 各交通事業者では、市の公共交通をより身近に感じてもらうために、乗降乗車券の回収を協賛(協賛者)として小学生対象の(スチール)乗降乗車券を、12月7日、12月8日の2日間で開催しています。

路線バス しずてつジャストライン(株) 人事課 林生雄 電話 054-367-5153
[タクシー] ▶乗降乗車券 西0543 ▶乗降乗車券 西0543

2024.07 MAKINOHARA

市内を走る公共交通を守るために

問い合わせ 地域振興課 担当 森田 電話 054-367-0053

公共交通の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を機に大きく減少しました。徐々に利用客を取り戻しつつありますが、現在でも働き方などの社会生活の変化により、以前の状態に戻ることは難しい状況です。

また、昨今の燃料費の高騰をはじめとする運行経費の増加によって、市の負担は年々上昇していることに加え、全国的な問題である運転手不足が顕著に、現在の公共交通を維持することは困難となります。

市では、牧之原市の発展を支える地域公共交通の方針を示す「牧之原市地域公共交通計画」を策定し、市営の牧之原市移動センターや市営の移動センターの確保など、計画に基づき施策を実施しています。

今年度地域の皆さんが支える公共交通であることを認識していただき、公共交通施策の推進に対するご協力をお願いします。

「使ってみようかな」と思われる公共交通を目指して

路線バスをより身近に感じてもらうために、乗降乗車券の回収プロジェクト(乗降乗車券の回収)を協賛(協賛者)として小学生対象の(スチール)乗降乗車券を、12月7日、12月8日の2日間で開催しています。

市営の移動センターに導入しているワンマン乗降乗車券は、市内全域への導入を完了しています。

昨年度までの実績を踏まえて、より利用しやすいように乗降乗車券の回収プロジェクト(乗降乗車券の回収)を実施し、市内全域での乗降乗車券の回収を完了しています。

利用者の多い「ワンマン」バスでは、バス利用者のための乗降乗車券の回収プロジェクト(乗降乗車券の回収)を実施し、利便性を向上させています。

2024.07 MAKINOHARA



ハッピーライド in 静岡 (小学生バス無料デー) のタイアップイベント実施

ハッピーライドin静岡タイアップ企画

自主運行バスで行く 空港こどもプチツアー

参加者募集!

ハッピーライドin静岡実施日は小学生が無料でバスに乗ることが出来ます。この機会にバスを使って空港へ行ってみませんか?



デマンド乗合タクシーの乗り方教室

ツアー代金 **無料** (※乗降乗車券のバス運賃は別途となります)

日時 **12月8日(日)**

定員 **10組20名** (※小学生1組につき、保護者1名ご参加ください)

集合場所 **橋原：静波海岸入口バス停 相良：相良本通バス停** (※それぞれ自主運行バスを使って参加します)

ハッピーライドin静岡って? ハッピーライドin静岡とは、静岡県が実施する県内すべての小学生が12月7日、8日の2日間、路線バスに無料で乗車出来るイベントです。これにより、小学生を中心とした地域住民のバスの利用促進に繋げる取組です。

対象者 牧之原市内小学校に通う児童とその保護者でツアー後のアンケートにご協力いただける方

普段見れないものも見えるかも? お土産もあるよ!

学校で配られる右のリーフレットを見せるとバスに無料で乗れるよ! 必ず持ってきてね!

〒421-0495 牧之原市静波447-1 橋原庁舎5階 牧之原市企画政策部
地域振興課空港交通係 電話 0548-23-0053 F A X 0548-23-0059

事業8 観光施策と連携した取組の推進

【具体的な施策】

☆公共交通で移動が可能な観光モデルルートを設定し、公共交通による観光周遊行動を促します。

☆公共交通と観光イベントを連携させた取組を計画します。(例：バス＋ウォーキング、バス＋観光ツアー等)

- ・事業3で示した富士山静岡空港と高台エリアを結び、高台エリアから市街地への誘導を図るため、高台施設バス停に観光情報が得られるスペースを整備します。
- ・インバウンド需要を取り込むことを目的に、夏季の海水浴期間中などの観光シーズンに、富士山静岡空港と市街地を結ぶ直通バスの実証運行を検討します。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、(一社)まきのはら活性化センター

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
計画	実施	継続実施	継続実施

事業8 R6～R7の取組状況

① 観光イベントとの連携

◆大河ドラマ「べらぼう」田沼意次候顕彰事業

- ・・・特急静岡相良線のラッピングバスの運行



② 富士山静岡空港と市街地を結ぶ直通バスの運行

◆静岡空港・道の駅定額タクシー

- ・・・空港とのアクセスでは定額タクシーの運行を開始。

事業9 移住定住、子育て支援につながる取組の推進

【具体的な施策】

- ・成人式など若者が多く集まる機会や移住定住の相談の際に、公共交通のマップ等が手元に渡るような細やかな連携や、特急静岡相良線等の利便性をPRするチラシ作成に取り組み、移住定住を推進します。

☆高校生のスムーズな通学の確保を図り、保護者の送迎負担の軽減につながる施策を検討します。特に、市内の榛原高校、相良高校に対しては、学生確保、保護者の負担軽減を目的に、高校と定期的に意見交換を実施します。

- ・市内の中学や高校と連携し、高校や大学進学の際のバス路線を利用した通学手段に対し、担当課内に相談体制を整備し、バス路線による効率的な通学手段を提案します。
- ・自主運行バスを利用している遠距離通学児童の通学手段を引き続き確保します。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、小学校、中学校、高校

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
検討	実施	継続実施	継続実施

事業9 R6～R7の取組状況

① 高校生を対象とした路線バス通学定期券購入費補助制度を開始

【対象となる路線】

しずてつジャストライン(株)が運行する路線バス

特急静岡相良線、藤枝相良線、島田静波線、萩間線、勝間田線、相良御前崎線、相良浜岡線

【補助率、上限】

○補助率：購入金額の1/2（市内高校3万円、市外高校2万円）

※市外高校の補助額を1.5万円から2万円に増額

【R7の申請状況】第1期（7月～8月）

- ・申請者数：78件（82人）
- ・利用路線：特急静岡相良線56件、藤枝相良線16件、萩間線6件・・・
- ・高校：清流館高16人、藤枝東高11人、榛原高7人、焼津中央高6人・・・

※第2期受付は1月～2月

事業 10 自動運転技術などの DX 化や ICT を活用した取組の推進

【具体的な施策】

- ☆自動運転車両の市内での実証運行の可能性を調査し、将来的な導入を検討します。なお、導入候補地としては、拠点バス停や賑わい施設からバス路線が無い場所への移動を補完する「ラストマイル」の考えと、低速運行が可能な地域を基本に、実証運行から将来的な導入を検討します。
- ・交通事業者とともに MaaS の調査・研究を進めます。
 - ・タクシーの予約方法等の ICT 化など、交通分野のデジタル化の調査・研究を進めます。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、静岡県

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実証運行（3年間のいずれかで）			調査・研究

事業 10 R6～R7 の取組状況

① 自動運転

空港、道の駅、榛原市街地を結ぶ路線を計画したが、国庫補助不採択となったため、計画を見直し。

② ICT 化

- ・路線バス通学定期券購入費補助の申請から支給までをオンライン化

◆課題・今後の予定

（自動運転）

- ・8年度に市内での実証運行の機会を探る。
- ・静岡県では、県内6カ所（松崎町、袋井市、富士市、静岡市、浜松市、沼津市）の実証運行を今年度実施予定であるが、来年度以降に実施できないか検討する。

事業 11: 市民意見を尊重する協議体制と関係者の連携強化

【具体的な施策】

- ・各地区の地域協議会や利用者、関係者に対し、情報提供や意見交換会を定期的実施し、計画の推進に努めるとともに、公共交通の充実を図ります。
- ☆交通事業者の運転手不足に対し、周知・広報や、確保に向けた取組を共同で推進するとともに、NPO 法人による輸送等の新たな担い手事例の調査・研究を進めます。
- ・関係市町と連携し、自主運行バスや地域間幹線系統の利用促進を図るとともに、菊川市のコミュニティバスや県や藤枝市が運行する空港アクセスバスなど、市内を運行する他市や県の公共交通の上手な活用を周知します。

事業の実施主体

牧之原市、バス事業者、タクシー事業者、関係市町、地域や各種団体

事業の実施年度

具体的な施策の☆マークは重点的に取り組む事業とし、当該事業のスケジュールを示す

R5	R6	R7	R8
実施	実施	実施	実施

事業 11 R6～R7の取組状況

- ・関係者との意見交換を実施した。

◆課題・今後の予定

① ライドシェア

新たな担い手事例の調査・研究の一環として、ライドシェアの推進組織である

「(一社) 全国自治体ライドシェア連絡協議会」へ加入した。また、静岡県地域公共交通活性化協議会においてもライドシェア専門部会が立ち上がり、県内でも交通空白地域の解消手段として推進体制が確立された。

② 共助型移送

NPO や地域ボランティアによる運送の調査研究を行う。

高齢者サロン参加時の交通手段について、地域の公民館までの短距離移動であるが、交通手段がないため参加できない、といった意見があるため、共助型のような新たな交通手段を検討したい。

(例)【御前崎市：地域協働バス】

市が地区に車両を貸し出し、地域住民が運転手となる無償運行。現在5地区で導入している。

牧之原市地域公共交通計画

「住み続けたい」「働き続けたい」「訪れたい」を支える

地域公共交通の構築

～「夢に乗るまち 牧之原」の推進～



※RIDE ON～：（乗り物に）乗る

令和7年10月

牧 之 原 市

第4章 計画の基本方針と目標 (2) 計画の目標

本計画の目標値については、3つの基本方針のそれぞれに目標を定めます。

バスに係る項目は、新型コロナウイルスの影響を受け令和2年、令和3年は数値が大きく落ち込んでいることから、コロナ禍前の令和元年度の状況に戻すことを目標に設定します。その他の項目の目標は、直近の数値からの増加、向上に取り組みます。

なお評価方法は、項目の数値が、原則前年度数値を下回らないことを目標に毎年単年度で評価し、計画期間内に目標年度の令和8年の数値に近づけていくこととします。

達成状況まとめ

基本方針	種別	内容	前年度実績	R6実績	単年度評価	R8目標
1	① バス利用者数(年間)	路線バス	324,893 人	327,189	○	379,000 人
		自主運行バス	131,082 人	131,371	○	162,000 人
	② バス収支率	路線バス	37.3%	39.2%	○	47.2%
		自主運行バス	12.3%	13.2%	○	18.2%
	③ バス公的負担額	路線バス	18,165 千円	20,718 千円	×	1,388 千円
		自主運行バス	102,716 千円	101,987 千円	○	79,421 千円
2	デマンド乗合タクシー	④ 年間利用者数	3,578 人	4,484 人	○	4,600 人
		⑤ 乗合率	1.31 人	1.27 人	×	1.5 人
		⑥ 会員登録率	14.3%	14.1%	×	15%
	⑦ 利用者満足度	バス	—	—	—	72%
		デマンド	—	—	—	80%
	⑧ モビリティマネジメント	取組件数	10 項目	10 項目	○	10 項目
3	市民意見の尊重	⑨ 公共交通の満足度	26.7%	24.3%	×	40%

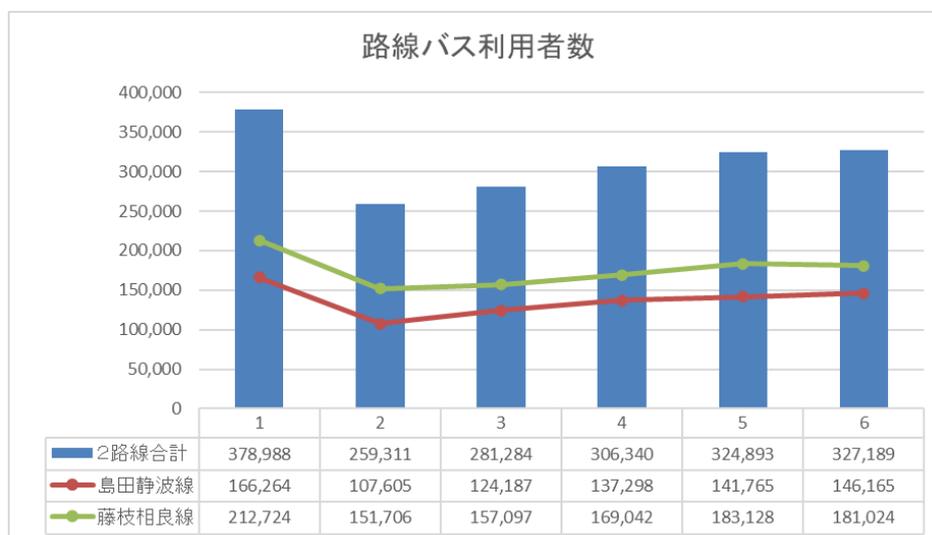
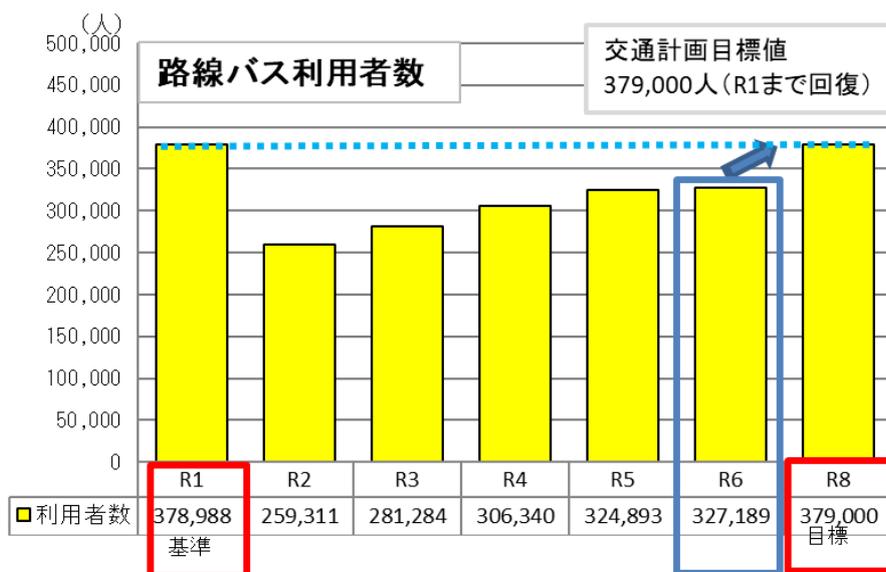
基本方針1に関する目標

基本方針1のネットワークでは「バス利用者数」、「バス収支率」、「バスに対する公的負担額」の3項目について、路線バスと自主運行バスのそれぞれで目標値を定めます。

富士山型ネットワークの構築に関する路線再編は高台エリアの開業時となるため、本計画期間は事前準備の段階となり、大きな路線再編には至りませんが、利用者数と収支率の増加(回復)に加え、便数見直し等による公的負担額の抑制を図ります。

目標① バス利用者数

バス	前年度 (R5)	実績 (R6確定)	前年度 比較	目標	目標 (R8)
路線バス (藤枝相良線、 島田静波線)	324,893 人	327,189	○	R1 数値 に回復	379,000 人



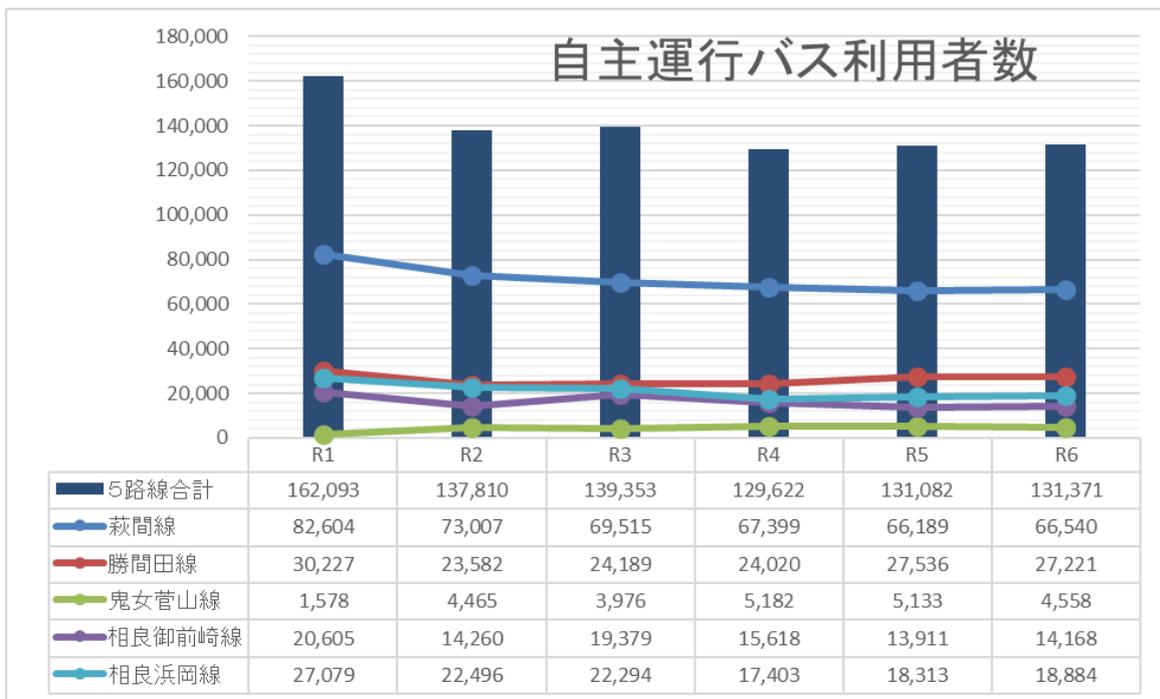
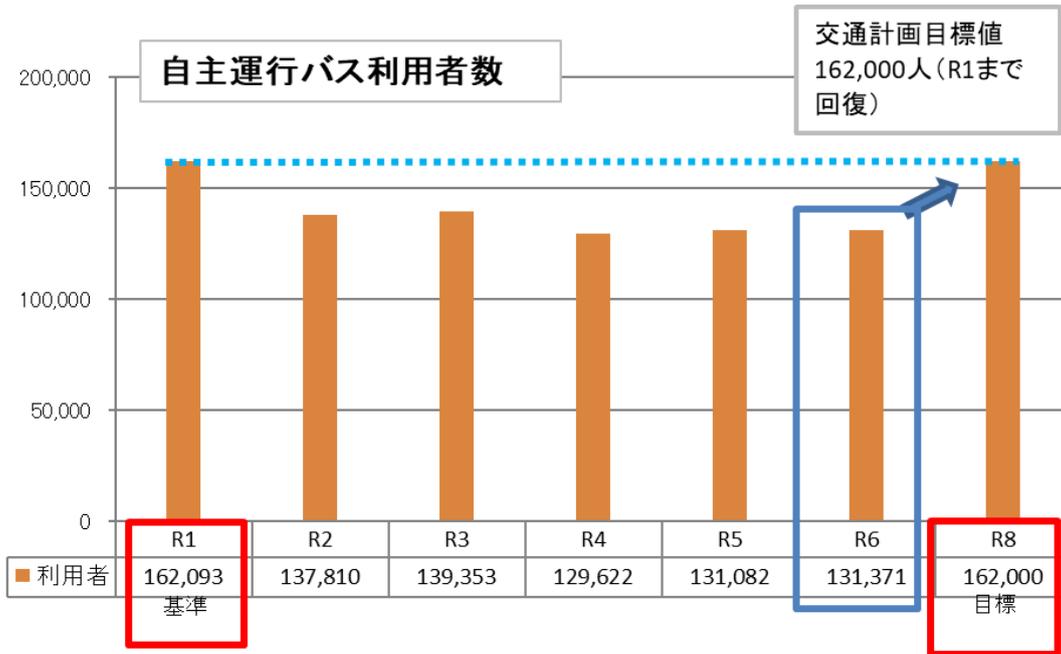
(まとめ)

R2 から回復傾向にあった藤枝相良線は微減となったが、島田静波線の増加により、合計では微増となった。

両路線は、高校生の通学バスに多く利用されているため、高校生を対象とした通学定期券購入費補助金を始めとする利用促進に取り組み、路線維持を目指していく。

目標① バス利用者数

バス	前年度 (R5)	R6 実績	前年度 比較	目標	目標 (R8)
自主運行バス (市営バス含む)	131,082 人	131,371	○	R1 数値 に回復	162,000 人



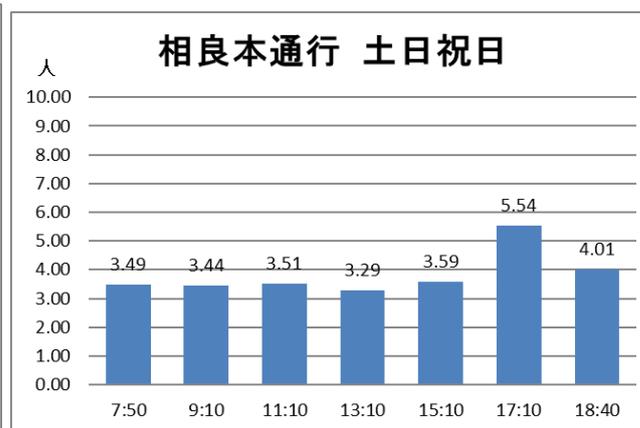
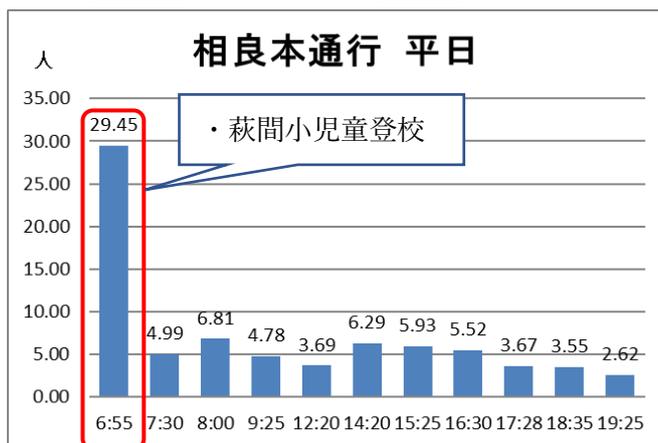
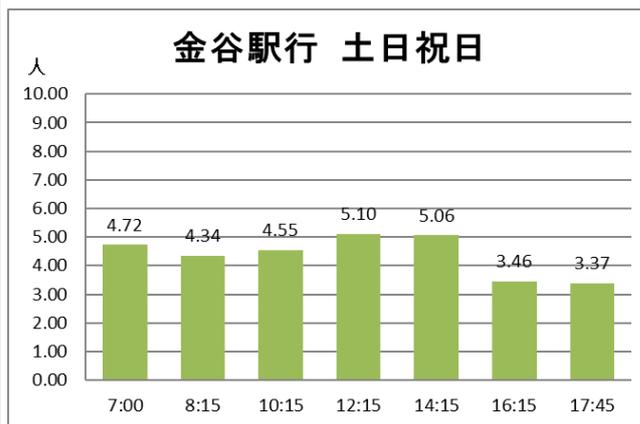
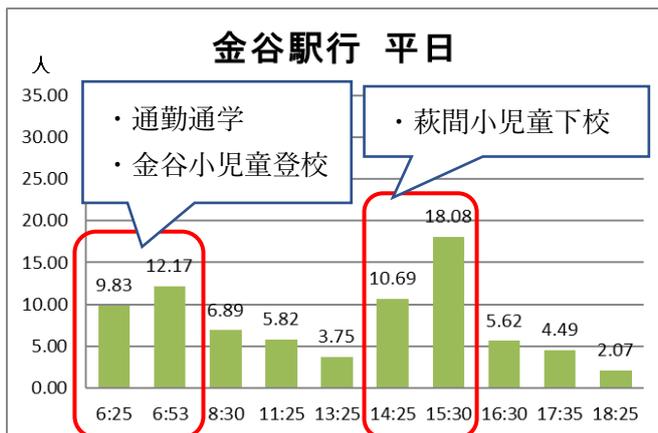
(まとめ)

利用者数は13万人台を維持したが、路線バス（藤枝相良線、島田静波線）と異なり、コロナによる利用者数の減少以降は横ばいや微減が続いている。

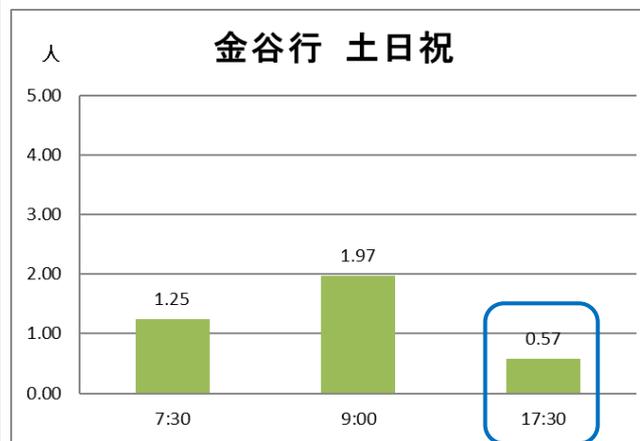
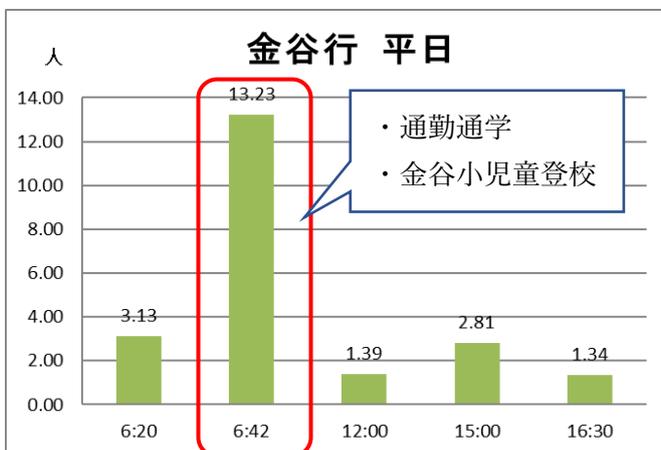
全体を通じて、大幅な利用者増減のある路線はなかった。

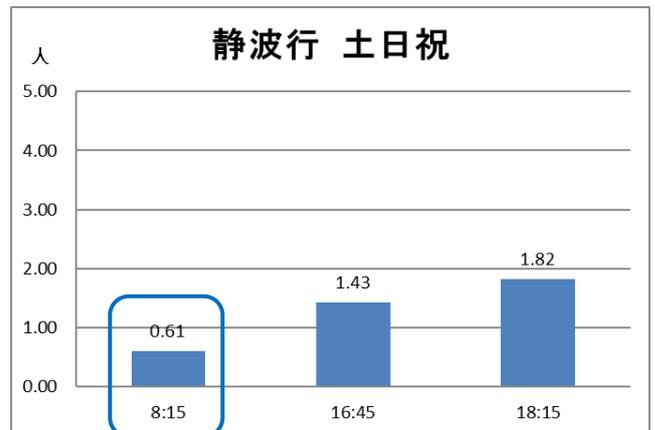
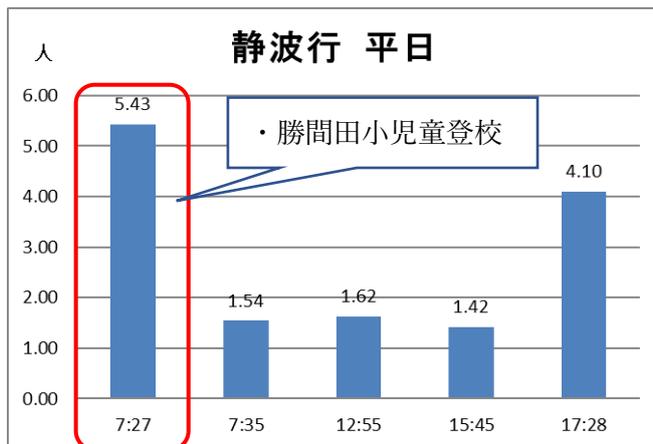
【路線、便別利用者数】

萩間線

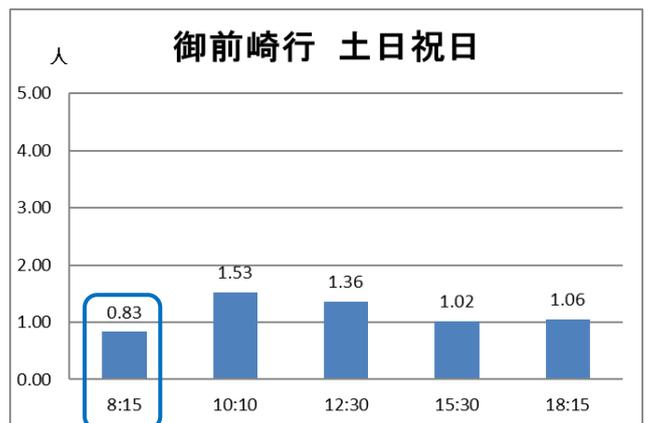
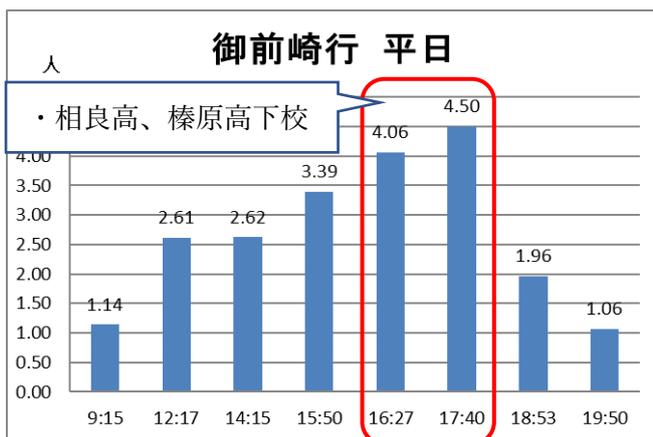
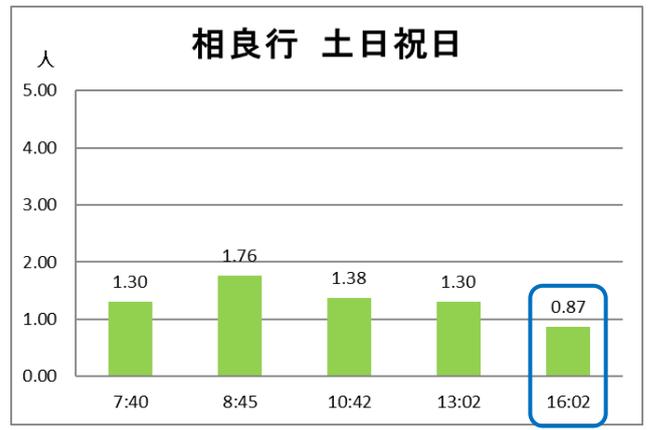
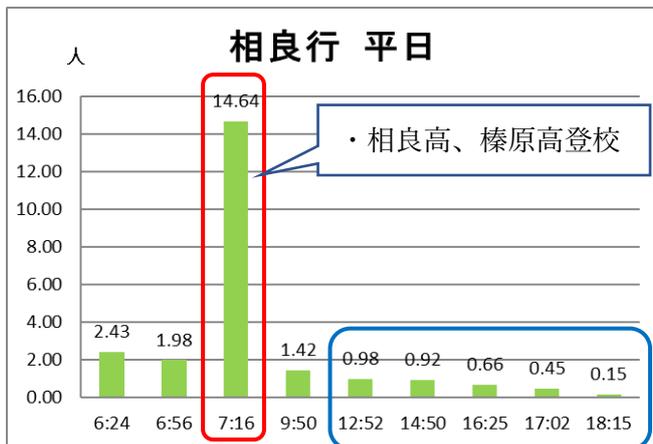


勝間田線

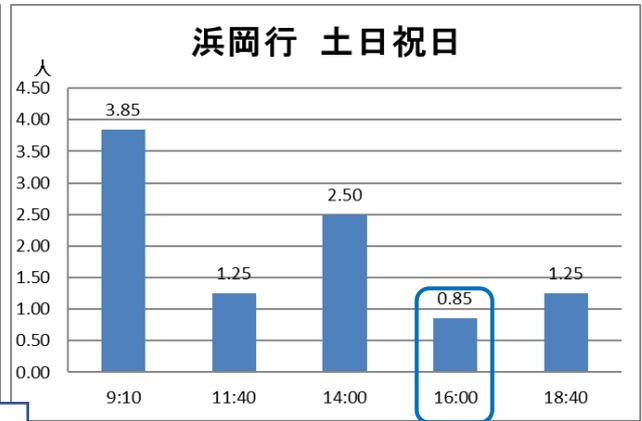
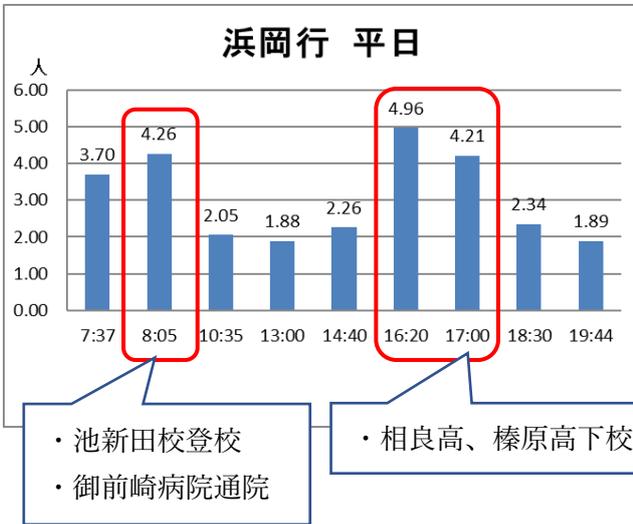
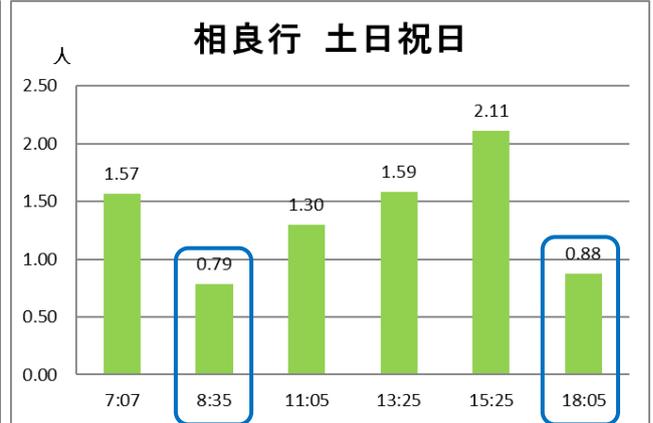
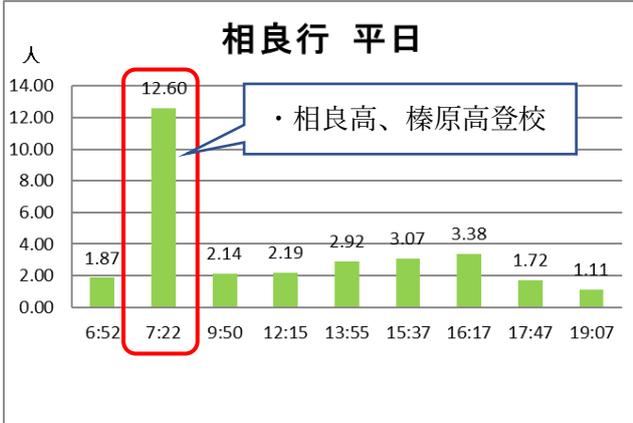




相良御前崎線

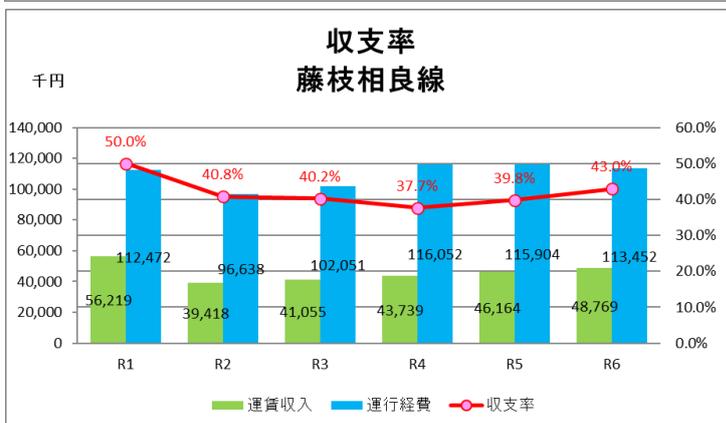
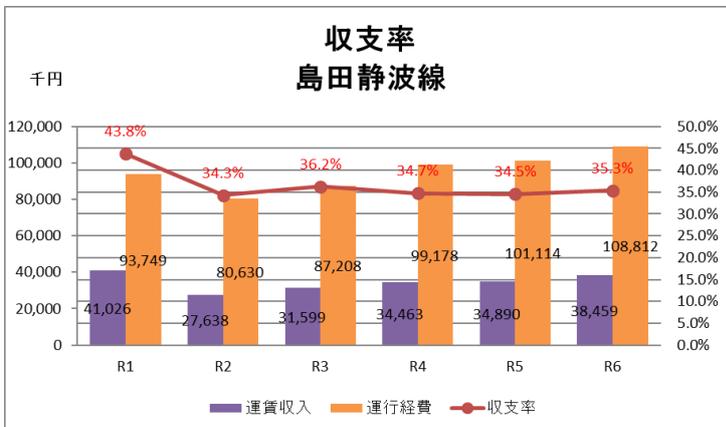
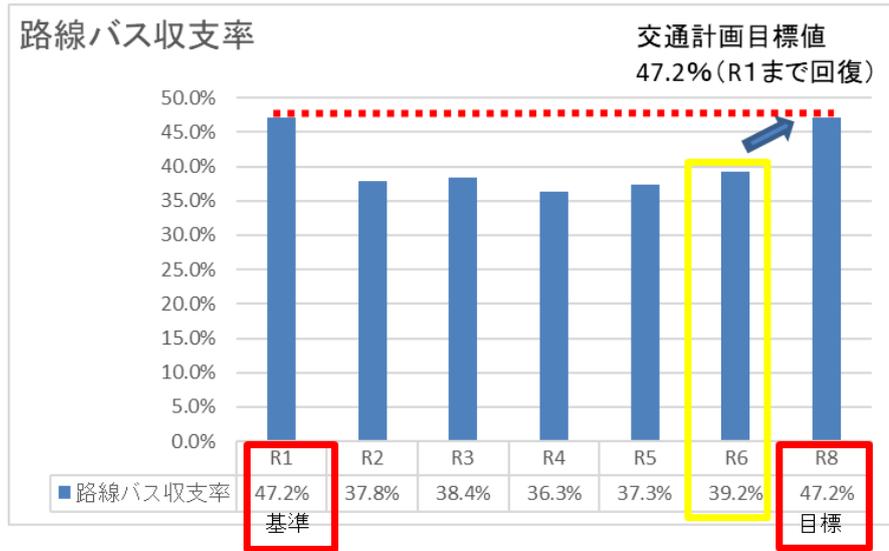


相良浜岡線



目標② バス収支率

バス	前年度 (R5)	実績 (R6確定)	前年度比較	目標	目標 (R8)
路線バス (藤枝相良線、 島田静波線)	37.3%	39.2%	○	R1 数値 に回復	47.2%



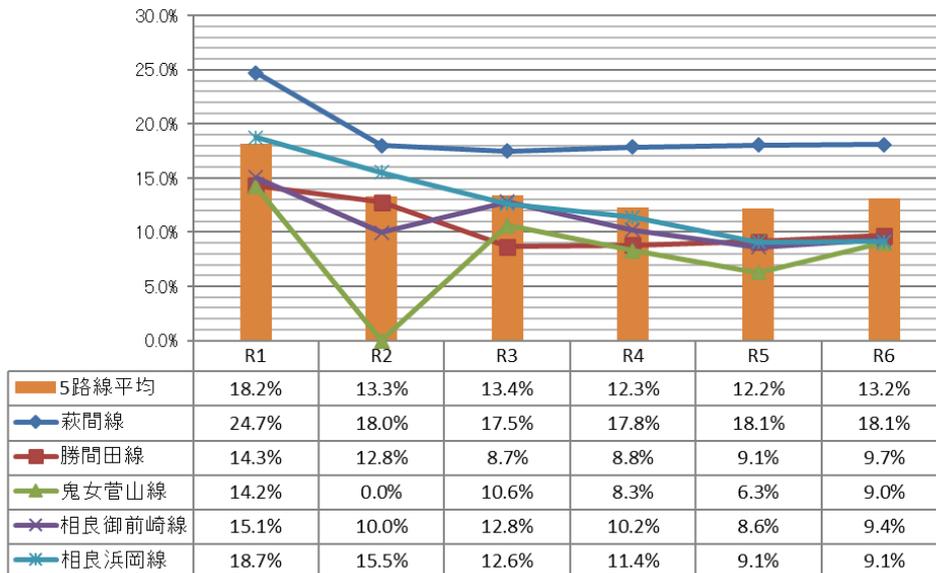
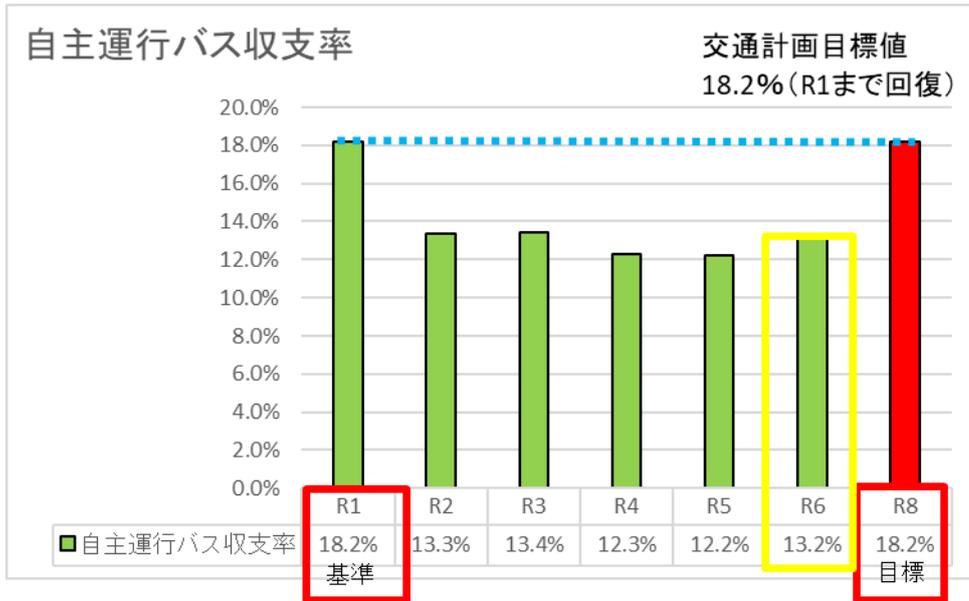
(まとめ)

運行経費は増加したが、運賃収入は増えたため収支率は改善した。

近年の運転手不足対策や燃料高騰により、今後は運行経費の増加が続いていく可能性が高いため、バス事業者と共に対応策を検討する必要がある。

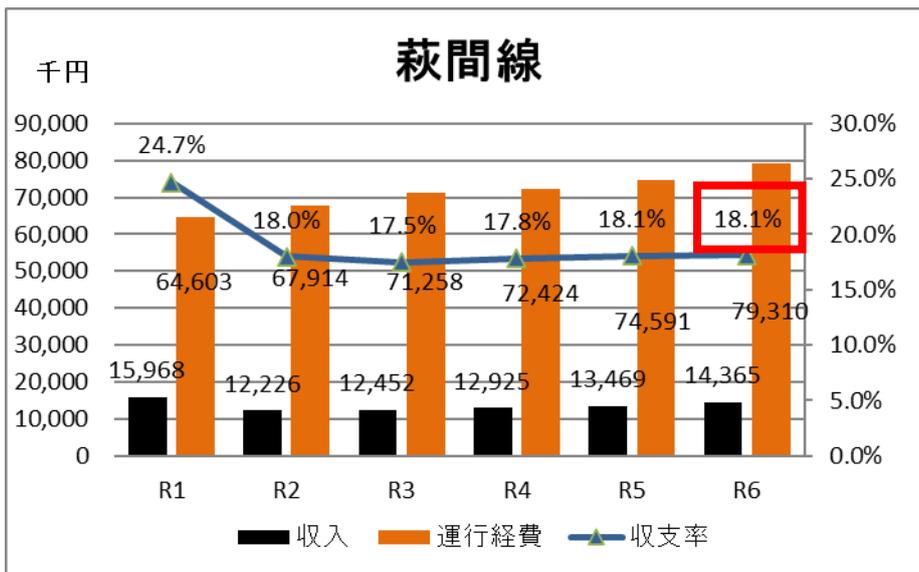
目標② バス収支率

バス	前年度 (R5)	R6	前年度比較	目標	目標 (R8)
自主運行バス (市営バス含む)	12.3%	13.2%	○	R1 数値 に回復	18.2%



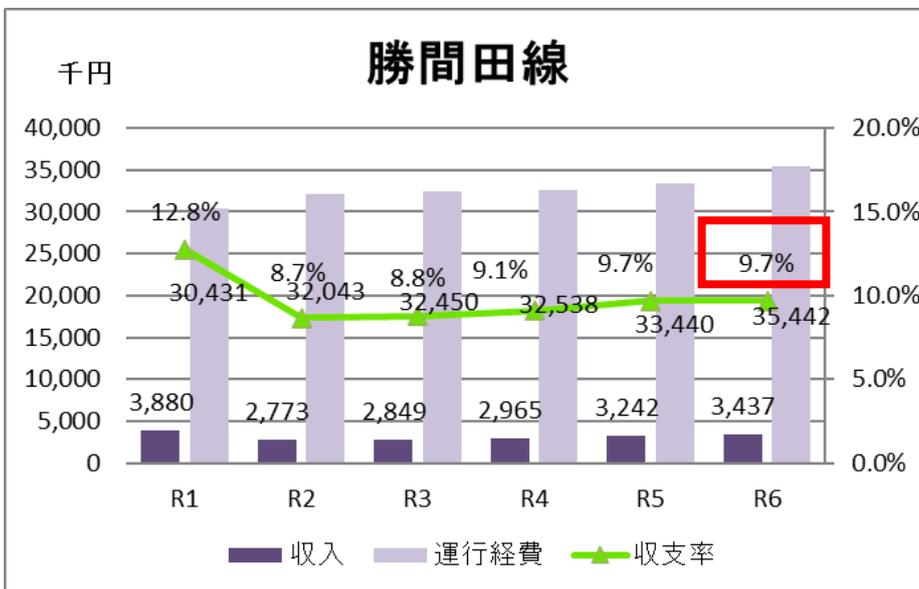
(まとめ)

- ・ コロナによる減収が続く中、R2以降では最も高い運賃収入となり、R1 比では9割近くまで回復した。
- ・ 利用者数が減少する中でも令和6年10月の運賃改定により前年度比増収となったことと、相良御前崎線と相良浜岡線の便数見直しによる経費削減の効果もあり、収支率を改善することができた。



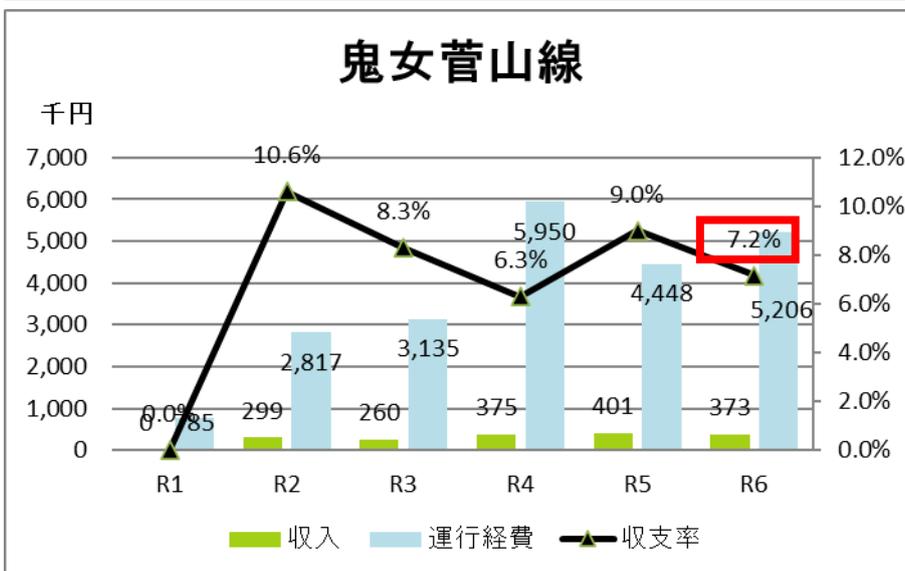
収支率は横ばいであり、R1までの回復は見込めない。

将来的には高台エリアへの接続により、利用者数や運賃収入の増加が期待できる。



収支率は横ばいであり、R1までの回復は見込めない。

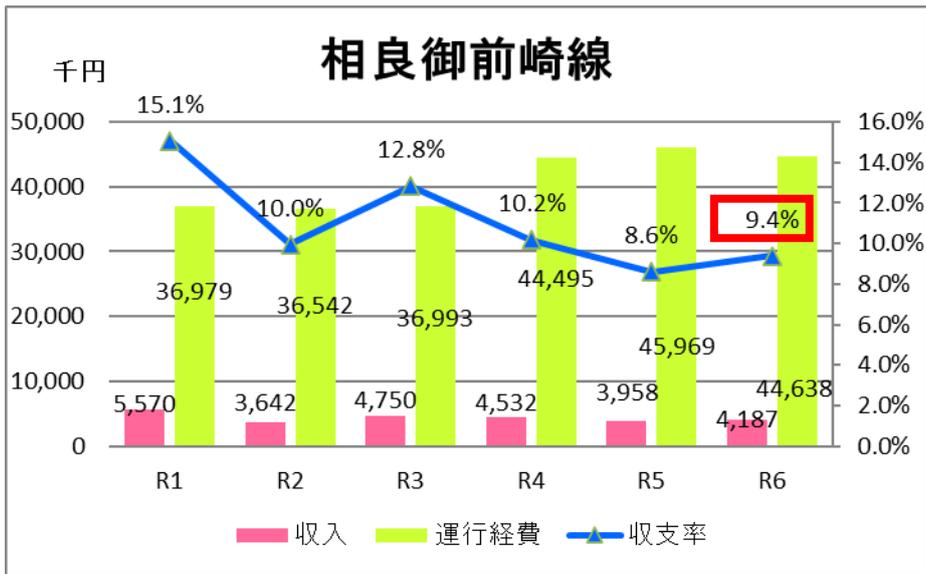
勝小児童の通学手段として維持したいが、経費を抑制する方法を検討したい。(土日祝見直し)



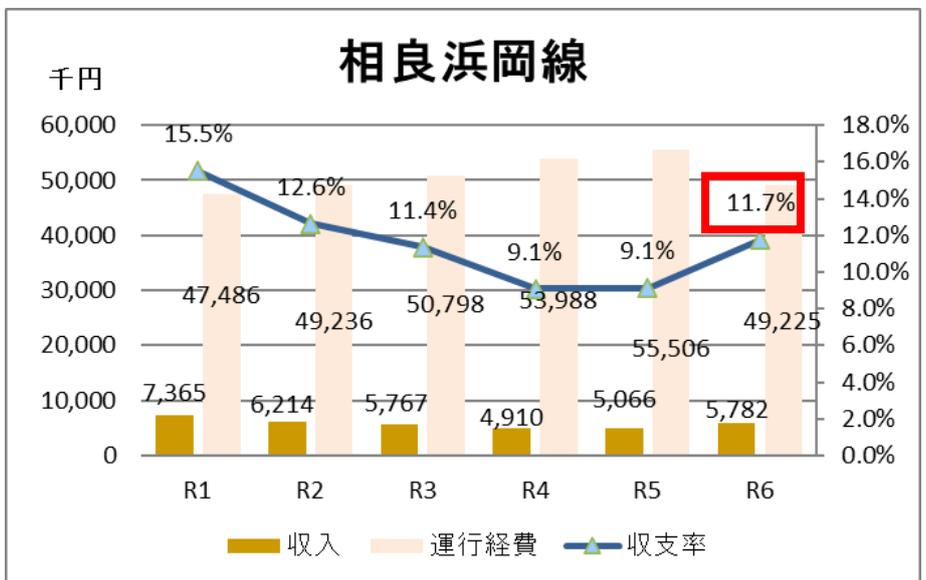
生徒、児童の人数に大きく影響を受ける。

事業者変更によりR7の委託費が倍増したことから、R7の収支率は大きく落ちる見込み。

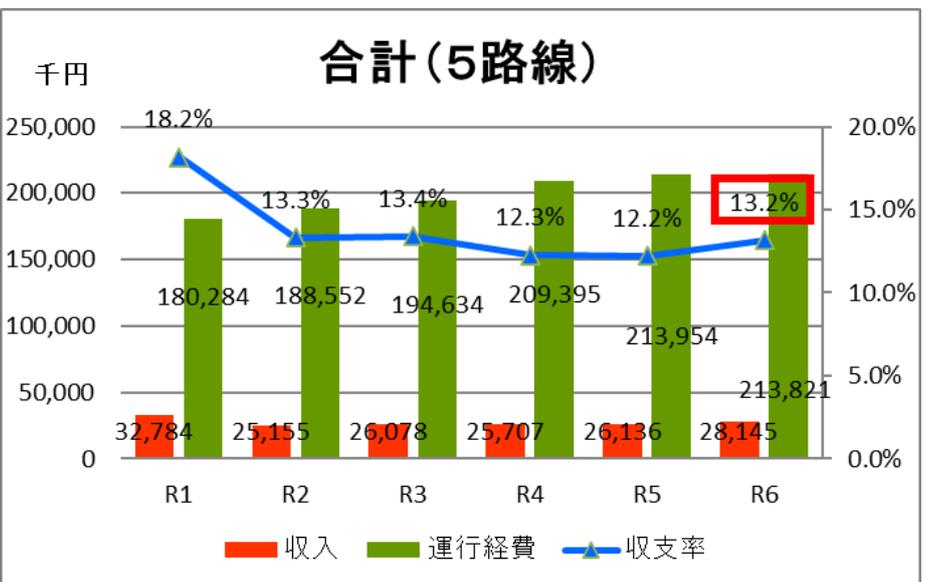
運行方法の変更を含めた改善策を至急検討したい。



収支率は減少傾向で一桁代に落ち込み、5路線で最も低い収支率であったが、R6に便数見直しによる経費の抑制を図った結果、微増となった。



収支率は減少傾向にあったが、R6に便数見直しによる経費の抑制を図った結果、改善につながった。

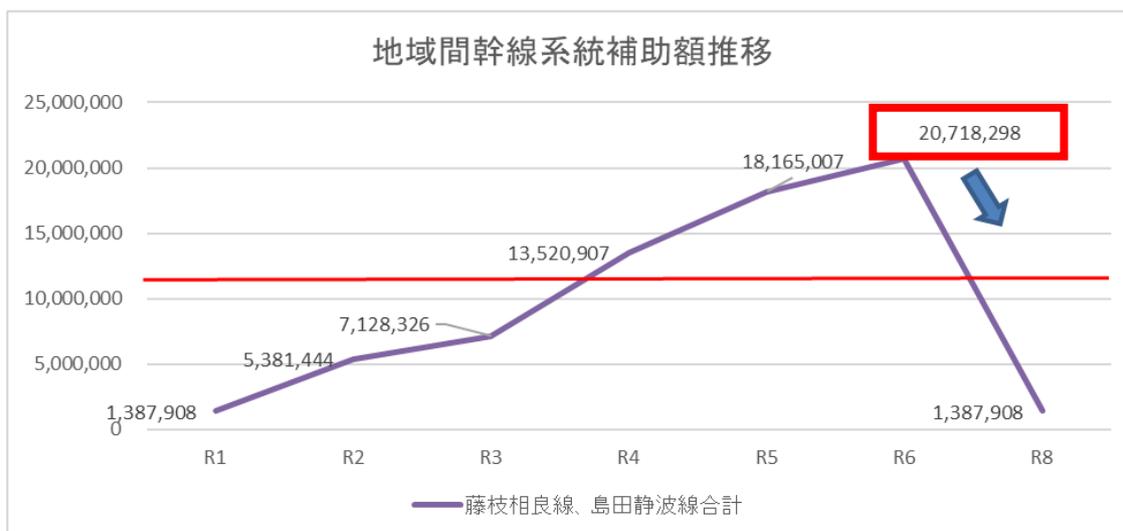


コロナ流行以降は、横ばいの状況。運賃改定や高校生の通学定期補助により増収となったことが考えられる。また、便数見直しによる経費抑制を図ったため、改善した。

目標③ バス公的負担額

バス	前年度 (R5)	R6 実績	前年度 比較	目標	目標 (R8)
路線バス (藤枝相良線、 島田静波線)	18,165 千円	20,718 千円	×	R1 数値 に抑制	1,388 千円

※路線バスは、地域間幹線系統維持費補助金で補助する額とする



	島田静波線 (駅系統)	島田静波線 (病院系統)	藤枝相良線	合計
R1	805,143	582,765	0	1,387,908
R2	1,109,484	772,849	3,499,111	5,381,444
R3	1,393,025	1,923,033	3,812,268	7,128,326
R4	1,145,330	4,572,353	7,803,224	13,520,907
R5	491,385	2,996,452	14,677,170	18,165,007
R6	1,749,368	2,281,479	16,687,451	20,718,298

(まとめ)

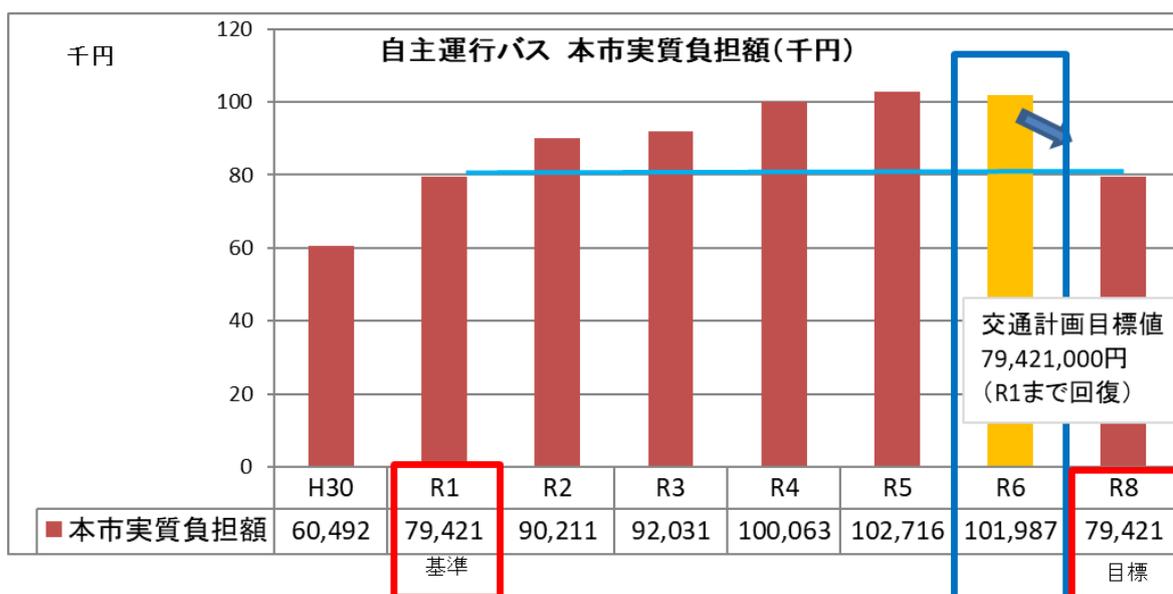
藤枝相良線の負担割合は約56%で、半分以上を牧之原市が負担しているため、当該路線の利用状況により、市の負担が大きく変わる。

(単年度評価未達成における改善策)

両路線は、自主運行バスよりも圏域が広く、市にとって重要な路線であるため、関係市で連携した利用促進策を計画したい。

目標③ バス公的負担額

バス	前年度 (R5)	R6 実績	前年度 比較	目標	目標 (R8)
自主運行バス (市営バス含む)	102,716 千円	101,987 千円	○	R1 数値 に抑制	79,421 千円



路線別の実質負担額

	R5 実績	R6 実績	推移
萩間線	32,907	35,520	+2,613
勝間田線	17,908	18,925	+1,017
鬼女・菅山線 (市営)	3,105	3,952	+847
相良御前崎線	23,977	22,905	-1,072
相良浜岡線	24,819	20,686	-4,133
合計	102,716	101,987	-729

(まとめ)

本市実質負担額は、前年度から約 73 万円の減額となった。

R6 は、自主運行バス相良御前崎線、相良浜岡線の便数の見直しにより、両路線の契約額は約 760 万円の減額となり、他の路線の経費増額や運賃収入の減額をもっても負担抑制を図ることができた。

基本方針2に関する目標

基本方針2のデマンド乗合タクシーに関連する目標として、デマンド乗合タクシーの利用者数、バス収支率に変えて効率性を示す乗合率、周知の目安となる会員登録者率（75歳以上人口に占める割合）の3つの目標を設定します。

利用者の利便向上に関連する目標として、公共交通利用者の利便向上を計る目安になる利用者アンケートの満足度を設定します。

利用促進に関連する目標として、モビリティマネジメントの取り組件数と参加者数を設定します。

デマンド乗合 タクシー関係	前年度 (R5)	R6 実績	前年度 比較	目標	目標 (R8)
目標④ 年間利用者数	3,578人	4,484	○	増加	4,600人

号別利用者数

号	R5利用者数	R6利用者数	傾向	前年度比 (%)
さかべ号	221	419	↗	190
かつまた・まきのはら号	708	644	↘	91
しずなみ・かわさき、 ほそえ号	902	1,386	↗	154
すげやま・はぎま号	863	930	↗	108
じとうがた号	351	365	↗	104
さがらひがし、にし号	533	740	↗	139
合計	3,578	4,484	↗	125

(まとめ)

多くの便で利用者が増えたが「かつまた・まきのはら号」のみ減少した。これは、「まきのはら号」を職員運転の市営バスからタクシー事業者への委託に切り替えたため、一時的に減少したことが考えられる。

デマンド乗合 タクシー関係	前年度 (R5)	R6 実績	前年度比較	目標	目標 (R8)
目標⑤ 乗合率	1.31人	1.27人	×	向上	1.5人

号別の乗合率

号	R 5 乗合率	R 6 乗合率	傾向
さかべ号	1.14	2.19	↗
かつまた・まきのはら号	1.42	1.21	↘
しずなみ・かわさき、ほそえ号	1.12	1.10	↘
すげやま・はぎま号	1.51	1.39	↘
じとうがた号	1.49	1.45	↘
さがらひがし、にし号	1.19	1.17	↘
合計	1.31	1.27	↘

(まとめ)

さかべ号は、R6 から高齢者サロンの臨時送迎を開始したため、乗合率が上昇したが、他の号は悪化した。これは、利用者急増に伴い、乗合ルートを組み替えることが困難になったためと思われる。

(単年度評価未達成における改善策)

・乗合率を高めるために R7 から以下の変更を実施

① 予約時間の変更

行きの30分前までの予約を1時間前とすることで、タクシー事業者の乗合経路検討の時間を増やす。

② 運賃の統一

R6 から号の統合を行ったが、従前の運賃を引き継いでいるため、運転手が混乱してしまうために別々に配車しているため、運賃の統一を図る。

デマンド乗合 タクシー関係	R5年度末	R6年度末	前年度 比較	目標	目標 (R8)
目標⑤ 会員登録率	14.3%	14.1%	×	向上	15%

号別の会員登録率 (R7.4.1)

	R5登録率	登録者数/75 歳以上 (人)	R6登録率	傾向
さかべ号	20.1%	91/431	21.1%	↗
かつまた号	24.2%	212/918	23.1%	↘
まきのはら号	25.4%			
しずなみ・かわさき号	10.6%	286/2,606	11.0%	↗
ほそえ号	10.1%			
すげやま・はぎま号	17.6%	162/805	20.1%	↗
じとうがた号	15.2%	122/833	14.6%	↘
さがらひがし号	11.8%	201/2,022	9.9%	↘
さがらにし号	9.8%			
合計	14.3%	1,074/7,615	14.1%	↘

(まとめ)

ここ数年の登録率は順調に伸びていたが、R6は微減となった。利用者数は増えているため、特定の方が繰り返し利用していると考えられる。

デマンドは、必要な方に周知され、困っている方が利用できていれば利用者数を増やす必要はないため、福祉部局や民生委員を通じた周知を図り、認知度を高めていきたい。

(単年度評価未達成における改善策)

福祉部局や民生委員への周知を図る。

目標⑦ 利用者満足度		基準値 (R4)	評価	R8
バス	利用者調査による	56%	向上	72%
デマンド		72%	向上	80%

※利用者満足度は、本計画策定の調査の一環として実施。計画期間最終年度の令和8年度に令和4年度と同じ方法で実施し、いずれも「利用しやすい」を基準値とし、どちらでもない(普通)のの半数が「利用しやすい」へ移行することを目標とする。

令和8年度にアンケート調査を実施予定。単年度評価はしない。

モビリティマネジメント関係	前年度 (R5)	R6 実績	前年度比較	目標	目標 (R8)
目標③ 取組件数	10項目	10項目	○	増加	年間10項目

(R6取組状況)

	内容	種別	備考
①	広報、ホームページへの掲載	広報・啓発	広報7月号特集記事
②	福祉部署との連携（主任ケアマネ会議、高齢者福祉部会出席）	関係者協議	デマンド乗合タクシー周知、意見交換
③	高校との意見交換	関係者協議	榛原高校との協議
④	高齢者サロンでのデマンド説明	住民周知	要望により随時実施
⑤	デマンドの改善	利便向上	運賃統一、特定施設間移動、特定施設追加
⑥	（新）根松サイクルラック設置	利便向上	特急静岡相良線の根松牧之原警察署入口に設置
⑦	（新）矢崎アローライン運行開始	利便向上	矢崎と菊川駅を結ぶ路線の市民利用
⑧	（新）高校生通学定期券購入補助実施	利用促進	高校生の通学定期補助
⑨	（新）ハッピーライド in 静岡の実施	利用促進	小学生の無料バスデー（12/7、8）の実施
⑩	産業フェア出展	利用促進	しずてつジャストライン（株）の低床バス展示

※同一内容の複数の取組については、1事業としてカウント

(まとめ)

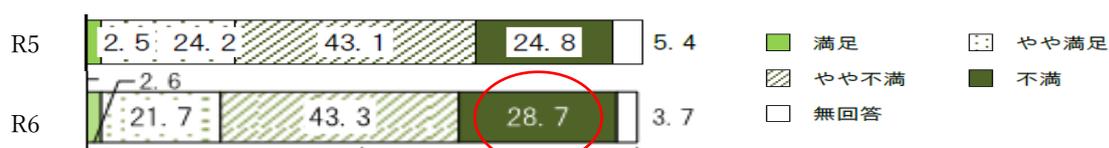
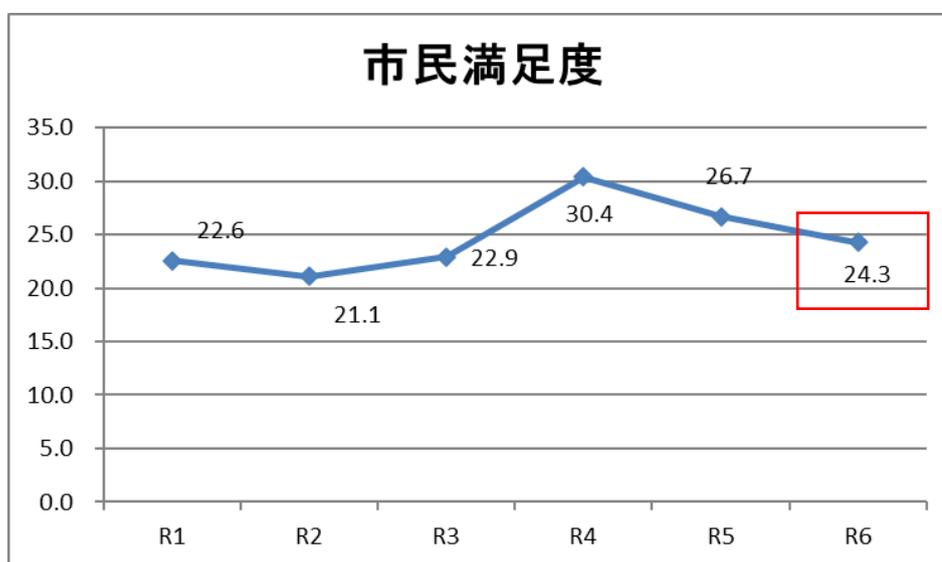
R6は、特に⑤から⑩のような制度として実現したものや、実際の行動につながった事業が多かった。

基本方針3に関する目標

基本方針3は、総合計画の重点・戦略プロジェクトとの連携であるため、間接的に公共交通へ影響を与える取組となることから、ここでは、毎年市が実施している「市民意識調査」における公共交通の満足度を設定します。

モビリティマネジメント関係	前年度 (R5)	R6 実績値(確定)	前年度 比較	目標	目標 (R8)
目標⑨ 市民意識調査における公共交通の満足度	26.7%	24.3%	×	向上	40%

※満足+やや満足の合計値



(まとめ)

R5 数値からは落ちた。

不満、やや不満が67.9%から72%からに増え、特に不満が3.9%増加した。

(R7 速報)

満足：2.3% やや満足：26.1% 合計：28.4%

自由意見

バスに関する意見 11件

	性別	年齢	居住地区
<p>片浜地区に住む高校生です。市外の高校に通学していますが、通学方法はバスしかありません。しかし、そのバスの本数が少なく不便すぎます。片浜は、相良本通バス停と静波海岸入口バス停のちょうど真ん中に当たると思います。もし特急バスが止まるようになれば、毎日不便に通学しなくても済むし、片浜へのアクセスも良くなります。片浜地区には、大鐘家、片浜小学校、釣徳寺、相良梅園など、観光施設がたくさんあります。観光で訪れた方達も、それらの施設にも行きやすくなります。また、片浜の住民も、気軽にバスを使って相良・榛原地域に買い物へ行くことができます。</p> <p>今は、藤枝相良線が1時間に1本しかないの、仕方なく自転車で買い物へ行きます。バス利用を本当に促進させる気があるなら、バスの本数を増やしてはどうでしょうか。しかし、運転手不足、年々減便など、どんどん不便になります。であれば、特急バスが藤枝相良線と並行しているので、片浜地区に特急バスを停めれば良いと思います。もし特急バスが片浜地区に停まるようになれば、朝5時台から移動できるようになり、帰りは部活があってもバスに乗れます。今は藤枝駅 19 時が最終です。とても早いです。藤枝駅から西焼津駅に移動し、西焼津駅近くの東名焼津西バス停から、相良行き特急バスに乗れます。しかし片浜地区には停まりません。藤枝相良線のバス停すべてに停まると、速達性が失われ特急でなくなるため、相良と静波の間、大江地区、片浜地区にそれぞれ一つずつでもバス停を増やすべきだと思います。もし特急バスが片浜地区にこれからも停まらないのであれば、バスとバス同士の接続強化、もしくは静波と相良をピストン運行するバスを走らせてほしいです。藤枝相良線から特急バスへの乗り換え、特急バスから藤枝相良線への乗り換えを強化してほしいです。藤枝相良線は定刻でも特急バスが遅れていて、静波海岸入口バス停で静岡方面から来て、藤枝相良線の相良営業所行きに乗れないことがあります。藤枝相良線は1時間に1本しかなく、接続されないとても困ります。藤枝相良線、特急静岡相良線は民間のバス会社が</p>	男性	19 歳以下	大江・片浜

<p>運営しているため、簡単に市が片浜地区にバス停を増やしましょう、とは言えないかもしれませんが、何とかしてくれたら嬉しいです。これから、こんな不便な片浜地区に住んでいたいとはとても思えません。車がないと何もできません。デマンドタクシーは高校生が使えないし、何とかしていただけますか。もうあと2年で卒業です。それまでに何とかなっていたら嬉しいです。また、弟もいるので、その時にはさらにバスが便利になっていたらもっと嬉しいです。</p>			
<p>静鉄バスの営業所が移転したが、営業所内に乗降場を作らずになぜ路上を停留所にさせているのか。朝夕の時間帯に渋滞や事故を誘発しかねない。小学生の通学路も交差している。スクールバスも同じ。なぜあれで運行許可が出ているのか理解に苦しむ。安全に乗降するためにも営業所敷地内で行うように変えるべき。</p>	男性	40~49 歳	大沢・菅山
<p>70 代後半になると、体力や気力の減退が激しく、気持ちが前向きになれません。移動手段としてバス停が近くにあれば幸いです。</p>	男性	70~79 歳	川崎
<p>私は今、牧之原市にある自宅から静岡市の大学にバスで通っていますが、やはり往復で 2,540 円もかかり、かなり経済的に負担になっています。牧之原市からバスで通っている人に、月にある程度の補助金を出していただくと嬉しいです。</p>	女性	19 歳以下	相良・福岡
<p>バスの本数を増やしてほしい、電車を通してほしい。</p>	女性	19 歳以下	川崎
<p>近くにバス停がないから不便。</p>	女性	20~29 歳	坂部
<p>インフラ整備をしてほしいです。電車がない分、バスの運行をもっと充実させてほしいです。市内の隅々まで運行する、時刻をもっと細かく対応する、運賃を安くする、バス停の近くに無料の駐車場を設けるなどしてください。</p>	女性	30~39 歳	地頭方
<p>小学校や中学生が利用できる相乗りタクシーがほしいです。東名バスなどのバスに乗るのに、バスの時間が間に合いません。路線バスも通学に合わせてくれていますが、結局バス停への送迎が必要です。検討していただきたいです。相良高校へ通いたくなるような取組を実施し、吉田町や菊川市の子</p>	女性	40~49 歳	地頭方

もたくさん来てくれると良いですね。			
相良～静岡線は本数がたくさんあり助かっていますが、相良～藤枝線、相良～焼津線、相良～浜岡線は本数が少なく、学校に通うこともできないため、親の送迎が必要で、交通の便が悪いです。希望する高校に進学することもできないので、バスの本数を増やしてほしいです。	女性	50～59 歳	波津・須々木
コミュニティバスの充実を求めます。	女性	50～59 歳	波津・須々木
市内を 100 円バスなどで利用できたら良いと思っています。このようなバスがあれば助かる高齢者が我が家にいます。学生などの送迎には必ず自動車が必要であり、ガソリン代の高騰などで家計を圧迫しています。JRの駅が一番ほしいですし、必要です。	回答 しない	30～39 歳	勝間田

交通全般に関する意見（交通含む） 19 件

	性別	年齢	居住地区
とにかく不便。車がないと買い物すら行けず、バスも来ないし、夜はタクシーもない。若い世代が出て帰ってこないのも、だいたい理解できる。	男性	50～59 歳	大江・片浜
とにかく交通機関が不便。子どもに通わせる学校が限定される。子どもが遊ぶ公共的、商業的施設がほとんどない。買い物が不便。信用できる病院がない。学校の先生も良い先生がいない。新しい商業施設や店舗が進出してこない。特に相良地区は昔からほとんど変わっていない。それどころか、ますます過疎化が加速している。牧之原インターあたりの高台を中心に住宅地、商業施設を充実させる。せっかく静岡空港があるのに、その周辺はまったく変わっていない。	男性	50～59 歳	萩間
公共の足となるものが心もとないです。バスにしろ、タクシーにしろ、高齢者が活動しやすい機関がほしいです。大型商業施設または大型スーパーマーケットなど、買い物の充実を望んでいます。	男性	60～64 歳	地頭方

バスや自家用自動車以外での交通手段を充実してほしいです。	男性	60～64 歳	勝間田
車でないとどこにも行けないので、病院や買い物など、高齢になってからのことが心配になっています。	男性	65～69 歳	川崎
交通弱者への支援、住宅街への高スピードでの車の進入を阻止。市民が利用できる施設が少ない。平日休みで各イベントなどに参加できないため、平日でも参加できるイベントなどを期待します。	男性	70～79 歳	波津・須々木
交通の便が悪すぎると思います。遊ぶ場所や遊べる場所を作ってほしいです。カラオケやゲームセンターなどの娯楽施設がなさすぎると感じます。これらの施設がないため、若者が出て行きます。	女性	19 歳以下	細江
もっと公共交通機関で移動できないと不便です。学生の公共交通機関の値段を下げしてほしいと思います。牧之原市にいます。高校は榛原高校か相良高校に行くことが多くなります。もう少し安くて交通の便が良ければ、他の高校に行く選択肢が増えると感じました。 中学1年生の時から学校が積極的に高校の情報を与えていってあげてほしいです。大学も家から通える場所が少ないから、県外に出てそこで就職する人が多いです。そのため、就活の時期に戻ってくるができる就職支援をしてあげてほしいです。	女性	20～29 歳	静波
公共交通機関をもう少し充実してほしい。夜間料金が発生するようになったり、本数が減ったりして不便。外国人でも観光客でも来てもらえるようにするには地域の理解がほしい。文化を理解し合う機会を設けるべき。	女性	20～29 歳	静波
比較的暮らしやすい地域だとは思いますが、税金の割には恵まれている実感がない。高速バスが通っているのは助かるが、他にまともに使える公共交通機関がなく、JRの最寄り駅まで出ることも容易ではない。栄えている地域へ遊びに行こうとしても、特に浜松市方面への便はすこぶる悪い。他のエリアへの行き来が気軽にないというのは、出かけることが少ない老人ならまだしも、若者が住処として選ぶには優先度がかなり下がると思う。	女性	20～29 歳	細江
交通手段に関して不便さを感じています。少子化も懸念しています。	女性	40～49 歳	波津・須々木

交通の便が悪い。公共交通機関を増やしてほしい。子どもの遊ぶ所が少ない。大人の遊ぶ所も少ない。飲み屋やカラオケとか大手チェーン店、特に飲食店を増やしてほしい。危険運転が最近多く感じます。対策してほしいです。	女性	40～49 歳	大江・片浜
自分が年を取ってからの買い物や通院が心配です。交通機関が少ないと思います。	女性	65～69 歳	大江・片浜
私の住む地区は高齢化一色ですので、デマンドタクシーを利用する高齢者が増えています。しかし、金額はタクシーより安いのですが、高いように思います。バスもなく、交通手段は家族が送迎するかタクシーだけになります。藤枝市は小さなボックスタイプがよく走っています。このように、過疎化した地域へ気軽に利用できるマイクロバスなどが走れば、高齢者は医療関係や買い物など生活に潤いがあり、孤独ではないように思います。ぜひ坂部地域へ巡回バスまたは乗用車などをお願いできないでしょうか。よろしく願いいたします。	女性	65～69 歳	坂部
病院や買い物など、どこへ行くにも公共交通機関の便を良くしてほしい。	女性	70～79 歳	相良・福岡
高齢化の加速の中で、高齢者の足となるデマンド乗合バス、タクシーの充実を願います。交通ルートの細分化、時間や回数増加などの整備を望みます。	女性	70～79 歳	波津・須々木
あと何年かしたら免許返納を考えないといけないと思っていますが、その後の日常生活をどのようにしていけば良いかと考えます。病院に行くにも、活動などに参加するのにも、通りに出るまでに距離があるので他人とのつながりがなくなってしまいそうで不安です。私の場合は娘達が近い所にいますので、助けてもらえとは思っています。	女性	70～79 歳	牧之原
免許返納後の交通の不便さを解消していただきたいです。高齢者が集える憩いの場のような場所を増やしていただきたいです。	女性	70～79 歳	坂部
車がないと生活が不便だと思います。	無回答	無回答	無回答

記 録 簿

件 名	令和 7 年度第 1 回牧之原市地域公共交通会議 評価改善部会
日 時	令和 7 年 10 月 1 日（水）午後 1 時 30 分～午後 4 時
会 場	榛原庁舎 5 階庁議室
協 議 内 容	
1	開会
2	部会長挨拶
3	協議
	（1）牧之原市地域公共交通計画の評価について 取組評価（資料 1）
	（2）牧之原市地域公共交通計画の評価について 数値評価（資料 2）
事務局より説明（増田）	
<p>【質疑応答】</p> <p style="color: red;">＜市民意識調査内の意見について＞</p> <p>増田委員：資料 2、19 ページの片浜地区に住む高校生の意見を読み、なるほどと思った。片浜にあるカタショーは大学生が合宿をしたり泊りに来たりして、歩いて静波海岸入口までバスに乗りに行くのを目撃している。静鉄ジャストラインさんがどういう考えかは分からないが、<u>特急静岡相良線を片浜に停める意向があるのであれば、榛原病院にも停めてほしいと思う。</u>利用者が減ってバスの最終時刻が早くなっている。この高校生は交通事情について切実に考えている。<u>片浜や榛原病院への乗り入れについて静鉄ジャストラインさんには考えていただきたい。</u></p> <p>増田係長：かねてから片浜に停まったら便利かと思って考えはしたが、速達性の問題や藤枝相良線への影響が出るのではないかと考えている。</p> <p>藁科委員：ご意見として受け止める。<u>特急静岡相良線は「特急バス」という特性がある。片浜への停車ができないとは言い切れないが、やることでデメリットが出てくることも視野に入れて考えていく。</u></p> <p>松尾会長：榛原病院よりも可能性としてはあると思うが、停まることによる速達性がどうなるか。毎回停まるのが良いのか、または予約なども考えられる。可能性を考えても良いと思う。</p> <p>増田委員：榛原病院の乗り入れで速達性が損なわれるというのはわかるが、浜岡営業所からの便だけでも乗り入れてもらえたらありがたい。ドライバーの勤務時間や距離も延びるが、全部とは言わず、毎日 1、2 本だけでも考えてもらいたい。榛原病院経由などの路線があっても良い。特急静岡相良線は浜岡まで延伸しているので考えてもらいたい。朝と夕方・夜に乗り入れが増えれば、従業員や見舞客も利用できる。</p> <p>松尾会長：榛原病院は迂回が入るので、どのくらいの需要があるか検討する必要がある。事務局としては今後調査をするということである。</p> <p>大崎委員：市民意識調査の自由意見を読むと、個人の利便性を高めるものが主たる意見。片浜にバス停をとという意見は最もだが、相対的に利用者がどれくらい増えるか。コストの問題も出てくる。<u>市は運行経費やどれだけ赤字かを周知する必要がある。その事実を確認してもバス停が欲しいということであれば、真摯に考えていく必要がある。</u>個人の利便性を高めるだけのものでは必要ないと思う。</p> <p>松尾会長：資料の中に収支率の記載がある。もう少し広く周知していくかどうか。</p> <p>大崎委員：路線の形態を変えるとすると静鉄ジャストラインのほうでもバス停表示や時刻表など、費用がかかる。安易に考えてできるものではないと思う。</p>	

松尾会長：自由意見に基づいて実施するものではなく、アイデアとして解釈するのが良い活用方法。通学についてはひとりの意見ということもあるが、その地域から通学する足を確保することで、地域に高校生が留まるという可能性も踏まえて検討する必要がある。

<自王運転について>

大石副会長：市としても自動運転を考えていたが、今年の8月に八王子で実証実験の事故があった。怖いという印象も植え付けられているのではないかと。自動運転の施策に影響が出ているのか。

松尾会長：事故自体は他の地域での自動運転の促進に大きな影響があるとは言えない。むしろ他の地域でやっていく際に、安全管理がより慎重になる。自動運転を忌避するものではない。ただ、自動運転で現状が改善するのは相当先になると思う。レベル4はドライバーがいる運転に比べて相当なコストがかかる。自動運転に切り替えて解決できる、というふうには全くなっていない。しかし、国の補助金がつく内に牧之原市にどんな路線が適しているか課題は何かを把握していくことは大事だと思う。実証実験を進めることには賛成だが、解決には至らないことを念頭に置いてほしい。

大崎委員：道路幅は自動運転の運行に影響しているのか。

松尾会長：大きく関係してくる。各地の実証実験の中で検証している。

増田委員：字度運転は車両に電波回線が繋がって動いている？

松尾会長：その通り。電波が切れたら主導に切り替わる。

増田委員：遠隔で人がモニターを見ながら操作している？

松尾会長：全国でやっているものについては、一定区間ではドライバーが立ってレベル4で運行しているが、必ず遠隔監視が入る。また、公園などの閉鎖空間をレベル4周るというものもある。ウーブンシティの中では可能性がある。すぐにドライバー不足を自動運転で解消できるというものではない。

<パークアンドライド駐車場について>

竹内委員：車でバス停まで行っても駐車場がないのが問題ではないか。片浜の人でも吉田町まで行ってバスに乗る人がいる。置く場所が近くにあればバスに乗る人が増えるのではないかと。榛原営業所にはお迎えに行く人、2台分しか止められない。相良と榛原の両営業所の近辺に駐車場を作ってくれたら嬉しい。

松尾会長：パークアンドライドの施策になる。現状進んでいることがあれば事務局から説明をお願いしたい。

増田係長：資料1の8ページに記載がある。特急静岡相良線のバスが停まるバス停の付近に駐車場を作るということは考えてきたことだが、なかなか場所を見つけられていない。相良・榛原に1箇所ずつなど考えていきたい。令和8年度までの計画期間内には確保したいと思っている。

増田委員：相良営業所の近くの農協と交渉や榛原病院からの駐車場提供の話があったかと思うが、どうなっているのか。有料で十分なので、バス停付近の駐車場を考えてもらいたい。地元でバスに乗ってもらうことを考えた方がよい。空港でも放置車両がある。有料であればそういった問題も防止できる。早急に考えていただきたい。

増田係長：農協の駐車場については、大々的に周知すると対応できないので、月極で地元の相談があったときに貸していると聞いている。榛原病院からは、特急静岡相良線がもう少し病院に停まるのであれば駐車場として使うことはできるという話をいただいているが、増便とセットになるので、協議が止まっている。静波周辺か根松周辺で確保できればと思っている。

松尾会長：パークアンドライドの場所の検討はしているか。

増田係長：市有地が良いと思うが見つけられていない。庁内で土地を買うという話まではできていない。

松尾会長：パークアンドライドはまだ公式にはないということ。公共交通計画を改定する際にどの辺りにパークアンドライドを設置するのか空間的に示すと良い。バスの利用者

が内緒で車を停めているということは、そこに需要があるということ。お金をとって公式にしていくのが大事。

増田係長：地頭方の市民からも使いたいという話があった。土地確保で止まっているので検討を進める。

増田委員：コイトや三和シャッターは協力できないか。派遣の外国人が多く、バスで送り迎えしているので、土地が余っているのではないか。

竹内委員：駐車場の整備をしっかりと欲しい。

松尾会長：バスの乗り入れがなくても停める人が多いのであれば、需要がある。使用料は病院にいくようにして話をしても良いと思う。公共交通に送迎するキスアンドライドという方法もある。パークアンドライドやキスアンドライドができる場所を公表していくと良いのではないか。駐車場の確保と使い方の公表を行うと良い。

大塚委員：人口密度と利便性を考えると答えの出ない問題。デマンドタクシーも知り合い同士で乗ってくれたらありがたいと思う。この地域のタクシー輸送実績は県で最低。車で近くまで行ってバスや電車に乗る人が多い。無料で、というのは無理。関係者が考えてやっていることに利用者が思いを馳せてくれているのかと感じる。

松尾会長：利用者としても、無料より料金がかかるほうが良いと思う。どのくらいにするのかは難しいが、利用者の満足が上げればバスが維持されるという利点もある。

<コミュニティバスについて>

大崎委員：自由意見の中にコミュバスを求めるといった意見があるが、コミュバスは菊川市が充実している。菊川市との情報交換やどういった実施方法なのか知っているか。

増田係長：菊川市とは定期的に情報をやり取りしている。菊川市はハイエースタイプで運行、土日は運行していない。参考になる部分がある。

大崎委員：乗り継ぎも便利で、地域の端から端まで移動できるので、牧之原市でもコミュニティバスを検討してもらえればと思う。

松尾会長：コミュバスとデマンドとの違いは、予約ありで走るかどうか。予約が必要なものをデマンド。菊川市は予約しなくてもバス停に行けば乗れる。一方で定時定路線なので、ルート近くの人には乗れるが遠い人は難しい。デマンドは特定のルートに左右されないという特徴がある。ルート上に人が張り付いているのであればコミュバスは非常に有効。牧之原市は自主運行バスが市内をかなり走っている。菊川市は静鉄バスが1つしか走っていないので、それをカバーするためにコミュバスを使用している。牧之原市の場合は、デマンドで面的にカバーしている。菊川市でもコミュバスに乗れない人からデマンドをやってほしいという要望が出ている。

大崎委員：アローラインの時間が早すぎるので、乗れない人もいます。コミュバスのことを話したのは、どこかに自家用車を停めるのではなく、バスで移動する方法もあると考えた。

松尾会長：デマンドをやっているので、需要をみながらバス路線を引いたときに見合うのか検討してみるのもあり。利用者が少ないとバスを走らせるのは行政的に難しい。デマンドのみでなく定時定路線も都度検討していく必要がある。コミュバスをやっているところでは、ドライバー不足で減便という話も聞く。

<学校再編計画について>

藁科委員：今後、路線をどうしていくか考えるときに、学校再編の影響が大きい。それがなかなか見えないので、運転手をどこに配分していくか。新たな移動の需要が一気に出てきたときに対応できるのか分からない。見えない中でどこまでやって良いのか分からず、やりづらい。なるべく早く示してほしいし、来年度の計画の改訂にも入れ込んでほしい。

増田係長：学校再編は教育委員会部局で進めており、児童の足をそうするかと検討することが必要。榛原だと令和12年に開校。教育委員会と地域振興課だけでなく、静鉄さんを交えて話をしたい。学校再編について委員の皆さんに共有して検討してもらっても良いと思っている。

大石副会長：榛原に1校、相良に1校建設していく中で、予算の段階で話が出ているのはスクールバスとして走らせるという話。そこも含めて進捗状況を説明する。

松尾会長：次の計画には間違いなく考慮する必要がある。

(3) 静岡空港・道の駅定額タクシー運行事業について (資料3)

事務局より説明 (増田)

【質疑応答】

増田委員：国際線は2時間前、国内線は1時間前に搭乗手続きが必要。どの便に乗るかをタクシー会社が把握しておかないとトラブルになる可能性がある。

松尾会長：タクシーに乗って間に合わなかった場合にクレームに繋がることがあるので、事前に確認しておいたほうが良い。

大塚委員：情報収集をする。

増田委員：乗降場所には看板つけるのか。

増田係長：つける。

増田委員：静岡空港のホームページやLINEでの広報はするのか。

増田係長：そこはまだ調整できていない。時刻表のリーフレットやサイネージに表示してもらおう。就航先にもチラシを置く。また、10月に自治会行政連絡会の班組回覧でチラシを配布する。

増田委員：産業祭のイベントでもPRしたら良いと思う。タクシー業者さんはイベント参加できないか。

清水委員：申し込みが多数で余裕がない状態。定額タクシーの電話があった際に1時間の猶予をとってください、という確認くらいはできるが、飛行機に間に合わなかったときの責任はとれない。今のタクシー事情としては、タクシー車両が会社になればお迎えに行けない。すぐに行くことができず、少し待ってもらうことをお願いすることもある。受付の時間があるときには電話で定額タクシーのPRをしたい。

松尾会長：今のようにお客さんとコミュニケーションをとって、責任をとれという話にならないようにしていただければと思う。

大塚委員：空港は難しい。1日待機していても1本も仕事もないことがあった。地方空港を大事にしないといけないのでやっている。

大崎委員：道の駅の混雑で待ち時間が発生すると思うが、そこについて考えているか。

増田係長：駅長と話をしている。道の駅の中にタクシー乗り場があるが、土日になると渋滞して中に入るのに時間がかかる。入る前にメーター運賃だけ上がってしまうことのないように臨機応変にやっていただく必要がある。

大崎委員：相当待つ人がいると思うので、そういったところも考えないとトラブルになる。

(4) デマンド乗合タクシーの運行について (資料4、5)

事務局より説明 (増田)

【質疑応答】

増田委員：資料5について、デマンドの利用は金曜日が第1位とあるが、病院が多いのか買物が多いのか。

増田係長：金曜日は、7割通院、3割買物。利用が多い場所としては、しずなみ・かわさき、ほそえ号は榛原病院、石井皮膚科内科、玉井整形。これらは土曜日の午前もやっている病院になるので、金曜の予約の集中に効果があると良い。

増田委員：病院に予約で通っている人が金曜日を指定していることもあるので、土曜に変更したとしてドクターがいるのか。患者にも協力してもらう必要がある。

増田係長：病院が曜日をずらせるかは確認しないとイケない。相良の堀口外科医院は土曜日が休み。相良の方では効果が薄いかもしれない。

大崎委員：医師が複数いる場合は、患者は医師を選ぶ。平日毎日というのは魅力的だが、タクシー会社さんが対応できるのか。

清水委員：一般客だけでなく、企業からの依頼もあるのでなんとも言えない。できるだけ午前中にデマンドをやってもらっている。さがらひがし、にし号については、定着してからの時間が短いので、お客さんに「金曜日は混むから火曜日が良いよ」という話をし続けてようやく変わってきたところ。

松尾会長：資料5の裏面に記載していることは、一括で進めるよりもコミュニケーションを取りながらやっていくことが大事かと思う。特に「3 旧町単位の移動是正」はすぐにではなく、需要に対して供給が不足する可能性があるので、慎重に考える必要がある。

松尾会長：貴重な意見をいただいたので、来年度の計画改定に入れ込んでいく。事業案は12月の公共交通会議で承認を得ていくことになる。

4 その他

報 告

(1) その他の交通の運行について

- ・ 空港・道の駅定額タクシーの利用
状況(資料 11)
- ・ 矢崎アローラインの利用状況
(資料 12)

空港・道の駅定額タクシーの利用状況について

(企画政策部地域振興課)

1 目的

富士山静岡空港は、国際線のダブルデイリー化や新規就航により、コロナ禍前の賑わいを取り戻しつつあるが、空港と市内を結ぶ二次交通がないことから、空港利用者の市内への呼び込みが長年の課題であった。

空港・道の駅定額タクシーを運行することにより、空港からの誘客と市民の空港及び道の駅そらっと牧之原へのアクセス改善を推進する。

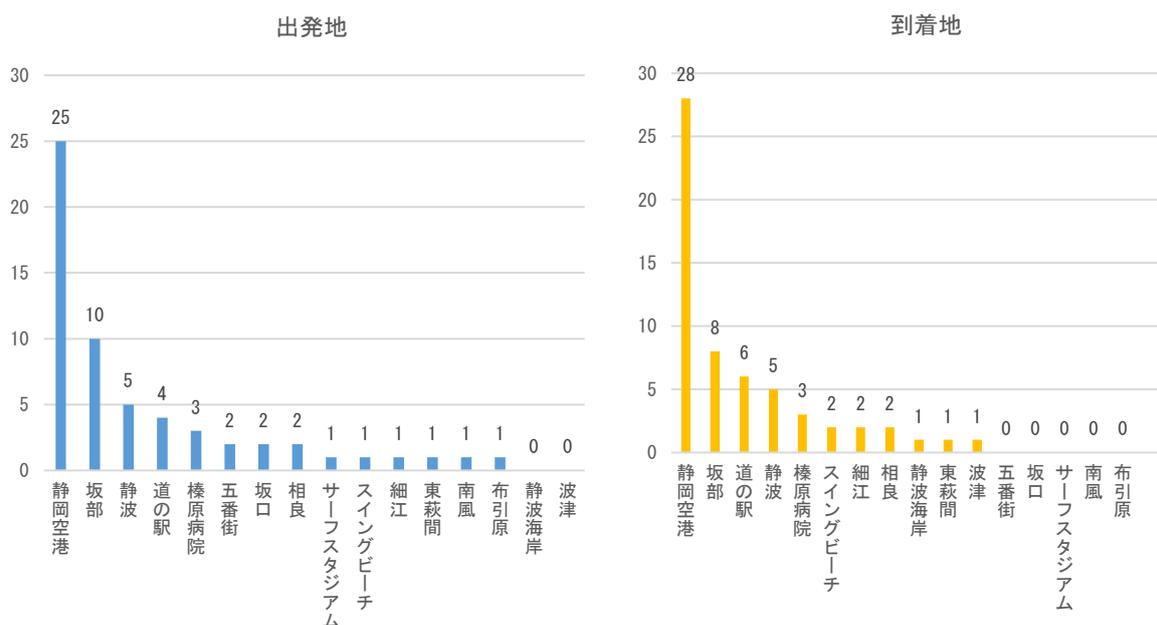
2 10月利用実績（期間：10/3～10/31）

(1) 利用台数・人数

利用台数	乗車人数	1日平均稼働台数
59台	77人	2.03台

(2) 出発地・到着地

順位	出発地	到着地
第1位	静岡空港 (25件)	静岡空港 (28件)
第2位	坂部 (10件)	坂部 (8件)
第3位	静波 (5件)	道の駅 (6件)
第4位	道の駅 (4件)	静波 (5件)
第5位	榛原病院 (3件)	榛原病院 (3件)



出発地・到着地ともに最も利用者の多い静岡空港については以下のとおり。

順位	出発地	到着地
第1位	空港→坂部（8件）	坂部→空港（10件）
第2位	空港→静波（4件）	静波→空港（4件）
第3位	空港→道の駅（3件） 空港→榛原病院（3件）	榛原病院→空港（3件）

(3) 運行経費など

運行経費／台	運賃収入／台	市負担額／台
3,718 円	506 円	3,212 円

運行開始から10月末までに1日2.03台の利用があり、出発地・到着地ともに富士山静岡空港が最も多くなっていることから、事業目的である空港からの誘客及び空港へのアクセス改善に対し一定の効果があると思われる。

3 今後について

11月以降の利用状況を分析するとともに、空港からの誘客及び空港・道の駅へのアクセス改善に繋がるよう周知リーフレットの更新、市 SNS での情報発信及び利用者アンケート等を実施し、利用しやすい定額タクシーを目指す。

4 その他

10月11日（土）～18日（土）の8日間にわたり静波海岸で開催された「第59回全日本サーフィン選手権大会（2025）」に参加するため定額タクシーを利用した選手からは、「安い料金でタクシーに乗れるのはとても有難い。」などの感想をいただいた。



↑ 鹿児島県西之表市からいらした林崎さん親子



↑ 定額タクシー車両

富士山静岡空港
道の駅そらっと牧之原
定額タクシー



2025.10.3 FRI
START



定額料金で、
市内のどこからでも、
富士山静岡空港や道の駅そらっと牧之原に
タクシーで行くことができます。

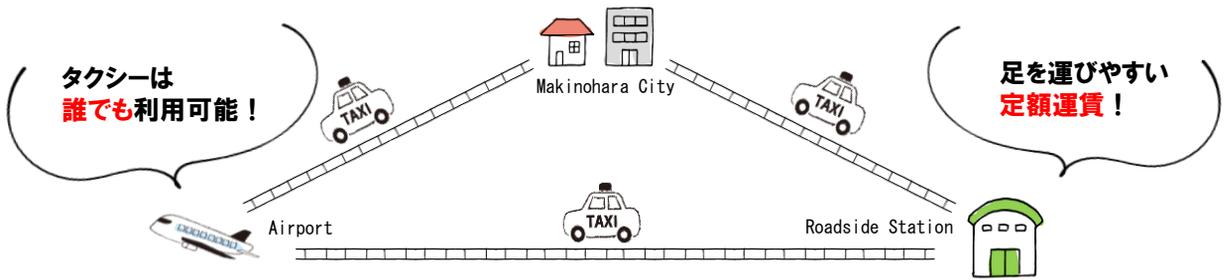


【問い合わせ先】 牧之原市役所 地域振興課

TEL : 0548-23-0053 受付 (平日 8:15~17:00)

※タクシーの予約はタクシー会社 (裏面連絡先) へお願いします。

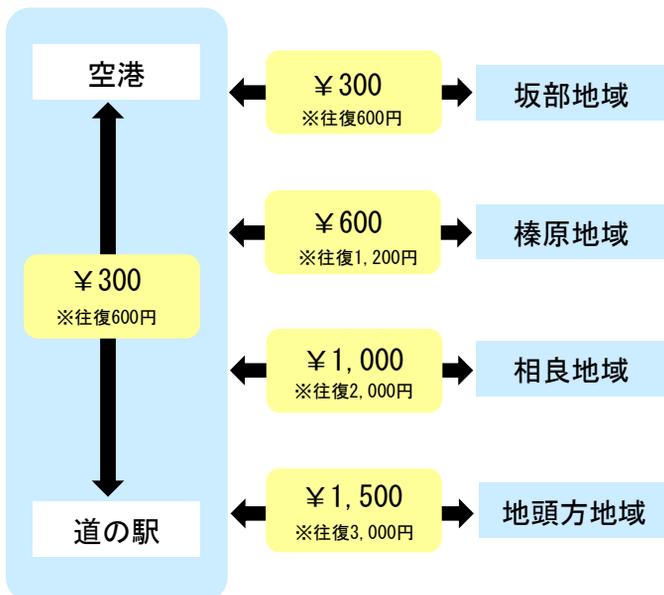
▼ 定額タクシー詳細 ▼



ご自宅やお店など、牧之原市内のどこからでも富士山静岡空港または道の駅そらっと牧之原にタクシーで行くことができます。また、空港・道の駅間の移動も可能です。

▼ ご利用料金 ▼

ご利用になる地域によって料金が異なります。表示は片道の料金です。

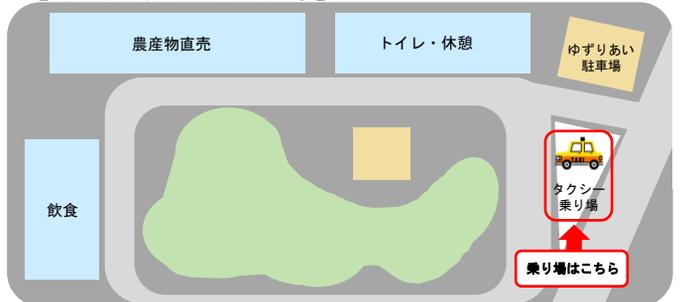


▼ 乗降場所 ▼

【富士山静岡空港】



【道の駅そらっと牧之原】



▼ ご利用方法など ▼

定額タクシーをご利用になる際は、以下のタクシー会社にご連絡ください。

▶ 東海タクシー(0548-22-0288) ▶ 御前崎タクシー(0548-63-2655)

🚗 坂部・榛原地域で乗降する場合	➡ 東海タクシー
🚗 相良・地頭方地域で乗降する場合	➡ 御前崎タクシー
🚗 空港・道の駅発の場合	➡ 東海タクシー

※予約が混みあっていたり、ご指定いただいた時間に配車が間に合わない場合は、ご予約をお断りすることがあります。

※各社の営業時間内にご予約をお願いします。

【牧之原市在住の方へお願い】

市内⇄空港・道の駅を利用する場合は、より多くの方が定額タクシーを利用できるよう、前日までのご予約をお願いします。

矢崎アローラインの利用状況について

(企画政策部地域振興課)

1 運行内容

	概要
路線	矢崎部品（牧之原市布引原）～菊川駅（途中バス停無し）
市民利用 可能便数	菊川駅行き：1便 矢崎行き：2便 平日のみ（矢崎会社カレンダーによる）
運賃	無料
実施予定日	令和7年4月から（事業期間3年間、その後も更新継続可）
車両 （矢崎所有）	
利用対象者	牧之原市民、菊川市民の事前会員登録者
保険	人身傷害保険（上限5,000万円）※市民利用者にも適用
乗降場所	行き：矢崎ものづくりセンター西門（敷地内） 帰り：菊川駅南口ロータリー

2 運行ダイヤ

(1) 矢崎⇒菊川駅行き（牧之原市民、菊川市民の朝の通勤、通学等の移動）

	矢崎出発	菊川駅着（運行時間約20分）
1便目	7:10	7:30

※萩間線矢崎工場前バス停に7:00着のため、乗継可能

(2) 菊川駅⇒矢崎行き（牧之原市民、菊川市民の夕方、夜の帰宅移動）

	菊川駅発	矢崎着（運行時間約20分）
1便目	18:10	18:30
2便目	19:50	20:10

3 会員登録状況（11月末）

【合計】37人

牧之原市民33人

菊川市民4人

【牧之原市】33人

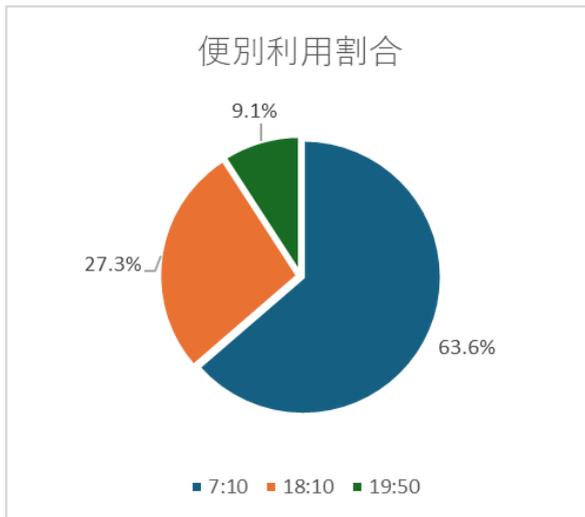
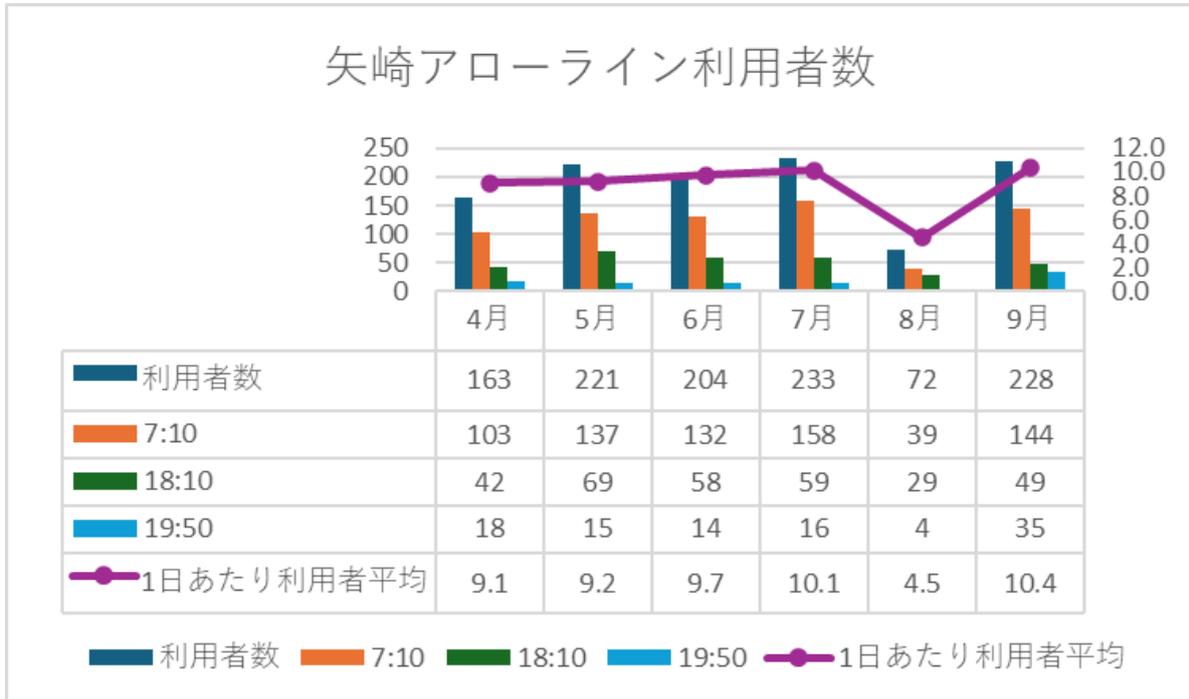
布引原（地元町内会）16人

榛原地域8人

相良地域9人

中学生	常葉中	2	2
高校生	掛西	8	16
	常葉高	5	
	小笠	1	
	浜松学芸高	1	
	藤枝明誠	1	
大学・予備校	常葉大	1	3
	文化芸術大	1	
	河合塾	1	
大人（不明者含む）		10	10
高齢者（65歳以上）		6	6
合計			37

4 利用状況（4月1日～9月30日）



5 今後の方針

① 周知

市公式 LINE、市 HP による再周知（西部方面への便利な移動を PR）

② 関係者協議

- ・ 矢崎部品(株)と菊川市との定期的な協議継続
- ・ 将来的には、日中時間帯に運行するバスへの拡大をお願いしていく。